

## 業績目録 令和3年度

微生物感染症学分野	2
生体組織再生工学分野	4
予防歯科学分野	7
う蝕学分野	10
小児歯科学分野	12
生体歯科補綴学分野	13
顎顔面口腔外科学分野	16
口腔解剖学分野	22
口腔生理学分野	23
口腔生化学分野	24
歯周診断・再建学分野	25
歯科矯正学分野	28
摂食嚥下リハビリテーション学分野	32
硬組織形態学分野	39
口腔病理学分野	42
歯科薬理学分野	45
包括歯科補綴学分野	46
組織再建口腔外科学分野	51
顎顔面放射線学分野	55
歯科麻酔学分野	59
高度口腔機能教育研究センター・歯学教育開発室	62
口腔生命福祉学科	67
歯科臨床教育学/歯科総合診療科	71
顎口腔インプラント治療部	73
医療連携口腔管理治療部	74

## 微生物感染症学分野

### 【著書】

- 1) 寺尾 豊. 微生物学. 歯科衛生士書き込み式学習ノート① 専門基礎科目編 人体の構造と機能/歯・口腔の構造と機能/疾病の成り立ち及び回復過程の促進 第3版 (医歯薬出版 編), 235-271 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022.
- 2) 寺尾 豊. パーフェクトマスター 口腔微生物学・免疫学 改訂第3刷, 医歯薬出版, 東京, 2021.
- 3) 寺尾 豊: ウイルス学. 口腔微生物学・免疫学 第5版 (川端重忠, 小松澤均, 大原直也, 寺尾 豊 編), 184-202, 208-209 頁, 医歯薬出版, 東京, 2021.
- 4) 土門久哲, 寺尾 豊: ウイルス学, 口腔微生物学・免疫学 第5版 (川端重忠, 小松澤均, 大原直也, 寺尾 豊 編), 202-208 頁, 医歯薬出版, 東京, 2021.

### 【論文】

- 1) Hirayama, S., Domon, H., Hiyoshi, T., Isono, T., Tamura, H., Sasagawa, K., Takizawa, F., Terao, Y.: Triosephosphate isomerase of *Streptococcus pneumoniae* is released extracellularly by autolysis and binds to host plasminogen to promote its activation. *FEBS Open Bio*, 12(6): 1206-1219, 2022.
- 2) Sasaki, Y., Hirayama, S., Nakao, R.: Scanning electron microscopy of *Escherichia coli* encapsulated in a spacerized graphene sandwich. *Microscopy*, 71(3):175-180, 2022.
- 3) Yoshida N, Edanami N, Ohkura N, Maekawa T, Takahashi N, Tsuzuno T, Maeda T, Tabeta K, Izumi K, Noiri Y, Yoshida K. Laminin isoforms in human dental pulp: lymphatic vessels express laminin-332, and Schwann cell-associated laminin-211 modulates CD163 expression of M2-like macrophages. *Immunohorizons*, 5(12):1008-1020, 2021.
- 4) Sasagawa, K., Domon, H., Sakagami, R., Hirayama, S., Maekawa, T., Isono, T., Hiyoshi, T., Tamura, H., Takizawa, F., Fukushima, Y., Tabeta, K., Terao, Y.: Matcha green tea exhibits bactericidal activity against *Streptococcus pneumoniae* and inhibits functional pneumolysin. *Antibiotics*, 10(12): 1550, 2021.
- 5) Hajishengallis G, Hasturk H, Lambris JD, Maekawa T, Contributing authors: C3-targeted therapy in periodontal disease: moving closer to the clinic. *Trends Immunol*, 42(10):856-864, 2021.
- 6) Domon, H., Isono, T., Hiyoshi, T., Tamura, H., Sasagawa, K., Maekawa, T., Hirayama, S., Yanagihara, K., Terao, Y.: Clarithromycin inhibits pneumolysin production via

downregulation of ply gene transcription despite autolysis activation. *Microbiol. Spectr.*, 9(2): e00318-21, 2021.

### 【研究費獲得】

- 1) 日吉 巧: エラスターゼを標的とした歯周炎重症化機序の探索とその分子メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費基金 研究活動スタート支援, 新規.
- 2) 日吉 巧: オゾンナノ水を用いた医療と食の安全研究. 新潟大学 U-go グラント, 新規.
- 3) 寺尾 豊, 伊東孝祐, 土門久哲, 前川知樹: MRSA を特異標的とする CRISPR-Cas 型抗菌薬の開発研究. 日本学術振興会科学研究費基金 挑戦的研究(萌芽), 継続.
- 4) 寺尾 豊, 中馬吉郎, 土門久哲, 前川知樹: 薬剤耐性肺炎球菌の *in vivo* MS 解析とキューブ型 DNA 抗菌薬の開発研究. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 継続.
- 5) 寺尾 豊: 高齢者肺炎ならびに歯周炎を制御する抗炎症性のコメ精製ペプチドならびに生葉成分ヒノキ抽出物の解析. 小林国際奨学財団 研究助成事業, 継続.
- 6) 寺尾 豊 (分担): フレイルと AMR の課題に対応する食品由来機能ペプチドを素材とした歯周病医薬開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 継続.
- 7) 寺尾 豊 (分担): 細胞膜自動透過性 DNA アプタマーの分子基盤解明とポスト抗体医薬への展開. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 継続.
- 8) 寺尾 豊 (分担): 多様な RNA 相互作用因子を介したグラム陽性細菌の病原性制御機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 継続.
- 9) 土門久哲, 寺尾 豊, 前川知樹: 肺炎重症化因子のプロテオーム解析を基盤とする創薬研究への展開. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究(C), 継続.
- 10) 土門久哲 (分担): リスクアセスメントとオーラルリテラシーを向上する誤嚥性肺炎の危険予知システム開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 継続.
- 11) 平山 悟: 歯周病原細菌のメンブレンベシクルはアルツハイマー病の病原因子となるのか. 日本学術振興会科学研究費基金 若手研究, 継続.
- 12) 田村 光: エリスロマイシン改変体の抗炎症 Del-1 分子誘導による炎症性骨吸収制御法の検索. 日本学術振興会科学研究費補助金 特別研究員奨励費, 継続.

### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) 寺尾 豊：身の回りのウイルスや細菌について。文部科学省事業，特別支援学校総合学習，茨城県立霞ヶ浦聾学校，WEB 開催，2021 年 12 月 5 日。
- 2) 平山 悟：伝統発酵食品福山酢に由来する乳酸菌と他の微生物との相互作用。日本乳酸菌学会設立 30 周年記念シンポジウム，WEB 開催，2021 年 11 月 26～27 日。

### 【学会発表】

- 1) 平山 悟，土門久哲，日吉 巧，磯野俊仁，田村 光，笹川花梨，滝澤史雄，寺尾 豊：肺炎球菌トリオースリン酸イソメラーゼは宿主プラスミノゲンに結合し活性化を促進する。第 95 回日本細菌学会総会，WEB 開催，2022 年 3 月 29～31 日，同総会プログラム集：96 頁，2022。
- 2) 土門久哲，磯野俊仁，日吉 巧，田村 光，笹川花梨，前川知樹，平山 悟，柳原克紀，寺尾 豊：肺炎球菌ニューモリシンの発現に対するマクロライドの作用解析。第 95 回日本細菌学会総会，WEB 開催，2022 年 3 月 29～31 日，同総会プログラム集：105 頁，2022。
- 3) Takahara M, Hirayama S, Nakao R, Futamata H, Tashiro Y: Characterization of immunoactive membrane vesicles derived from *Pseudomonas aeruginosa* biofilm. EMBO Workshop Bacterial Membrane Vesicles: Biogenesis, Functions, and Medical Applications, つくば及び WEB ハイブリッド開催，2021 年 11 月 23～26 日，同ワークショップ Abstract Book：51 項，2021。
- 4) 日吉 巧，土門久哲，前川知樹，田村 光，笹川花梨，多部田康一。エラスターゼの歯肉上皮バリア傷害作用を介した歯周組織破壊機序の解析。日本歯科保存学会 2021 年度秋季学術大会 (第 155 回)，WEB 開催，2021 年 10 月 28 日～11 月 10 日，同学術大会プログラムおよび講演抄録集：118 項，2021。
- 5) 田村 光，前川知樹，土門久哲，日吉 巧，多部田康一。高齢マウスにおける DEL-1 を介した骨代謝機構の制御。日本歯科保存学会 2021 年度秋季学術大会 (第 155 回)，WEB 開催，2021 年 10 月 28 日～11 月 10 日，同学術大会プログラムおよび講演抄録集：119 項，2021。
- 6) シリセーライパップ クリタパット，田村 光，前川知樹，多部田康一。高齢マウスにおける DEL-1 を介した骨代謝機構の解析。第 64 回秋季日本歯周病学会学術大会，名古屋。2021 年 10 月 15～16 日。
- 7) 日吉 巧：好中球エラスターゼの歯肉上皮バリア傷害作用による歯周炎重症化メカニズム解析。第 64 回秋季日本歯周病学会学術大会，名古屋。2021 年 10

月 15～16 日。

- 8) 前川知樹：DEL-1 を介したエリスロマイシンの抗炎症メカニズム解明。第 63 回歯科基礎医学会学術大会，WEB 開催，2021 年 10 月 9～11 日，同大会プログラム：36 項，2021。
- 9) 平山 悟，中尾龍馬：グリシンにより誘導された細菌メンブレンベシクルの性質とアジュバント活性の解析。第 63 回歯科基礎医学会学術大会，WEB 開催，2021 年 10 月 9～11 日，同大会プログラム：38 項，2021。
- 10) 笹川花梨，土門久哲，平山 悟，前川知樹，磯野俊仁，日吉 巧，田村 光，寺尾 豊：肺炎球菌に対する抹茶成分の作用解析。第 63 回歯科基礎医学会学術大会，WEB 開催，2021 年 10 月 9～11 日，同大会プログラム：191 項，2021。
- 11) 田村 光，土門久哲，日吉 巧，前田健康，多部田康一，寺尾 豊，前川知樹：エリスロマイシンの Del-1 誘導による骨免疫制御作用の解析。第 6 回日本骨免疫学会，WEB 開催，2021 年 7 月 2 日。
- 12) 前川知樹：内因性抗炎症分子 DEL-1 誘導による歯周病治療法の基盤研究，第 64 回春季日本歯周病学会学術大会，WEB 開催，2021 年 5 月 21 日～6 月 22 日。

### 【研究会発表】

- 1) 磯野俊仁：肺炎球菌性肺炎の新たな治療法探索。令和 3 年度フェローシップ支援事業&次世代プロジェクト採択者合同定例シンポジウム，新潟および WEB ハイブリッド開催，2022 年 3 月 11 日。
- 2) 磯野俊仁：肺炎球菌に対する新規抗菌成分の探索と肺炎重症化メカニズムの解明。令和 3 年度フェローシップ支援事業&次世代プロジェクト採択者合同定例シンポジウム，WEB 開催，2022 年 3 月 2 日～3 月 11 日。
- 3) 笹川花梨：抹茶を用いた肺炎球菌性肺炎の治療研究。令和 3 年度フェローシップ支援事業&次世代プロジェクト採択者合同定例シンポジウム，WEB 開催，2022 年 3 月 2 日～3 月 11 日。
- 4) 磯野俊仁：肺炎球菌性肺炎の新規治療法の探索研究。第 16 回先端歯学スクール，WEB 開催，2021 年 8 月 23 日。

### 【メディア報道】

- 1) 「肺炎球菌への CAM 作用機序を解明、耐性菌回避の治療開発に期待—新潟大ほか」医療 NEWS，2021 年 9 月 14 日。

### 【受賞】

- 1) 前川知樹 : Erythromycin inhibits neutrophilic inflammation and mucosal disease by upregulating DEL-1. 第33回(2021年度)歯科基礎医学会学会奨励賞, 2021年10月10日.
- 2) 平山 悟 : Glycine significantly enhances bacterial membrane vesicle production: a powerful approach for isolation of LPS-reduced membrane vesicles of probiotic *Escherichia coli*. 第33回(2021年度)歯科基礎医学会学会奨励賞, 2021年10月10日.
- 3) Maekawa T : The Correlation of ectopic calcification signatures in the ageing eye and cardiovascular system. National Academy of Medicine Catalyst Award, 2021年9月23日.
- 4) 日吉 巧 : 好中球エラストラーゼの歯肉上皮バリア傷害作用による歯周炎重症化メカニズム解析. 日本歯周病学会 Sunstar Young Investigator Award, 2021年10月16日.
- 5) 田村 光 : エリスロマイシンの Del-1 誘導による骨免疫制御作用の解析. 日本骨免疫学会優秀演題賞, 2021年6月30日.
- 6) 田村 光 : 日本歯周病学会 Sunstar Young Investigator Award, 2021年5月21日.

#### 【奨学金等】

- 1) 磯野俊仁 : 上皮成長因子受容体を通じた肺炎球菌性肺炎重症化メカニズムの解明, 新潟大学フェロシップ第1期生(科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業), 新規.
- 2) 笹川花梨 : 肺炎球菌感染症による肺組織傷害機構の分子解析と新規治療法の探索, 新潟大学フェロシップ第1期生(科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業), 新規.
- 3) 田村 光 : 非抗菌性マクロライド誘導体を用いた新たなサイトカインストーム制御法の開発, 日本学術振興会 海外特別研究員, 新規.

### 生体組織再生工学分野

#### 【著書】

- 1) 金谷 貢 : 医療材料の開発史. 医学史事典(日本医学史学会編), 丸善出版, 東京, 2022. 印刷中
- 2) 泉 健次, 鈴木絢子 : 魚コラーゲン製口腔粘膜欠損修復材の開発 ~ 表面のパターン化による上皮化促進 ~. 『つながる研究』紹介 2022年版(国立大学法人 新潟大学 地域創生推進機構), 178頁, <https://www.ircp.niigata-u.ac.jp/publication>, 新潟, 2022.
- 3) 金谷 貢 : 項目番号 1, 36, 37, 77, 102 - 104, 182, 198,

239, 271, 292 - 294, 417 - 420, 444, 445, 464, 569, 578 - 580, 583, 585, 588, 895, 897, 973 - 975, 1009. 歯科理工学教育用語集 第3版補訂版(日本歯科理工学会編), 1-118頁, 医歯薬出版, 東京, 2021.

#### 【論文】

- 1) Kato H, Ling Y, Hoshikawa E, Suzuki A, Haga K, Naito E, Uenoyama A, Okuda S, Izumi K: Detection of potential markers for lip vermilion epithelium in japanese macaques based on the results of gene expression profile. *Anatomia*, 1(1): 3-13, 2022.
- 2) Nogami Y, Saitoh I, Inada E, Murakami D, Iwase Y, Kubota N, Nakamura Y, Nakakura-Ohshima K, Suzuki A, Yamasaki Y, Hayasaki H, Kaihara Y: Lip-closing strength in children is enhanced by lip and facial muscle training. *Clin. Exp. Dent. Res.*, 8(1): 209-216, 2021.
- 3) Haga K, Yamazaki M, Maruyama S, Kawaharada M, Suzuki A, Hoshikawa E, Chan NN, Funayama A, Mikami T, Kobayashi T, Izumi K, Tanuma JI: Crosstalk between oral squamous cell carcinoma cells and cancer-associated fibroblasts via the TGF- $\beta$ /SOX9 axis in cancer progression. *Transl. Oncol.* 14(12): 101236, 2021.
- 4) Kimura T, Aoyagi Y, Taka N, Kanatani M, Uoshima, K: Metallization by Sputtering to Improve the Bond Strength between Zirconia Ceramics and Resin Cements. *J. Funct. Biomater.* 12(4): 62, 2021.
- 5) Ngo YX, Haga K, Suzuki A, Kato H, Yanagisawa H, Izumi K, Sada A: Isolation and culture of primary oral keratinocytes from the adult mouse palate. *J. Vis. Exp. Sep* 24; (175), 2021.
- 6) Nakamura A, Kakihara Y, Funayama A, Haga K, Mikami T, Kobayashi D, Yoshida Y, Izumi K, Kobayashi T, Saeki M: HEATR1, a novel interactor of Pontin/Reptin, stabilizes Pontin/Reptin and promotes cell proliferation of oral squamous cell carcinoma BBRC 557: 294-301, 2021.
- 7) Hoshikawa E, Sato T, Haga K, Suzuki A, Kobayashi R, Tabeta K, Izumi K: Cells/colony motion of oral keratinocytes determined by non-invasive and quantitative measurement using optical flow predicts epithelial regenerative capacity. *Sci. Rep.* 11(1): 10403, 2021.
- 8) Kiguchi T, Kakihara Y, Yamazaki M, Katsura K, Izumi K, Tanuma J, saku T, Takagi R, Saeki M: Identification and characterization of R2TP in the development of oral squamous cell carcinoma. *BBRC*, 548, Apr 9, p161-166, 2021.
- 9) Yamada Y, Nihara J, Trakanant S, Kudo T, Seo K, Iida I, Izumi K, Kurose M, Shimomura Y, Terunuma M, Maeda T, Ohazama A: Perivascular Hedgehog responsive cells

- play a critical role in peripheral nerve regeneration via controlling angiogenesis. *Neurosci Res.* 173: 62-70, 2021
- 10) Mamun MA, Islam A, Hasan MM, Waliullah ASM, Tamannaa Z, Chi DH, Sato T, Kahyo T, Kikushima K, Takahashi Y, Naru E, Sakata O, Yamanoi M, Kobayashi E, Izumi K, Honda T, Tokura Y, Setou M: The human vermilion surface contains a rich amount of cholesterol sulfate which blocks water loss. *J Dermatol Sci Sep*;103(3):143-150, 2021.
  - 11) Yoshiba N, Edanami N, Ohkura N, Maekawa T, Takahashi N, Tsuzuno T, Maeda T, Tabeta K, Izumi K, Noiri Y, Yoshiba K: Laminin Isoforms in Human Dental Pulp: Lymphatic Vessels Express Laminin-332, and Schwann Cell-Associated Laminin-211 Modulates CD163 Expression of M2-like Macrophages. *ImmunoHorizons.* 5:1008-1020, 2021.
  - 12) 伊藤圭一, 金谷 貢, 泉 健次: 万能試験機を用いた歯科用石膏の硬化膨張圧の検討. *日歯理工誌* 41: 2022. 印刷中

#### 【研究費獲得】

- 1) 泉 健次 (研究代表者), 鈴木絢子: 足場材の硬さの違いを利用した上皮角化・非角化様式解明と培養口腔粘膜作成法への応用. 令和3年度(継続)日本学術振興会補助金 基盤研究(B)「一般」, 20H03870, 2021.
- 2) 泉 健次: 口腔粘膜再建用マイクロパターン化魚うろこコラーゲン膜の開発. 令和3年度(新規)北海道大学 革新的医療技術創出に関する橋渡し事業 A528 シーズ A, 2021.
- 3) 泉 健次: 上皮化を促進する口腔軟組織(歯肉、口腔粘膜)欠損修復材の開発. 令和3年度(新規)みちのくアカデミア発スタートアップ準備資金, 2021.
- 4) 鈴木絢子: マイクロパターン化魚うろこコラーゲン膜のミニブタ口蓋欠損部への移植後創傷治癒に関する有効性の検証. 令和3年度(新規)ユニオンツール育英奨学会, 2021.
- 5) 鈴木絢子(研究代表者): 光干渉式断層撮影を利用した培養口腔粘膜の非侵襲的、定量的品質評価方法の確立. 令和3年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業 若手, 20K18556, 2021.
- 6) 金谷 貢(研究代表者), 伊藤圭一: 低エネルギー電子線照射は歯科切削加工(CAD/CAM)用レジンの破折を防止する. 令和3年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 18K09657, 2021.
- 7) 青柳裕仁(研究代表者), 金谷 貢: メタライズを応用した新規ジルコニア表面改質法の開発. 令和3年度(新規)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 21K09975, 2021.
- 8) 佐田亜衣子(研究代表者), 泉 健次: 上皮幹細胞コンパートメントを規定する分子機構と生物学的意義の解明. 令和3年度(継続)日本学術振興会補助金 基盤研究(B) 20H03266, 2021.
- 9) 秋葉奈美(研究代表者), 泉 健次: 生理機能亢進細胞混合移植とレドックス制御による長期骨量維持可能な骨増生法開発. 令和3年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 20K10051, 2021.
- 10) 井川和代(研究代表者), 泉 健次: 加速器中性子源を用いたBNCT組織線量分布評価体系の確立. 令和3年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 20K12714, 2021.
- 11) 船山昭典(研究代表者), 泉 健次: 口腔癌進展における癌関連線維芽細胞(CAF)の機能解明. 令和3年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 19K10329, 2021.
- 12) 秋葉陽介(研究代表者), 泉 健次: 規格化ナノ構造チタンによる接着蛋白質を介した組織制御可能な生体材料開発. 令和3年度(新規)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 21K09976, 2021.
- 13) 山崎 学(研究代表者), 泉 健次: 死細胞貪食による口腔がん細胞活性化: 脂質クオリティが果たす役割を探る. 令和3年度(新規)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 21K09856, 2021.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) 泉 健次: 異分野連携がもたらす口腔粘膜ティッシュエンジニアリング/再生医療の発展. 新潟大学歯学部同窓会令和3年度学術講演会, 新潟, 2021年4月24日.
- 2) 泉 健次: バイオミメティクスに基づいたヒト上皮組織欠損再建材の開発. 令和3年度医工連携セミナー, 新潟, 2021年9月9日.

#### 【学会発表】

- 1) Kishimoto K, Suebsamarn O, Kodama Y, Komatsu T, Suzuki A, Shoji S, Izumi K, Mizuno J: Fabrication of Tissue-Engineered Oral Mucosa with Micropatterned Fish Scale-Collagen Scaffold Using 3D Printing Technology and Soft Lithography. 2021 MRS Fall Meeting & Exhibit, Boston, USA, 2021年11月29日
- 2) Suebsamarn O, Suzuki A, Naito E, Kobayashi R, Hayasaki H, Izumi K: Application of optical coherence tomography for non-invasive evaluation of tissue-engineered oral mucosa equivalent. 令和3年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2021年11月6日, 新潟歯

学会誌 51(2): 48-49 頁, 2021.

- 3) Kishimoto K, Miwa K, Suzuki A, Yamaguchi I, Kodama Y, Suebsamarn O, Shoji S, Izumi K, Mizuno J: Fabrication of Micropatterned Fish Scale Collagen Scaffold Using Soft Lithography for Oral Mucosa Tissue Engineering. ICEP2021 Oral Presentation, Web 開催 (東京), 2021 年 5 月 12 日
- 4) 鈴木絢子, Orakarn Suebsamarn, 上村祥文, 木田雅子, 岸本一真, 兒玉泰洋, 小松隆史, 大澤康暁, 水野綾介, 内藤絵里子, 小林亮太, 水野 潤, 泉 健次: 培養口腔粘膜の品質管理ツールとしての光干渉式断層撮影法の有用性の検討. 第 21 回日本再生医療学会総会, Web 開催, 2022 年 3 月 17-19 日(3 月 17 日-4 月 15 日 Web 配信), Web 抄録: 2022.
- 5) 小林亮太, 干川絵美, 佐藤大祐, Orakarn Suebsamarn, 内藤絵里子, 鈴木絢子, 富原 圭, 泉 健次: 細胞品質評価ツールとして口腔粘膜角化細胞に対する非侵襲的運動能測定の有用性に関する検討. 第 57 回日本口腔組織培養学会学術大会, 三重 (オンライン開催), 2021 年 11 月 6 日, 抄録集: 28 頁, 2021.
- 6) 内藤絵里子, 羽賀健太, 小林亮太, Orakarn Suebsamarn, 鈴木絢子, 齋藤夕子, 山崎 学, 田沼順一, 井川和代, 富原 圭, 泉 健次: 正常口腔粘膜細胞と口腔癌細胞を用いた 3 次元 in vitro モデル作製法とその応用. 第 57 回日本口腔組織培養学会学術大会, 三重 (オンライン開催), 2021 年 11 月 6 日, 抄録集: 14 頁, 2021.
- 7) 高 昇将, 木村龍弥, 三井田慶斗, 青柳裕仁, 金谷 貢, 小川祐司: 炭化ケイ素繊維の短繊維と長繊維を同時に用いた際の補強効果の検討. 日本歯科理工学会第 78 回学術講演会, web 開催 (岡山), 2021 年 10 月 16-17 日 (ポスタープレビュー 17 日), 日歯理工誌 40 (Special Issue 78): 64 頁, 2021.
- 8) 三井田慶斗, 高 昇将, 木村龍弥, 青柳裕仁, 金谷 貢: 炭化ケイ素繊維強化型新規フェイスガード材料の機械的強さについて. 日本歯科理工学会第 78 回学術講演会, web 開催 (岡山), 2021 年 10 月 16-17 日 (ポスタープレビュー 17 日), 日歯理工誌 40 (Special Issue 78): 63 頁, 2021.
- 9) 金谷 貢, 伊藤圭一, 泉 健次: 万能試験機を用いた歯科用  $\alpha$  および  $\beta$  半水石膏の硬化膨張圧の検討. 日本歯科理工学会第 78 回学術講演会, web 開催 (岡山), 2021 年 10 月 16-17 日 (ポスタープレビュー 16 日), 日歯理工誌 40 (Special Issue 78): 38 頁, 2021.
- 10) 金谷 貢, 伊藤圭一: 万能試験機を用いた石膏の硬化膨張圧測定法の利点と硬化終結時間測定法への応用. 日本補綴歯科学会第 130 回記念学術大会, web + 小規模集合型 (東京) 開催, 2021 年 6 月 18-20 日,

日補綴会誌 13 (130 回特別号): 221 頁, 2021.

- 11) 伊藤圭一, 金谷 貢, 泉 健次: 万能試験機による石膏の硬化膨張圧測定法の特性. 第 54 回新潟歯学会総会, 新潟, 2021 年 4 月 17 日, 新潟歯学会誌 51 (1): 60 頁, 2021.

#### 【研究会発表】

- 1) 泉 健次: バイオミメティクスをものづくりに活かすためのカラーゲン製材表面をマイクロパターン化する技術開発. 文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム令和 3 年度利用成果発表会, Web 開催 (つくば), 2021 年 9 月 16 日.

#### 【受賞】

- 1) 高 昇将, 木村龍弥, 三井田慶斗, 青柳裕仁, 金谷 貢, 小川祐司: 炭化ケイ素繊維の短繊維と長繊維を同時に用いた際の補強効果の検討. 日本歯科理工学会第 78 回学術講演会, 企業賞, 2021 年 10 月 16 日.

#### 【その他-特許出願・特許取得】

- 1) 泉 健次, 鈴木絢子, 水野 潤, 岸本一真: マイクロパターン化転写用鋳型、転写用鋳型の製造方法及び医療基材の製造方法. 国内特許取得出願中 (出願人: 新潟大学, 早稲田大学), 特願 2022-051501. 2022 年 3 月 28 日.
- 2) 泉 健次, 鈴木絢子, 水野 潤, 岸本一真, 小松隆史, 大澤康暁: マイクロパターン化カラーゲンゲル作製用ステンレス製モールド. 国内特許取得出願中 (出願人: 新潟大学, 早稲田大学, 小松精機工作所), 特願 2021-054133. 2021 年 3 月 26 日.
- 3) 泉 健次, 三輪慶人, 桑江博之, 水野 潤, 兒玉泰洋, 山口 勇: 線維化カラーゲンゲル作製用鋳型材料. 国内特許取得出願中 (出願人: 新潟大学, 早稲田大学, 多木化学株式会社), 特願 2018-145182. 2018 年 8 月 1 日.  
⇒特開 2020-018627.
- 4) 泉 健次, 鈴木絢子, 三輪慶人, 桑江博之, 水野 潤, 兒玉泰洋, 山口 勇: 口腔粘膜上皮細胞培養用の架橋線維化カラーゲンゲル. 国内特許取得出願中 (出願人: 新潟大学, 早稲田大学, 多木化学株式会社), 特願 2018-242505 2018 年 12 月 26 日出願中.  
⇒特開 2020-105083

#### 【その他-プレスリリース】

- 1) 細胞を傷つけずに評価する技術を開発ー再生医療に用いる細胞の品質管理ー  
<https://www.niigata-u.ac.jp/news/2021/87930>

- 2) Cells/colony motion index of oral keratinocytes predicts epithelial regenerative capacity  
<https://www.eurekalert.org/news-releases/638021>
- 3) 口腔がん進展メカニズムの一端を明らかにーがん関連線維芽細胞とがん細胞のクロストークー  
<https://www.niigata-u.ac.jp/news/2021/94583/>
- 4) Role of TGF- $\beta$ /SOX9 axis in carcinogenesis utilizing 3D in vitro and in vivo fashions  
<https://www.thehealthnewsexpress.com/oncology-and-cancer/role-of-tgf-%CE%B2-sox9-axis-in-carcinogenesis-using-3d-in-vitro-and-in-vivo-models/>

## 予防歯科学分野

### 【著書】

- 1) 小川祐司, 埴岡 隆, 小島美樹, 田野ルミ: 歯科における簡易禁煙支援ーWHOによるグローバルスタンダードー, 口腔保健協会, 東京, 2021.
- 2) 小川祐司: 政策決定者とのコミュニケーション (アドボカシー), 保健医療におけるコミュニケーション・行動科学 第2版 (深井穂博 編), 医歯薬出版, 東京, 2021.

### 【論文】

- 1) Yamamoto A, Kubota T, Komatsu Y, Nohno K, Yasuda T, Takahashi T, Torikata R, Tsumori N, Shibutani T, Umeda M, Yoshie H: Efficacy of Erbium: YAG laser for regenerative surgical treatment of peri-implantitis: clinical, microbiological, and biomarker analyses. *Int J Periodontics Restorative Dent*, 41(2): 187-192, 2021.
- 2) Yoshihara A, Suwama K, Miyamoto A, Watanabe R, Ogawa H: Diet and root surface caries in a cohort of older Japanese. *Community Dent Oral Epidemiol*, 49(3): 301-308, 2021.
- 3) Katsura K, Funayama S, Ito K, Nohno K, Kaneko N, Takamura M, Soga M, Kobayashi T, Hayashi T: Radiological imaging features of the salivary glands in xerostomia induced by an immune checkpoint inhibitor. *Oral Radiol*, 37(3): 531-536, 2021.
- 4) Agrasuta V, Thumbuntu T, Karawekpanyawong R, Panichkriangkrai W, Viriyathorn S, Reepomaha T, Jaichuen W, Witthayapipopsakul W, Gaewkhiew P, Prasertsom P, Tangcharoensathien V: Progressive realisation of universal access to oral health services: what evidence is needed? *BMJ Glob Health*, 6(7): e006556, 2021.
- 5) Kubota Y, Pech NS, Durward C, Ogawa H: Underweight and early childhood caries among young children in rural Cambodia: a pilot study. *BDJ Open*, 7(1): 33, 2021.
- 6) Thwin KM, Lin WT, Kaneko N, Nohno K, Ogawa H: Anticaries and anti-microbial effects of school-based fluoride programs in Myanmar school children. *Oral Health Prev Dent*, 20(1): 165-172, 2022.
- 7) Mizoguchi N, Nohno K, Yoshihara A, Ito K, Funayama S, Ogawa H: Association of hyper-low-density lipoprotein and hypo-high-density lipoprotein cholesterolemia with low saliva flow rates in Japanese community-dwelling elders. *Int Arch Otorhinolaryngol*, in press, 2022.
- 8) Karawekpanyawong R, Nohno K, Kubota Y, Ogawa H: Oral health and nutritional intake in community-dwelling 90-year-old Japanese people: a cross-sectional study. *Gerodontology*, in press, 2022.
- 9) Yoshihara A, Nakashima K, Suwama K, Odajima A, Yamaga T, Ogawa H: Interaction between serum vitamin C levels and smoking on the periodontal condition in older adults. *J Periodont Res*, in press, 2022.
- 10) de Oliveira LR, Borges LS, Sarmet M, Kagiya K, Silva BO, Picinato-Pirola M, Takehara S, Kumei Y, Zeredo JLL: Anatomical, behavioural and physiological analyses of craniofacial development by cineradiographic imaging in marmosets, *J Oral Rehabil*, in press, 2022.
- 11) 濃野 要, 葭原明弘, 小川祐司: 身体機能低下および認知機能低下の予防に寄与する口腔関連因子の解明. *日本歯科医学会誌*, 40: 61-66, 2001.
- 12) 宮本 茜, 田村浩平, 杉本智子, 葭原明弘: 新潟県の障害児者施設利用者における口腔保健の実態および歯科専門職配置との関連. *口腔衛生会誌*, 71: 126-135, 2021.
- 13) 秋山理加, 濱寄朋子, 岩崎正則, 角田聡子, 片岡正太, 茂山博代, 濃野 要, 葭原明弘, 小川祐司, 安細敏弘, 宮崎秀夫: 地域在宅超高齢者の食事パターンと栄養素摂取量, 栄養状態および嚥下状態との関連. *口腔衛生会誌*, 71: 136-146, 2021.
- 14) 小川祐司: これからの口腔保健 オーラルヘルスプロモーション戦略. *新潟歯学会雑誌*, 51(1): 1-14, 2021.
- 15) 小田島祐美子, 葭原明弘, 渡邊智子, 小川祐司: 高齢者の肉の脂身の嗜好の高さに影響を及ぼす要因と身体状況, 血液検査状況, 食品群別・栄養素等別摂取量の関連. *新潟歯学会誌*, 51(1): 15-24, 2021.
- 16) 田村浩平, 小川祐司: モバイルアプリを用いた日本版口腔衛生調査プロジェクトについて. *日本歯科医師会雑誌* 74(6): 601-611, 2021.
- 17) 小川祐司, 日本歯科医師会国際渉外委員会: 国際交流だより WHO FDIの禁煙支援について. *日本歯科*

医師会雑誌, 74(6): 648-649, 2021.

- 18) 久保田 悠, 小川祐司, 成松宏人: COVID-19 と口腔衛生. 神奈川県立保健福祉大学誌, 19(1): 25-29, 2022.

#### 【商業誌】

- 1) 小川祐司: WHO の口腔保健推進の決議の意義と日本の役割とは. 日本歯科新聞, 2160号, 2021年6月22日.
- 2) 小川祐司: WORLD HEALTH REPORT 歯科医師による新型コロナウイルスワクチン接種. 日本歯科評論, 81(7): 158-159, 2021.
- 3) 小川祐司: WORLD HEALTH REPORT WHO 西太平洋地域事務局との協力. 日本歯科評論, 81(11): 154-155, 2021.
- 4) 小川祐司: 世界の歯科保健医療の New Normal ウィズコロナへの対応. ヘルスサイエンス・ヘルスケア, 20(2): 54-58, 2021.
- 5) 小川祐司: WORLD HEALTH REPORT 歯科における簡易禁煙支援. 日本歯科評論, 82(2): 150-151, 2022.

#### 【研究費獲得】

- 1) Ogawa H: Translation of the FDI toolkit on Tobacco cessation into Japanese, FDI World Dental Federation, Switzerland, 2021.
- 2) Ogawa H: Literature review on Tele-dentistry, FDI World Dental Federation, Switzerland, 2021.
- 3) Hanindriyo L, Ogawa H (分担) 他: A Pilot Project for Health Promoting School Initiative in Indonesia using a Multidimensional Approach, THE BORROW FOUNDATION GRANT, United Kingdom, 2022.
- 4) Ogawa H 他: Oral function survey among older adults in Philippines, Malaysia and Vietnam and policy analysis on the implementation status of oral health policy in Japan, WHO Western Pacific Regional Office, 2022.
- 5) 皆川久美子: メタボリックシンドローム有病者における歯周病と認知症の関連: 日本学術振興会科学研究補助金, 若手研究(B), 15K20640, 2021.
- 6) 竹原祥子, 植野正之: 真猿類マーマセットの口腔内細菌メタゲノムを活用した次世代型口腔衛生の先駆モデル, 基盤研究(C), 19K10439, 2021.
- 7) 金子 昇, 濃野 要: 口腔細菌叢のメタゲノム解析によるドライマウスの病態解明, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 19K10421, 2021.
- 8) Thwin KM: Effects of school-based fluoride programs in Myanmar children. 日本学術振興会研究活動スタート支援, 19K24162, 2021.
- 9) 高 昇将: ロングスパンブリッジ用新規 CAD/CAM 用

レジンの開発およびその臨床応用: 日本学術振興会研究活動スタート支援, 19K24114, 2021.

- 10) 小川祐司, 山田貴穂, 濃野 要, 皆川久美子: 糖尿病患者の脳梗塞リスクに対する抗菌的歯周治療の有用性に関するランダム化比較試験: 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 20K10291, 2021.
- 11) 山賀孝之, 金子 昇 (分担) 他: 歯周病進行予知のための口腔内 VSC 濃度測定による基準値の確立, 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 20K10283, 2021.
- 12) 高 昇将: SiC 長繊維と短繊維を組み合わせた力学的等方性を持つ新規繊維強化型レジンの開発, 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究, 21K17019, 2021.
- 13) 田中 梓: 令和3年度新潟大学フェローシップ研究費, 文部科学省 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業, 2021.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) Ogawa H: Impact of tobacco consumption on oral health. FDI Oral Campus: Tobacco Cessation in the Dental Practice, web 開催, 2021年7月6日.
- 2) Ogawa H: Effects of school-based fluoride mouth rinsing programmes in Japan, WHOCC Niigata Univ ZOOM webinar, web 開催, 2021年8月27日.
- 3) Ogawa H: Oral health promotion for older people. AHWIN WEBINAR | Why Oral Health Matters for an Aging Asia- Addressing Oral Health in the Context of Healthy Longevity, web 開催, 2021年9月8日.
- 4) Ogawa H: Dissemination to public and/or other healthcare providers -Oral health for older people-, FDI Oral Campus: Success Stories on Integrating Oral Health into General Health, web 開催, 2021年9月15日.
- 5) Thwin KM: International Oral Health. The Event of Special Webinar for Final Year B.D.S., Yangon (Myanmar), 2022年1月3日.
- 6) Ogawa H: Oral health promotion for older people - towards healthy ageing -, UPNN Integrative global oral health lectures series, 2022年1月10日.
- 7) 小川祐司: これからの口腔保健(オーラルヘルスプロモーション)戦略. 第54回新潟歯学会総会, 新潟市, 2021年4月17日, 新潟歯学会雑誌, 51(1): 59, 2021.
- 8) 小川祐司: WHO と国際歯科保健について ~外国人労働者と海外派遣労働者の課題~. 第94回日本産業衛生学会 前期研修会, web 開催, 2021年5月21日, 産業衛生学雑誌, 63(Supple): 320, 2021.
- 9) 小川祐司: WHO タバコ対策のグローバルスタンダードと口腔保健. 第70回日本口腔衛生学会・総会, web



- 開催, 2021年5月27-6月10日, 口腔衛生会誌, 71: 33, 2021.
- 10) 小川祐司: 国際社会から求められる高齢者口腔保健調査研究データとは何かーアジア版共通プロトコールの設定と展望ー. 第70回日本口腔衛生学会・総会, web開催, 2021年5月27-6月10日, 口腔衛生会誌, 71: 37, 2021.
  - 11) 小川祐司: WHOが歯科に推奨する脱タバコ介入. 第24回日本歯科医学会学術大会, web開催, 2021年9月23日-25日. 日本歯科医師会雑誌, 74(4): 96, 2021.
- 【学会発表】**
- 1) Ichikawa Y, Kaneko N, Nohno K, Ogawa H: Root caries risk assessment: Measuring salivary IgA specific to PAc(361-386). 35th Annual Scientific Meeting of the International Association for Dental Research (IADR) SEA Division, Hong Kong (China), Virtual Meeting, 2021年12月8-9日.
  - 2) Thwin KM, Lin WT, Kaneko N, Nohno K, Ogawa H: Anticaries and anti-microbial effects of school-based fluoride programs in Myanmar. The 35th Annual Scientific Meeting of the International Association for Dental Research (IADR) SEA Division, Hong Kong, China, Virtual Meeting, 2021年12月8-9日.
  - 3) 皆川久美子, 葭原明弘, 諏訪間加奈, 小川祐司: 65歳以上のメタボリックシンドローム有病者における現在歯数と心の健康状態の関連(魚沼コホート調査より). 第70回日本口腔衛生学会・総会, web開催, 2021年5月27-6月10日, 口腔衛生会誌, 71(Suppl): 111, 2021.
  - 4) 濃野 要, 金子 昇, 伊藤加代子, 船山さおり, 葭原明弘, 小川祐司: 地域在住高齢者における刺激唾液量の減少に関連する因子の探索1年縦断調査. 第70回日本口腔衛生学会・総会, web開催, 2021年5月27-6月10日, 口腔衛生会誌, 71(Suppl): 114, 2021.
  - 5) 星野剛志, 金子 昇, 葭原明弘, 諏訪間加奈, 小川祐司: 高齢者における血漿中抗 *Porphyromonas gingivalis* 抗体価と心房細動との関連. 令和3年度第1回新潟歯学会例会, 新潟, 2021年7月10日, 新潟歯学会誌, 51(2): 111-112, 2021.
  - 6) 高野綾子, 小島千奈美, 植木麻有子, 古川 泉, 奥村暢旦, 伊藤晴江, 中村 太, 佐藤拓実, 長谷川真奈, 藤井規孝: 歯科衛生士が行う研修歯科医の診療パフォーマンス評価の取り組み. 日本歯科衛生学会第16回学術大会, web開催, 2021年9月18日, 日本歯科衛生学会雑誌, 16(1), 101, 2021.
  - 7) 小川祐司: 禁煙指導・支援から脱タバコ・脱ニコチン治療へ WHOが歯科に推奨する脱タバコ介入. 第24回日本歯科医学会学術大会, web開催, 2021年9月23-25日, 日本歯科医師会雑誌, 74(4): 360, 2021.
  - 8) 小島美樹, 田野ルミ, 細見 環, 小川祐司, 埴岡 隆: WHO(世界保健機関)が歯科に推奨する新たな禁煙支援法 歯科衛生士が、そこにいる価値. 第24回日本歯科医学会学術大会, web開催, 2021年9月23-25日, 日本歯科医師会雑誌, 74(4): 388, 2021.
  - 9) 尾松素樹, 伊藤明彦, 佐藤真奈美, 平野裕之, 井上孝, 倉治ななえ, 岩崎万喜子, 林 美加子, 小川祐司, 日本歯科医師会国際渉外委員会: 日本歯科医師会国際学術交流基金による日本留学助成について. 第24回日本歯科医学会学術大会, web開催, 2021年9月23-25日, 日本歯科医師会雑誌, 74(4): 397, 2021.
  - 10) 岩崎万喜子, 佐藤真奈美, 平野裕之, 井上 孝, 倉治ななえ, 林 美加子, 小川祐司, 日本歯科医師会国際渉外委員会: WDW(FDI世界女性歯科医師部会)の現況と今後の展望. 第24回日本歯科医学会学術大会, web開催, 2021年9月23-25日, 日本歯科医師会雑誌, 74(4): 397, 2021.
  - 11) 佐藤美寿々, 岩崎正則, 皆川久美子, 宮本 茜, 葭原明弘: 地域在住高齢者における歯の喪失と遊離糖類摂取量の関連. 第24回日本歯科医学会学術大会, web開催, 2021年9月23-25日, 日本歯科医師会雑誌, 74(4): 406, 2021.
  - 12) 三井田慶斗, 高 昇将, 木村龍弥, 青柳裕仁, 金谷 貢: 炭化ケイ素繊維強化型新規フェイスガード材料の機械的強さについて. 日本歯科理工学会 令和3年度秋期第78回学術講演会, web開催, 2021年10月16-17日, 日本歯科理工学会誌, 40(Suppl): 63, 2021.
  - 13) 高 昇将, 木村龍弥, 三井田慶斗, 青柳裕仁, 金谷貢, 小川祐司: 炭化ケイ素繊維の短繊維と長繊維を同時に用いた際の補強効果の検討. 日本歯科理工学会 令和3年度秋期第78回学術講演会, web開催, 2021年10月16-17日, 日本歯科理工学会誌, 40(Suppl): 64, 2021.
  - 14) 埴岡 隆, 谷口奈央, 小川祐司, 小島美樹: タバコ依存への歯科の取り組み WHOが歯科に推奨する新たな禁煙支援法から. 第15回日本禁煙学会学術総会, ハイブリッド方式開催, 2021年10月16-17日, 日本禁煙学会学術総会プログラム・抄録集, 69, 2021.
  - 15) 市川 優, 金子 昇, 濃野 要, 小川祐司: 高齢者における唾液中抗 *Streptococcus mutans* 特異抗体を用いた根面う蝕発生リスクの検討, 令和3年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2021年11月6日, 新潟歯学会誌, 51(2): 122-123, 2021.

- 16) 大久保 光, 皆川久美子, 田中 梓, 小川祐司: 糖尿病患者における BMI と全身健康状態自己評価の関連. 第 32 回甲信越北陸口腔保健研究会総会・学術大会, web 開催, 2021 年 11 月 20 日, 口腔衛生会誌, 72(1): 58-59, 2022.
- 17) 田中 梓, 皆川久美子, 濃野 要, 小川祐司: 2 型糖尿病患者における歯周病炎症面積と脳梗塞発症リスクとの関連. 第 80 回日本公衆衛生学会総会, ハイブリッド方式開催, 2021 年 12 月 21-23 日, 公衆衛生会誌, 68(11): 438, 2021.
- 18) 皆川久美子, 葭原明弘, 宮本 茜, 諏訪間加奈, 小川祐司: 腎機能と自己申告による現在歯数との関連 (魚沼コホート調査より). 第 80 回日本公衆衛生学会総会, ハイブリッド方式開催, 2021 年 12 月 21-23 日, 公衆衛生会誌, 68(11): 439, 2021.
- 19) 竹原祥子, 佐藤康仁, 清水洋子, 坂本倫美, 小川久貴子, 松岡雅人: 看護学生の新型タバコに対する認識. 第 80 回日本公衆衛生学会総会, ハイブリッド方式開催, 2021 年 12 月 21-23 日, 公衆衛生会誌, 68(11): 362, 2021.

#### 【受賞】

- 1) 高 昇将: 炭化ケイ素繊維の短繊維と長繊維を同時に用いた際の補強効果の検討. 令和 3 年度日本歯科理工学会秋期第 78 回学術講演会, 企業賞
- 2) 大久保 光: 糖尿病患者における BMI と全身健康状態自己評価の関連. 第 32 回甲信越北陸口腔保健研究会学術大会 発表奨励賞

#### 【その他】

- 1) Ogawa H, Karawekpanyawong R, Hoshino T, Pathak B: Policy statement “The Role of Oral Health Practitioners in Tobacco Cessation”, World Dental Federation, 2021.
- 2) Ogawa H, Karawekpanyawong R, Hoshino T, Pathak B: “FDI Tobacco Cessation Guide for oral health professionals”, World Dental Federation, 2021.
- 3) Karawekpanyawong R, Hoshino T, Pathak B: Fact sheet: The Effects of E-cigarettes on Oral Health [Internet]. World Dental Federation (FDI), 2021. <https://www.fdiworlddental.org/effects-e-cigarettes-oral-health>
- 4) Ogawa H: Oral health promotion for older people, Mahidol オンライン講義, web 開催, 2022 年 3 月 17 日.
- 5) Ogawa H: Prevention and control of oral disease; Integration NCD and oral health - WHO perspectives -, UGM オンライン講義, web 開催, 2022 年 3 月 23 日.
- 6) 小川祐司: これからのオーラルヘルスプロモーション ～グローバルイニシアティブを考える～. サン

- スターDH 教育講演会, web 開催, 2021 年 8 月 5 日.
- 7) 小川祐司, 植木麻有子: 健康教育コンソーシアム予防歯科コース, (株)アイセック, web 録画, 2021 年 10 月.
- 8) 小川祐司: あなたの健康はお口から 毎日新聞ニュースサイト「医療プレミア」, 2022.
- 9) 小川祐司: あなたの歯みがき・義歯のお手入れ、大丈夫ですか? 新潟日報社にいがた元気プラス「にいがた健活手帳」, 2022.
- 10) 小川祐司, 大久保 光, 植木麻有子: できていますか 患者さんへの禁煙支援. White Cross Japan セミナー, web 録画, 2022 年 3 月.

### う蝕学分野

#### 【著書】

- 1) 竹中彰治, 野村由一郎 (分担執筆). メタルインレー修復. 保存修復学 21 第六版 (田上順次, 奈良陽一郎, 山本一世, 斎藤隆史監修). 永末書店, 京都, pp. 253-262, 2022.

#### 【論文】

- 1) Yoshiba N, Edanami N, Ohkura N, Maekawa T, Takahashi N, Tsuzuno T, Maeda T, Tabeta K, Izumi K, Noiri Y, Yoshiba K: Laminin Isoforms in Human Dental Pulp: Lymphatic Vessels Express Laminin-332, and Schwann Cell-Associated Laminin-211 Modulates CD163 Expression of M2-like Macrophages. *ImmunoHorizons*. 5(12):1008-1020, 2021. doi: 10.4049/immunohorizons.2100110.
- 2) Takenaka S, Edanami N, Komatsu Y, Nagata R, Naksagoon T, Sotozono M, Ida T, Noiri N. Periodontal pathogens inhabit root caries lesions extending beyond the gingival margin: a next-generation sequencing analysis. *Microorganisms*. 2021; 9: 2349.
- 3) Naksagoon T, Takenaka S, Nagata N, Sotozono M, Ohsumi T, Ida T, Edanami N, Maeda T, Noiri Y. A repeated state of acidification enhances the anticariogenic biofilm activity of glass ionomer cement containing fluoro-zinc-silicate fillers. *Antibiotics*. 2021; 10: 977.
- 4) Maki Sotozono, Nanako Kuriki, Yoko Asahi, Yuichiro Noiri, Mikako Hayashi, Daisuke Motooka, Shota Nakamura, Mikiyo Yamaguchi, Tetsuya Iida, Shigeyuki Ebi: Impact of sleep on the microbiome of oral biofilms. *PLoS One*. 2021 Dec 9;16(12):e0259850.doi:10.1371/journal.pone.0259850. eCollection 2021.
- 5) Edanami N, Belal RSI, Yoshiba K, Yoshiba N, Ohkura N,

Takenaka S, Noiri Y. Effect of a resin-modified calcium silicate cement on inflammatory cell infiltration and reparative dentin formation after pulpotomy in rat molars. *Aust Endod J.* 2021 (Online ahead of print) DOI: 10.1111/aej.12568.

- 6) Edanami N, Belal RSI, Takenaka S, Yoshida K, Yoshida N, Ohkura N, Takahara S, Noiri Y. Apatite-forming ability of flowable vs. putty formulations of newly developed bioactive glass-containing endodontic cement. *Appl Sci.* 2021; 11: 8969.
- 7) Belal RSI, Edanami N, Belal RSI, Yoshida K, Yoshida N, Ohkura N, Takenaka S, Noiri Y. Comparison of calcium and hydroxyl ion release ability and in vivo apatite-forming ability of three bioceramic-containing root canal sealers. *Clin Oral Investig.* 2022; 26: 1443-1451.
- 8) 松井沙織、前蘆葉月、野杵由一郎、林美加子：ラット根管治療モデルを用いた高周波根尖療法の評価。大阪大学歯学雑誌：令和3年8月5日開催の大阪大学歯学会第131回例会において令和2年度優秀研究奨励賞を受賞した講演のミニレビュー
- 9) 竹中彰治. 口腔バイオフィームとの共存をコンセプトとしたバイオフィーム制御材の開発. *日歯保存誌.* 2022. 65: 21-24
- 10) 永田量子, 竹中彰治, 佐藤裕樹, 横山純二, 寺井崇二, 野杵由一郎: Nested PCR法を用いた口腔 *Helicobacter pylori*(ピロリ菌)の網羅的検出. *Bacterial Adherence & Biofilm Vol35*,印刷中.

#### 【商業誌】

- 1) 野杵由一郎：連載企画・バイオフィームとの闘いに向けた歯科医療とのパラダイムシフト 1. デンタルバイオフィームってくちと口腔感染症にとって何ですか. *日本歯科評論*, 81(4): 85-92.
- 2) 野杵由一郎：連載企画・バイオフィームとの闘いに向けた歯科医療とのパラダイムシフト 6. デンタルバイオフィームとの闘いに向けて. *日本歯科評論*, 81(9): 121-128.
- 3) 野杵由一郎：日本歯内療法学会がすべての歯科医師に贈る 最新トレンド. 別冊：クインテッセンス, 164-165
- 4) 竹中彰治. う蝕に対する臨床的対応のパラダイムシフト- う蝕とバイオフィーム. *日本歯科評論*. 2021. 81: 133-141.

#### 【研究費獲得】

- 1) 野杵由一郎：科学的根拠に基づいた永久歯の歯髄還元療法・”歯の不死化”の確立をめざす包括的研究. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(B)(一

般), 21H03117B, 2021-2023

- 2) 吉羽永子: ヒト歯髄の創傷治癒過程における M2 マクロファージとシュワン細胞の相互作用の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K10146, 2019-2021.
- 3) 竹中彰治: リスクアセスメントとオーラルリテラシーを向上する誤嚥性肺炎の危険予知システム開発. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(B)(一般), 2019-2022
- 4) 竹中彰治: 訪問看護師のための認知症に対応した誤嚥性肺炎リスクを判定する迅速診断キットの開発. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 挑戦的研究(萌芽), 2020-2021
- 5) 井田貴子: 歯根膜線維の組織化が細胞外微小環境として幹細胞分化に及ぼす影響の解明. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18595, 2021-2022
- 6) 枝並直樹: 歯内療法用生体活性材料が持つアパタイト形成能の生体内評価と新規生体外試験法の開発. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 若手研究, 2021-2022
- 7) 井田貴子: Epigallocatechin-3-gallate(EGCG)によるマクロファージの極性誘導および口腔バイオフィーム接着阻害作用の検討. 令和3年度新規採用スタートアップ支援制度(新潟大学経営戦略本部ダイバーシティ推進室), 2020-2021.
- 8) 外園真規: in situ モデルを用いたデンタルバイオフィームと歯肉上皮の共生機構の解明. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K16990, 2021-2022
- 9) 口腔ピロリ菌は胃がんの原因となるか?磁気ビーズを用いた DNA 解析による検索. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 21K21081, 2021-2022.
- 10) 大倉直人: アスコルビン酸輸送担体を介した象牙芽細胞分化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K19020, 2019-2021.
- 11) 外園真規: In situ デンタルバイオフィームモデルを用いた効果的な口腔ケア方法の確立. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 2020-2021.
- 12) 吉羽永子: 文部科学省科学技術人材育成費補助金「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) 野杵由一郎: 変わり行くう蝕治療と技術革新後の歯内療法. 第64回 NPO 法人日本口腔科学会中部地方

部会特別講演/学術研修会（オンデマンド開催）

- 2) 野杵由一郎 基調講演：高めよう歯科衛生士の質とプロ意識。演者 茂木美保『オーガナイザー兼座長：野杵由一郎』。日本歯科保存学会 2021 年度秋季学術大会 155 回大会（オンデマンド）2021/10/28-11/17
- 3) 野杵由一郎 シンポジウムⅡ：保存治療における和み。杉山精一、須藤享、高山真一『オーガナイザー兼座長：野杵由一郎』日本歯科保存学会 2021 年度秋季学術大会 155 回大会（オンデマンド）2021/10/28-11/17
- 4) 竹中彰治. 修復と歯周の境界病変「根面う蝕」のサイエンス- う蝕発生メカニズムの再検証. 第 155 回日本歯科保存学会, 新潟 (Web 開催), 2021 年 10 月 28 日～11 月 10 日.
- 5) 野杵由一郎：う蝕治療の夜明け-歯科衛生士が担う役割とは-。第 16 回日本歯科衛生学会日本歯科保存学会共同セミナー（オンデマンド開催）2021/09/18-30
- 6) 野杵由一郎：デンタルバイオフィルム- 口腔から全身疾患との関連まで。第 75 回日本口腔科学会学術集会第 15 回教育研修プログラム（ハイブリッド開催）2021/5/13・2021/05/12-14

#### 【学会発表】

- 1) Naoto Ohkura, Hwa Kyung Nam, Nan E Hatch: Impact of TNAP deficiency in cranial neural crest cells on craniofacial skeletal development. University of Michigan School of Dentistry Research Day 2022, Ann Arbor, MI, US, February 17, 2022.
- 2) 外園真規, 朝日陽子, 栗木菜々子, 林美加子, 竹中彰治, 野杵由一郎, 恵比須繁之. 睡眠が口腔バイオフィルム細菌叢におよぼす影響. 日本歯科保存学会 2021 年度秋季大会 (第 155 回), Web 開催. 2021 年 10 月 28 日～11 月 10 日.
- 3) 永田量子, 竹中彰治, 佐藤裕樹, 横山純二, 寺井崇二, 野杵由一郎. Nested PCR 法を用いた *Helicobacter pylori* (ピロリ菌) の網羅的検出. 第 34 回日本バイオフィルム学会, Web 開催. 2021 年 8 月 28 日.
- 4) Traithawit Naksagoon, Shoji Takenaka, Ryoko Nagata, Maki Sotozono, Tatsuya Ohsumi, Takeyasu Maeda, Yuichiro Noiri: Effects of Water Aging on Anti-biofilm Properties of a Glass Ionomer Cement Containing Fluoro-zinc-silicate Fillers. 令和 3 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2021 年 7 月 10 日
- 5) Mdrazisaifullah Ibbelal, Naoki Edanami, Kunihiro Yoshida, Nagako Yoshida, Naoto Ohkura, Shoji Takenaka, Yuichiro Noiri: Apatite forming ability of different endodontic bioceramics in vivo and under in vivo mimicking condition. 令和 3 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2021 年 7 月 10 日

#### 【受賞】

- 1) 吉羽永子：令和 3 年度新潟大学優秀論文表彰

#### 【その他】

- 1) 吉羽永子：2021 年度拠点事業「大阪大学蛋白質研究所共同研究員」

### 小児歯科学分野

#### 【著書】

- 1) 大島邦子：重症心身障害，感覚器障害．歯科衛生士講座 障害者歯科学 第 3 版（柿木保明，野本たかと，梶美奈子編），43-46 頁，永末書店，京都，2022.

#### 【論文】

- 1) Nakakura-Ohshima K, Quispe-Salcedo A, Sano H, Hayasaki H, Ohshima H : The effects of reducing the root length by apicoectomy on dental pulp revascularization following tooth replantation in mice. Dent Traumatol 37(5):677-690, 2021.
- 2) Nogami Y, Saitoh I, Inada E, Murakami D, Iwase Y, Kubota N, Sawami T, Nakamura Y, Nakajima T, Nakakura-Ohshima K, Suzuki A, Yamasaki Y, Hayasaki H, Kaihara Y. Lip-closing strength in children is enhanced by lip and facial muscle training. Clin Exp Dent Res 8(1):209-216, 2021.
- 3) Inada E, Saitoh I, Kubota N, Iwase Y, Kiyokawa Y, Noguchi Y, Yamasaki Y, Sato Y: RNA analysis based on a small number of manually isolated fixed cells (RNA-snMIFxC) to profile stem cells from human deciduous tooth-derived dental pulp cells. Biological Procedures Online 23: 12, 2021.
- 4) Saitoh I, Sato M, Kiyokawa Y, Inada E, Iwase Y, Imano N, Noguchi H: Induced Tissue-Specific Stem Cells (iTSCs): Their Generation and Possible Use in Regenerative Medicine. Pharmaceutics 13 : 780, 2021.
- 5) Sato M, Saitoh I, Kiyokawa Y, Iwase Y, Kubota N, Imano N, Noguchi H, Yamasaki Y, Inada E: Tissue-Nonspecific Alkaline Phosphatase, a Possible Mediator of Cell Maturation. Towards a New Paradigm. Cells 10: 3338, 2021.
- 6) Sato M, Kiyokawa Y, Inada E, Akasaka E, Watanabe S,

Saitoh I: Adipose Tissue as a Useful Material for the Grafting of Tumorigenic Cells and Juvenile Tissues in Mice. OBM Transplantation 05: 1-1, 2021.

- 7) Nakamura Y, Hanasaki M, Sano T, Hayasaki H, Iwase Y, Saitoh I: Oral function and feeding management in a child with alpha thalassemia X-linked intellectual disability syndrome. J Dent Child (Chic) 88(3): 206-209, 2021.
- 8) Sasakawa Y, Nakamura Y, Saitoh I, Nakajima T, Tsukuno S, Hozawa M, Sotome T, Nogami Y, Kurosawa M, Iwase Y, Hayashi T, Hayasaki H: Lip-closing pressure during food intake from a spoon in normal children. J Oral Rehabil 48(6): 711-779, 2021.
- 9) 近藤亜子, 岡野哲, 津金裕子, 飯沼光生, 犬塚勝昭, 土岐志麻, 石通宏行, 岡 暁子, 倉重圭史, 桑原康生, 佐野正之, 鈴木淳司, 田中晃伸, 仲野和彦, 中村由紀, 早崎治明, 星野倫範, 齊藤正人, 木本茂成, 牧 憲司: 幼児期における舌小帯異常の実態調査. 小児歯科学会雑誌 59(3) : 107-116, 2021.
- 10) 船山ひろみ, 齊藤桂子, 森川和政, 朝田芳信, 早崎治明, 大島邦子ほか: 歯科医師国家試験出題基準に対する日本小児歯科学会としての考え方, 小児歯誌 59(2) : 80-94, 2021.

#### 【研究費獲得】

- 1) 大島邦子, 早崎治明, 大島勇人: 外傷歯における神経伝達シグナルと人為的血流調節による歯髄静的幹細胞賦活化の試み. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 20K10224, 2020-2022.
- 2) 中村由紀, 早崎治明, 堀 一浩, 林 豊彦: 捕食およびフードプロセスの特徴解析から小児の食物窒息リスクを検証する. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 19K10402, 2021.
- 3) 早崎治明, 中村由紀: 小児の摂食行動は歯の萌出時期に影響を与える. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 19K10379, 2021.
- 4) 松原まなみ, 中村由紀, 早崎治明: 早産児の口腔発達支援プログラムの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 21K109013, 2021.
- 5) 中島 努: 食具を使用した捕食動作における口腔機能の発達過程を探る. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手 研究, 21K17156, 2021.
- 6) 笹川祐輝: 口唇機能の発達評価に基づく食事支援方法の確立にむけて. 公益財団法人富徳会研究者助成金, 2021.

#### 【学会発表】

- 1) 朴沢美生, 中村由紀, 中島 努, 笹川祐輝, 築野沙絵子, 五月女哲也, 岩瀬陽子, 齊藤一誠, 早崎治明:

口唇閉鎖を伴う3種被験運動における複合センサーを用いた口腔機能評価. 第59回日本小児歯科学会大会, Web配信, 2021年6月6-20日, 小児歯科学雑誌 59(大会抄録号) : 72頁, 2021.

- 2) 佐野拓人, 大島邦子, 岡田康男, 佐藤拓一, 大島勇人: 髄床底部への意図的穿孔形成がマウス臼歯再植後の歯髄治癒過程に及ぼす影響. 第63回歯科基礎医学会学術大会, web開催, 2021年10月9-11日, J. Oral Biosci. Suppl : 314頁, 2021.
- 3) 花崎美華, 中村由紀, 中島 努, 早崎治明: 乳歯の形成不全を伴うGoltz症候群の1例. 第39回日本小児歯科学会北日本地方会, Web開催, 2021年10月10-16日, 小児歯科学雑誌 60(地方会抄録号) : 12頁, 2022.

#### 生体歯科補綴学分野

##### 【論文】

- 1) Tabassian LJ, Nagasawa M, Ba AK, Akiba N, Akiba Y, Uoshima K, Ohyama H. Comparing dental student preclinical self-assessment in the United States and Japan. Journal of dental education Jan;86(1):21-28, 2022.
- 2) Kimura T, Aoyagi Y, Taka N, Kanatani M, Uoshima K: Metallization by Sputtering to Improve the Bond Strength between Zirconia Ceramics and Resin Cements. Journal of Functional Biomaterials, 12(4):62, 2022.
- 3) Uoshima K, Akiba N, Nagasawa M. Technical skill training and assessment in dental education. Jpn Dent Sci Rev. Nov;57:160-163, 2021.
- 4) Takaoka Y, Akiba Y, Nagasawa M, Ito A, Masui Y, Akiba N, Eguchi K, Miyazawa H, Tabeta K, Uoshima K: The relationship between dental metal allergy, periodontitis, and palmoplantar pustulosis: An observational study. Journal of prosthodontic research 2021.
- 5) Kawamura A, Akiba Y, Nagasawa M, Takashima M, Arai Y, Uoshima K: Bone heating and implant removal using a high-frequency electrosurgical device: An in vivo experimental study. Clinical oral implants research 32(8):989-997, 2021.
- 6) Arai Y, Inanobe-Takatsuka M, Takashima M, Ogawa S, Kawamura A, Nohno K, Uoshima K: Reducing bacterial counts around the abutment following professional mechanical plaque removal at the implant bridge: A randomized crossover comparison of removing or not removing the superstructure. J Prosthodont Res. 24;65(1):91-96, 2021.

- 7) Mizukoshi M, Kaku M, Thant L, Kitami K, Arai M, Saito I, Uoshima K: In vivo cell proliferation analysis and cell-tracing reveal the global cellular dynamics of periodontal ligament cells under mechanical-loading. *Sci Rep.* 11(1):9813, 2021.
- 8) Govitvattana N, Kaku M, Ohyama Y, Jaha H, Lin IP, Mochida H, Pavasant P, Mochida Y: Molecular Cloning of Mouse Homologue of Enamel Protein C4orf26 and Its Phosphorylation by FAM20C. *Calcif Tissue Int.* 109(4):445-454, 2021.

#### 【商業誌】

- 1) 魚島勝美, 長澤麻沙子, 秋葉陽介: 人工骨の研究と開発と臨床応用. 季刊 歯科医療 35(4):18-22, 2021.

#### 【研究費獲得】

- 1) 魚島勝美, 加来賢, 秋葉陽介, 長澤麻沙子: 骨の骨細胞ネットワーク再構築と骨質に着目した自家骨移植の至適条件探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 20H03876A, 2021.
- 2) 魚島勝美, 秋葉奈美, 長澤麻沙子: パーチャルリアリティーを活用した歯科技能教育の完全デジタル化. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 18K18633, 2021.
- 3) 加来賢, 魚島勝美, 北見公平, 柿原嘉人, 松本雅記: 定量プロテオミクスによる歯根膜マトリックスの網羅的解析と再生基材の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 21H03127, 2021.
- 4) 加来賢, 奥田修二郎: 細胞追跡法と遺伝子ネットワーク解析による幹細胞の分化制御メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 21K19895, 2021.
- 5) 秋葉陽介: 規格化ナノ構造チタンによる接着蛋白質を介した組織形成制御可能な生体材料開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09976, 2021.
- 6) 秋葉奈美: 生理機能亢進細胞混合移植とレドックス制御による長期骨量維持可能な骨増生法開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 20K10051, 2021.
- 7) 青柳裕仁, 金谷, 貢: メタライズを応用した新規ジルコニア表面改質法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09975, 2021.
- 8) 長澤麻沙子, 魚島勝美: 歯根膜の完全な再生を目指した意図的再移植法の新規開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 20K10032,

2021.

- 9) 長澤麻沙子: 科学的根拠に基づいたアバットメント締付けトルク値の検索. 日本口腔インプラント学会令和3年度口腔インプラント研究助成金, 2021.
- 10) JM Rosales Marcelo, 加来賢, 魚島勝美: Transomics analysis of the difference between Cortical and Trabecular bone. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09998, 2021.
- 11) 江口香里: 免疫寛容破綻を起点とした歯科金属アレルギー発症機序の可能性探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 20K18627, 2021.
- 12) 浜谷桂佑: 表面での歯根膜再生を可能とする歯根破折歯修復用接着材料の新規適用法開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 21K21006, 2021.
- 13) 高岡由梨那: 歯科金属アレルギーと乾癬の免疫学的共通因子の探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 21K17061, 2021.
- 14) 高岡由梨那: 歯科金属アレルギーによる乾癬症状増悪・継続機序の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 20K23050, 2021.
- 15) 工藤莉奈: 移植環境制御と細胞移植による予知性の高い骨増生法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 21K21007, 2021.
- 16) 三谷咲貴: 次世代主要切削器具としてのジルコニアドリルの臨床的優位性を多面的に検討する. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 20K18557, 2021.
- 17) 泉健次, 芳賀永, 石原誠一郎, 加来賢, 佐藤大祐, 鈴木絢子: 足場材の硬さの違いを利用した上皮角化・化様式解明と培養口腔粘膜作成法への応用. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 21H03870, 2021.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) Uoshima K: Prosthodontic Significance of Dental Implant Treatments. The 26th WCOI Japan Annual Scientific Conference and the 1st Japan-India Collaboration conference, Virtual, March 27, 2022.
- 2) Uoshima K: Is a dental implant better than a natural tooth or a removal partial denture?. 11th conference on dental science and education, Virtual, Hanoi, Viet Nam, November 26, 2021, Abstract & Program book Page 7, 2021.
- 3) Nagasawa M: Renovated active learning program for fixed partial denture course in Niigata University. Virtual, Hanoi, Viet Nam, November 25, 2021, Abstract & Program book Page 5, 2021.

- 4) 加来賢, 魚島勝美: メカニカルストレスの制御を基盤とした歯科補綴治療戦略 先端テクノロジーが拓く2040年の補綴治療 ～バックキャスト思考によるイノベーション戦略～. 第24回日本歯科医学会学術大会, 横浜, 2021年9月24日, 同学術大会プログラム抄録集, 2021.
- 5) 加来賢: 間葉系幹細胞による歯根膜維持メカニズムの解明と展望 ～間葉系幹細胞の研究から考える生物学としての補綴歯科治療～. 第130回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2021年6月20日, 同学術大会プログラム抄録集: 102頁, 2021.
- 6) 高岡由梨那, 秋葉陽介: 歯科金属アレルギー患者への対応～検査, 診断, 治療方針と他科連携～. 第130回日本補綴歯科学会学術大会 イブニングセッション, Web開催, 2021年6月20日, 2021.
- 7) 小野喜樹, 加来賢, 土橋梓, 魚島勝美: 歯根膜の組織修復過程における Wnt/ $\beta$ -catenin シグナルの解析. 令和3年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会. 新潟, 2021年11月7日, 同学術大会プログラム抄録集: 10頁, 2021.
- 8) 土橋梓, 加来賢, Juan Marcelo Rosales Rocabado, 小野喜樹, 魚島勝美: 力学的刺激に対する歯根膜の耐性獲得に関わる分子ネットワークの解析. 令和3年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会, 新潟, 2021年11月7日, 同学術大会プログラム抄録集: 10頁, 2021.

#### 【学会発表】

- 1) Tabassian L, Kormmehl D, Agrawal R, Harris J, Nagasawa M, Chutinan S, Hiroe Ohyama H. Self-assessment in Dentistry: Hand Skills, Gender, Technology and Culture. 2022 ADEA Annual Session & Exhibition, Philadelphia, US. Mar 19-22, 2022.
- 2) 江口香里, 秋葉陽介, グエン=ヴァン=クアン, 工藤莉奈, 高岡由梨那, 魚島勝美: 予知性の高い骨増生法の開発を目的とした抗酸化物質エダラボンによる移植細胞の生存率向上と機能温存. 第37回歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い(令和3年度), Web開催, 2022年2月15日, 2022.
- 3) 山本悠, 長澤麻沙子, 浜谷桂佑, ZHANG TONGTONG, 魚島勝美: アバットメントスクリー縮付けトルクおよび動的荷重がインプラント周囲骨に及ぼす影響. 第51回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会, オンデマンドWEB開催, 2021年12月17日-26日, 同学術大会プログラム・抄録集:176頁, 2021.
- 4) 小野喜樹, 加来賢, 土橋梓, 魚島勝美: 創傷治癒に伴うセメント質添加過程における $\beta$ -catenin 発現細胞の局在. 第51回日本口腔インプラント学会学術大会, 広島, 2021年12月17-26日, 同学術大会プログラム抄録集:188頁, 2021.
- 5) 秋葉陽介, 江口香里, 高岡由梨那, 秋葉奈美, 長澤麻沙子, 水野潤, 魚島勝美: 規格化ナノ構造チタンにおける骨髄由来細胞の増殖と動態. 第51回日本口腔インプラント学会学術大会 優秀研究発表, Web開催, 2021年12月18日, 2021.
- 6) 秋葉奈美, 秋葉陽介, 小野和宏, 長澤麻沙子, 藤井規孝, 魚島勝美: 卒前の総合模型実習と診療参加型臨床実習が臨床研修開始時の歯科臨床能力に及ぼす効果. 第40回日本歯科医学教育学会学術大会, Web開催, 2021年11月20日-12月3日, 同学術集会一般演題プログラム・抄録集:8頁, 2021.
- 9) Lay Thant, Masaru Kaku, Yoshito Kakihara, Masaru Mizukoshi, Kohei Kitami, Katsumi Uoshima, Isao Saito: Altered proteomic composition and collagen fiber organization in the periodontal ligament under orthodontic force. 第80回日本矯正歯科学会学術大会, 横浜, 2021年11月3-5日, 同学術大会プログラム抄録集: 233頁, 2021.
- 10) 新井萌生, 北見公平, 加来賢, 水越優, 魚島勝美, 齋藤功: 矯正歯の移動時の歯根膜における SPARC の局在について. 第80回日本矯正歯科学会学術大会, 横浜, 2021年11月3-5日, 同学術大会プログラム抄録集: 148頁, 2021.
- 11) 岩間基, 北見公平, 加来賢, Lay Thant, 新井萌生, 水越優, 魚島勝美, 齋藤功: 加齢により有細胞セメント質表層に生じる無細胞セメント質様組織の解析. 第80回日本矯正歯科学会学術大会, 横浜, 2021年11月3-5日, 同学術大会プログラム抄録集: 147頁, 2021.
- 12) 水越優, 加来賢, 北見公平, 新井萌生, 岩間基, 魚島勝美, 齋藤功: マウス臼歯歯根膜における Label Retaining Cell の局在と特性. 第80回日本矯正歯科学会学術大会, 横浜, 2021年11月3-5日, 同学術大会プログラム抄録集: 151頁, 2021.
- 13) 三井田慶斗, 高昇将, 木村龍弥, 青柳裕仁, 金谷頁: 炭化ケイ素繊維強化型新規フェイスガード材料の機械的強さについて. 第78回秋季学術講演会, 日本歯科理工学会, 岡山, Web開催, 同学術集会プログラム・抄録集:63頁, 2021年10月17日, 2021.
- 14) 青木直美, 青柳裕仁, 木村龍弥, 魚島勝美: 小臼歯部 CAD/CAM 冠支台歯の咬合面隅角部形態における測定精度の違いが適合精度に及ぼす影響. 第24回日本歯科医学会学術大会, Web開催, 2021年9月23-25日, 2021.

- 15) Lay Thant, Masaru Kaku, Yoshito Kakihara, Masaru Mizukoshi, Megumi Kitami, Kohei Kitami, Daiki Kobayashi, Yutaka Yoshida, Katsumi Uoshima, Isao Saito, Makio Saeki: Proteomic analysis of periodontal ligament extracellular matrix under mechanical stress. 第 53 回日本結合組織学会学術大会, 東京, 2021 年 6 月 26-27 日, 同学術大会プログラム抄録集, 2021.

#### 【受賞】

- 1) 長澤麻沙子: Comparing Dental Student Self-Assessment in the US and Japan. 第 13 回日本歯科医学教育学会 国際学会研究発表奨励賞, 2021 年 7 月 4 日.

### 顎顔面口腔外科学分野

#### 【著書】

- 1) 鶴巻浩, 隅田賢正: デンタルダイヤモンド 2021 年 8 月号, 臨床アドバンス ワンランク上を目指す, Dd 診断力ですと, 硬性の開口障害, 25 頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2021

#### 【論文】

- 1) Kato H, Sugimoto M, Enomoto A, Kaneko M, Hara Y, Saito N, Shiomi A, Ohnuki H, Izumi K: Metabolomic Alteration of Oral Keratinocytes and Fibroblasts in Hypoxia. *J. Clin. Med*, 10(6): 1156, 2021.
- 2) Yoshida K, Kodama Y, Nishikawa A, Estacio Salazar AR, Toyama A, Takagi R. Comparison between the prophylactic effects of amoxicillin 24 and 48 hours pre-operatively on surgical site infections in Japanese patients with impacted mandibular third molars: A prospective cohort study. *J Infect Chemother*, 27(6): 845-851, 2021. doi: 10.1016/j.jiac.2021.01.018.
- 3) Kato J, Mikoya T, Ito Y, Sato Y, Uematsu S, Kodama Y, Susami T, Yamanishi T, Takagi R, Tei K: Dental Arch Relationship Outcomes Following Two-Stage Palatoplasty for Japanese Patients with Complete Unilateral Cleft Lip and Palate: A Three-Center Study. *Cleft Palate Craniofac J*, 2021. doi: 10.1177/10556656211010606.
- 4) Kiguchi T, Kakihara Y, Yamazaki M, Katsura K, Izumi K, Tanuma J, Saku T, Takagi R, Saeki M: Identification and characterization of R2TP in the development of oral squamous cell carcinoma. *BBRC* 548: 161-166, 2021. doi: org/10.1016/j.bbrc.2021.02.074
- 5) Kawaharada M, Maruyama S, Abé T, Yamazaki M,

Kurokawa A, Katagiri W, Takagi R, Hayashi T, Kobayashi T, Tanuma J: Other iatrogenic immunodeficiency-associated lymphoproliferative disorders in the oral cavity: a clinicopathologic study of 4 cases and literature review. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol*, S2212-4403(21)00464-8, 2021. doi: 10.1016/j.oooo.2021.05.015.

- 6) Saito T, Nishikawa A, Hara-Saito Y, Andrea RE, Kurokawa A, Iida A, Yamaga M, Kano H, Kato Y, Takata Y, Nishiyama H, Kitamura N, Tanaka T, Takagi R: Risk factors of medication-related osteonecrosis of the jaw in preventive tooth extraction before bone resorption inhibitor administration: A multicenter nested case-control study. *Oral sci int*. 2021. doi: <https://doi.org/10.1002/osi2.1122>
- 7) Katsumi Y, Takagi R, Ohshima H.: Variations in the venous supply of the floor of the oral cavity: Assessment of relative hemorrhage risk during surgery. *Clin Anat*, 34(7):1087-1094, 2021.
- 8) Yamada E, Takagi R, Moro H, Sudo K, Kato S: Saliva is a suitable alternative to plasma for evaluating pharmacologically active dolutegravir concentration. *PLoS One*. 2021. doi: 10.1371/journal.pone.0246994
- 9) Yoshida K, Kodama T, Tanaka Y, Pak K, Soga M, Toyama A, Katsura K, Takagi R. Pharmacist involved education program in a multidisciplinary team for oral mucositis: Its impact in head-and-neck cancer patients. *PLOS ONE*, 16(11), 2021. doi: 10.1371/journal.pone.0260026
- 10) Yamazaki M, Maruyama S, Abe T, Sumita Y, Katsumi Y, Nikkuni Y, Hayashi T, Tanuma J: Spindle cell squamous cell carcinoma exhibiting prominent neutrophil phagocytosis: a case report. *Journal of Medical Case Reports*, 15. 2021. doi: 10.1186/s13256-021-03066-z
- 11) Isshiki-Murakami M, Tachinami H, Tomihara K, Noguchi A, Sekido K, Imaue S, Fujiwara K, Imura J, Noguchi M. Central mucoepidermoid carcinoma of the maxilla developing from a calcifying odontogenic cyst: A rare case report. *Clin Case Rep*. 28; 9(10), 2021. doi: 10.1002/ccr3.4928
- 12) Sekido K, Imaue S, Tomihara K, Tachinami H, Yamagishi K, Okazawa S, Ikeda A, Fujiwara K, Noguchi M. Durable complete response to immunotherapy with anti-PD-1 antibody nivolumab in a patient with oral squamous cell carcinoma presenting with lung metastasis: A case report. *Clin Case Rep*. 30;9(9), 2021. doi: 10.1002/ccr3.4545
- 13) Fujiwara K, Saitou S, Nagaoka R, Nakamichi



- N, Tomihara K, Hasegawa H, Noguchi M: A preliminary study on the quantification of soft palate movement using ultrasonography. *Congenit Anom (Kyoto)*. 2021. doi: 10.1111/cga.12446
- 14) Akyu Takei R, Tomihara K, Yamazaki M, Moniruzzaman R, Heshiki W, Sekido K, Tachinami H, Sakurai K, Yonesi A, Imaue S, Fujiwara K, Noguchi M: Protumor role of estrogen receptor expression in oral squamous cell carcinoma cells. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol*. 132 (5): 549-565, 2021. doi: 10.1016/j.oooo.2021.04.006
  - 15) Yoshida N, Yamamoto S, Hamashima T, Okuno N, Okita N, Horikawa S, Hayashi M, Dang TC, Nguyen QL, Nishiyama K, Makino T, Ishii Y, Tomihara K, Shimizu T, Shibuya M, Noguchi M, Sasahara M: Dysregulation of Amphiregulin stimulates the pathogenesis of cystic lymphangioma. *Proc Natl Acad Sci USA*. 118(19), 2021. e2019580118. doi: 10.1073/pnas.2019580118
  - 16) Fujiwara K, Yoshida M, Nakamichi N, Saitoh S, Takaichi M, Ishizaka R, Tomihara K, Noguchi M: Mini-microform cleft lip with complete cleft alveolus and palate: A case report. *Congenit Anom (Kyoto)*. 61(4) :133-137, 2021. doi: 10.1111/cga.12415
  - 17) Hori-Wakao S, Tomihara K, Sekido K, Tachinami H, Imaue S, Fujiwara K, Noguchi M: Sarcoidosis of the mandibular condyle manifesting as a temporomandibular joint arthrosis: A rare case report. *Oral Science International*. 18(3): 229-232, 2021. doi: 10.1002/osi2.1095
  - 18) Sakamaki I, Fukushi M, Ohashi W, Tanaka Y, Itoh K, Tomihara K, Yamamoto Y. Sitafloxacin reduces tumor necrosis factor alpha (TNF $\alpha$ ) converting enzyme (TACE) phosphorylation and activity to inhibit TNF $\alpha$  release from lipopolysaccharide-stimulated THP-1 cells. *Scientific Rep*. 2021;11(1):24154, 2021. doi: 10.1038/s41598-021-03511-5.
  - 19) Fujiwara K, Saitou S, Nagaoka R, Nakamichi N, Tomihara K, Hasegawa H, Noguchi M. A preliminary study on the quantification of soft palate movement using ultrasonography. *Congenit Anom (Kyoto)*. 2021 Oct7. doi: 10.1111/cga.12446. Online ahead of print.
  - 20) Kudo T, Kawasaki M, Kawasaki K, Meguro F, Nihara J, Honda I, Kitamura M, Fujita A, Osawa K, Ichikawa K, Nagai T, Ishida Y, Sharpe P. T, Maeda T, Saito I, Ohazama A. Ift88 regulates enamel formation via involving Shh signaling. *Oral Diseases*. 2022, 00, 1-10. doi.org/10.1111/odi.14162.
  - 21) Takatsuka D, Tachinami H, Tomihara K, Yonesi AJ, Ikeda A, Imaue S, Fujiwara K, Sonoda T, Nakamori K, Noguchi M. Novel strategy to predict high risk of inferior alveolar nerve injury during extraction of lower third molar based on assessment of computed tomography images of multiple anatomical features. *Br J Oral Maxillofac Surg*. Br J Oral Maxillofac Surg. 2021 Oct5:S0266-4356(21)00347-8. doi:10.1016/j.bjoms.2021.09.014.
  - 22) Nagai T, Yamazaki M, Nishikawa A, Kodama Y, Nishiyama H, Hayashi T, Tanuma J, Takagi R, Tomihara K: Rosai-Dorfman disease of the Maxilla: A rare case report and literature review. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*. March 2022 doi.org/10.1016/j.ajoms.2022.02.007
  - 23) Fujiwara K, Tsuno H, Okabe M, Yoshida T, Imaue S, Tomihara K, Arai N, Noguchi M. Clinical Application of Hyperdry Amniotic Membrane in Cleft Palate Repair. *Cleft Palate Craniofac J*. 2022 Feb 28:10556656221075937. doi: 10.1177/10556656221075937.
  - 24) Takaichi M, Tomihara K, Terashima R, Ichijo H, Kamisaki Y, Fujiwara K, Noguchi M: Total paranasal aplasia with multiple impacted teeth. A case report. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*. 33 (2):158-160, 2021. doi.org/10.1016/j.ajoms.2020.09.012
  - 25) Yonehara K, Yokoyama S, Tomihara K, Noguchi M, Sakurai H: RSK-mediated Non-canonical Activation of EphA2 by Tamoxifen. *Biological and Pharmaceutical Bulletin*. Biol Pharm Bull. 45(2):162-168, 2022. doi: 10.1248/bpb.b21-00567.
  - 26) 富原 圭 他：日本口腔ケア学会学術委員会 がん口腔ケアガイドライン作成委員会：がん治療患者の口腔機能管理における歯性感染病巣（歯のう蝕，歯周病，歯性感染症）管理：システムティックレビューに基づいた指針：口科誌 70 (4):279-289, 2021.
  - 27) 隅田賢正，児玉泰光，鶴巻 浩：軽度精神発達遅滞を有する筋突起過形成症の治療経験。口科誌，70(1): 43-48, 2021.
  - 28) 齋藤夕子，上野山敦士，池田順行，田沼順一，林孝文，高木律男：口腔内に生じたリンパ上皮性嚢胞の2例。口科誌，70(1): 56-60, 2021.
  - 29) 勝見祐二，内藤絵里子，笠原 映，木口哲郎，伊藤元貴，隅田賢正，新垣元基，齋藤夕子，永井孝宏，小玉直樹，小山貴寛，児玉泰光，永田昌毅，星名秀行，高木律男：口腔癌 Stage III, IV 症例の臨床統計的検討。新潟歯学会誌，51(1): 31-38, 2021.
  - 30) 齋藤太郎，池田順行，上野山敦士，北村 厚，新國農，西山秀昌，林 孝文，高木律男：顎関節円板または円板後部組織の硬組織形成と疼痛に関する臨床的検討。新潟歯学会雑誌，51(1)：25-30, 2021.

- 31) 小林孝憲, 飯田明彦, 成松花弥, 上野山敦士, 山田瑛子, 永井孝宏: 17年間にわたる頻回再発の後, 多臓器転移をきたした硬口蓋悪性黒色腫の1剖検例. 口科誌, 70(4): 297-303, 2021.
- 32) 児玉泰光: 新潟大学顎顔面口腔外科における言語成績を上げるための口蓋裂手術の工夫. 日口外誌. 67(12): 688-695, 2021.
- 33) 木口哲郎, 鶴巻 浩, 池田由香, 松本友恵, 竹田彩加: 全身麻酔下頸椎手術後に舌下神経麻痺と舌神経障害を併発した1例. 日有病歯誌 30 (5): 357-361, 2021.
- 34) 池田順行, 上野山敦士, 高嶋真樹子, 荒井良明, 新國 農, 西山秀昌, 高木律男. 関節隆起部の骨蜂巢内に炎症性変化が波及した変形性顎関節症の1例. 新潟歯学会誌 51 (2) : 25-29, 2021.
- 35) 曾我麻里恵, 勝良剛詞, 小林太一, 高村真貴, 黒川亮, 新美奏恵, 田中恵子, 石山茉佑佳, 林 孝文. 頭頸部放射線治療後のう蝕発生リスク因子に関する検討. 歯科放射線 61 (2) : 41-46, 2021.
- 36) 齋藤 千愛, 吉田 謙介, 金子 奨太, 磯辺 浩和, 児玉 泰光. 下顎埋伏智歯抜歯の SSI に対する治療抗菌薬の使用実態調査. 環境感染誌. 37(2):62-68, 2022.

#### 【商業誌】

- 1) Tachinami H, Tomihara K, Ikeda A, Sekido K, Sakurai K, Imaue S, Fujiwara K, Hayashi R, Noguchi M: Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio (NLR) as a Predictive Indicator of the Response to Nivolumab in Patients with Oral Squamous Cell Carcinoma. Gan To Kagaku Ryoho. 48(12):1485-1490, 2021.

#### 【研究費獲得】

##### (継続)

- 1) 大湊 麗: 二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討ー長期言語成績による分析ー. 日本学術振興会科学研究補助金, 若手研究, 19K19903. 2019-2022.
- 2) 児玉泰光: 3D画像を用いた新しい口蓋裂咬合評価システムの構築. 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 19K10284. 2019-2021.
- 3) 吉田謙介: 多職種連携による費用対効果を指標とした歯科における抗菌薬適正使用の研究. 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究, 19K19351. 2019-2021.
- 4) 上野山敦士: 特異的分子発現を利用したヒト口唇および赤唇インビトロモデル開発とその有効性の検証. 日本学術振興会科学研究補助金, 若手研究

(B), 19K19068. 2019-2021.

- 5) 勝見祐二: 解剖体頭部 CT による舌神経 3 次元の走行経路と筋間隙との関係性の解明. 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 19K10283. 2019-2021.
- 6) 永田昌毅: 3D プリント吸収性トレーと培養骨膜細胞により顎骨の形態を忠実に再建する. 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 19K10165. 2019-2022.
- 7) 齋藤夕子: 口腔癌とがん関連線維芽細胞の 3 次元培養による非侵襲的癌浸潤解析モデルの確立. 日本学術振興会科学研究補助金, 若手研究, 20K18663. 2020-2021.
- 8) 永井孝宏: 下顎形成における一次繊毛の機能解析ーメッケル軟骨を通してー. 日本科学振興会科学研究費補助金, 若手研究, 20K18661. 2020-2021.
- 9) 富原 圭: 骨髄由来免疫抑制性細胞の特性解析による口腔癌の新規免疫療法の開発. 日本科学振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C) 19K10262. 2019-2021.

##### (新規)

- 1) 新垣元基: 超音波エラストグラフィとドブラ画像による舌癌進展範囲の評価法の確立. 日本科学振興会科学研究費補助金, 若手研究(B), 21K17110. 2021-2024.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) 吉田謙介: 癌化学療法患者の口腔粘膜炎による疼痛緩和を目指して- 多職種で取り組む口腔支持療法 -. 第 14 回日本緩和医療学会年會, 2021 年 5 月 12-14 日. Web.
- 2) 高木律男: ガイドライン委員会進捗状況報告. 第 45 回日本口蓋裂学会総会学術集會, 大阪, 2021 年 5 月 19-21 日. Web.
- 3) 吉田謙介: 栄養サポートチームから見た口腔支持療法へのニーズ: 私たちができること、すべきこと. 日本がん口腔支持療法学会第 7 回学術大会, 2021 年 12 月 4-5 日. Web.
- 4) 富原 圭: 日独合同シンポジウム“Clinical & Translational Research on Oral Cancer” Tumor-associated neutrophils affect the clinical efficacy of nivolumab in oral cancer patients. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術集會, 千葉市, 2021 年 11 月 12-14 日. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会抄録集 34 頁
- 5) 富原 圭: ワークショップ「画像で切除範囲の正確な決定は可能か?」見落とし症例に学ぶ顎骨

浸潤の画像所見. 第 40 回日本口腔腫瘍学会  
総会・学術大会, 2022 年 2 月 17-18 日.  
Web.

#### 【学会発表】

- 1) Ominato R, Ono K, Nohno K, Yuki R, Salazar ARE, Kodama Y, Iida A, Takagi R: The relationship between the retracted oral articulation and the posterior edge of the residual cleft in two-stage palatoplasty. 25<sup>th</sup> Congress of the European Association for Cranio Maxillo Facial Surgery, Paris, France, 14-16th, Jul. 2021. Web.
- 2) Salazar ARE, Kodama Y, Yuki R, Ominato R, Ichikawa K, Nihara J, Saito I, Takagi R: Occlusal evaluation using Modified Huddart and Bodenham scoring system following two-stage palatoplasty with Hotz plate: the comparison between surgical protocol. 25<sup>th</sup> Congress of the European Association for Cranio Maxillo Facial Surgery, Paris, France, 14-16th, Jul. 2021. Web.
- 3) Sakurai K, Imaue S, Tomihara K, Noguchi M: Mandibular involvement of synovitis, acne, pustulosis, hyperostosis, and osteitis (SAPHO) syndrome. 11<sup>th</sup> Annual Conference of Nepalese Association of Oral and Maxillofacial Surgeons and Joint Meeting with Japanese Society of Oral and Maxillofacial Surgeons; 2021 Feb 6. Web.
- 4) Tachinami H, Takatsuka D, Younesi A, Tomihara K, Noguchi M: Prediction of inferior alveolar nerve injury during third molar extraction based on assessment of computed tomography images of multiple anatomical features. 11<sup>th</sup> Annual Conference of Nepalese Association of Oral and Maxillofacial Surgeons and Joint Meeting with Japanese Society of Oral and Maxillofacial Surgeons; 2021 Feb 6. Web.
- 5) 佐久間英伸, 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我麻里恵, 田中恵子, 石山茉佑佳, 小林正治 高木律男: 当院における呼吸器・感染症内科との医科歯科連携の現状と薬剤関連顎骨壊死発症に関する調査. 第 18 回日本口腔ケア学会総会・学術大会 第 1 回国際口腔ケア学会総会・学術大会合同会議, 東京, 2021 年 4 月 17-18 日. 第 17 回日本口腔ケア学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 141 頁, 2021. ハイブリッド形式.
- 6) 石山茉佑佳, 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我麻里恵, 勝良剛詞, 佐久間英伸, 佐藤由美子, 田中恵子, 後藤早苗, 吉田謙介, 林 孝文, 小林正治, 高木律男: 血液腫瘍性疾患患者に対する周術期等口腔機能管理ならびにハイドロゲル創傷被覆・保護材の使用状況とその効果. 第 18 回日本口腔ケア学会総会・学術大会 第 1 回国際口腔ケア学会総会・学術大会 合同会議, 東京, 2021 年 4 月 17-18 日. 第 17 回日本口腔ケア学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 153 頁, 2021. ハイブリッド形式.
- 7) 山田 茜, 永井孝宏, 高木律男: NF- $\kappa$ B 経路はエナメル質形成に関与する. 第 75 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 大阪, 2021 年 5 月 12-14 日. 抄録集 137 頁, 2021.
- 8) 河原田壮史, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 黒川 亮, 片桐 渉, 林 孝文, 高木律男, 小林正治, 田沼順一: 口腔領域に発症した OI-LPD の臨床病理学的解析. 第 75 回日本口腔科学会学術集会, 大阪, 2021 年 5 月 12-14 日. 第 75 回日本口腔科学会学術集会プログラム・抄録集 44 頁, 2021. ハイブリッド形式.
- 9) 佐久間英伸, 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我麻里恵, 小林正治, 高木律男: 当院における皮膚科との医科歯科連携の現状報告. 第 75 回日本口腔科学会学術集会, 大阪, 2021 年 5 月 12-14 日. 第 75 回日本口腔科学会学術集会プログラム・抄録集 48 頁, 2021. ハイブリッド形式.
- 10) 高塚団貴, 富原 圭, 立浪秀剛, 櫻井航太郎, 高市真由, Yonesi Amirmoezz, 野口 誠: 口腔癌に対する PAK4 阻害による免疫学的修飾作用の解析. 第 75 回日本口腔科学会学術集会, 大阪, 2021 年 5 月 12-14 日. ハイブリッド形式.
- 11) Yonesi Amirmoezz, 富原 圭, 高塚団貴, 立浪秀剛, 櫻井航太郎, 野口 誠: Rapamycin induces phenotypic alterations of oral cancer cells that facilitate antitumor T cell response. 第 75 回日本口腔科学会学術集会, 大阪, 2021 年 5 月 12-14 日. ハイブリッド形式.
- 12) 山田 葵, 永井孝宏, 北村 厚, 新垣元基, 黒川 亮, 児玉泰光, 高木律男: 急速に進展した超高齢者頸部壊死性筋膜炎の 1 例. 第 59 回日本口腔科学会北日本地方部会, 2021 年 5 月 15-22 日. 第 59 回日本口腔科学会北日本地方部会プログラム・抄録集 44 頁, 2021. Web.
- 13) 木口哲郎, 鶴巻 浩: ビスフォスフォネート製剤使用中に発症した顎放線菌症の 1 例. 第 47 回日本口腔外科学会北日本地方会, 2021 年 5 月 15-22 日. 第 47 回日本口腔外科学会北日本地方会プログラム・抄録集 64 頁, 2021. Web.
- 14) 結城龍太郎, 飯田明彦, 小林孝憲, 成松花弥: 三叉神経症状を契機として発見された脳腫瘍の 2 例. 第 59 回日本口腔科学会北日本地方部会, 2021 年 5 月 15-22 日. 第 59 回日本口腔科学会北日本地方部会プログラム・抄録集 54 頁, 2021. Web.
- 15) 大湊 麗, 小野和宏, 児玉泰光, 飯田明彦, 永田昌

- 毅, 高木律男: 二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討—8歳時までの言語成績—. 第45回日本口蓋裂学会総会学術集会, 2021年5月19-21日. 第45回日本口蓋裂学会総会学術集会プログラム・抄録集104頁, 2021. Web.
- 16) 児玉泰光, 小林亮太, 山田 茜, Andrea Rei Estacio Salazar1, 結城龍太郎, 永井孝宏, 大湊 麗, 池田順行, 市川佳弥, 丹原 惇, 新美奏恵, 若槻華子, 宮田昌幸, 小野和宏, 齋藤 功, 小林正治, 高木律男: 新潟大学医歯学総合病院における新診療体制後の口唇口蓋裂患者動向調査. 第45回日本口蓋裂学会総会学術集会, 2021年5月19-21日. 第45回日本口蓋裂学会総会学術集会プログラム・抄録集133頁, 2021. Web.
- 17) 市川佳弥, 丹原 惇, 寺田愛希, 宮田昌幸, 若槻華子, 児玉泰光, 新美奏恵, 小林正治, 高木律男, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院での術前顎矯正治療における nasal stent の工夫. 第45回日本口蓋裂学会総会学術集会, 2021年5月19-21日. 第45回日本口蓋裂学会総会学術集会プログラム・抄録集122頁, 2021. Web.
- 18) 曾我麻里恵, 勝良剛詞, 新美奏恵, 黒川 亮, 小林太一, 高村真貴, 田中恵子, 石山茉佑佳, 高木律男, 林孝文: 頭頸部放射線治療後のう蝕発生の特徴. 日本歯科放射線学会第61回学術大会・第17回定例総会, 2021年5月21-23日, 日本歯科放射線学会第61回学術大会・第17回定例総会プログラム・抄録集46頁, 2021. Web.
- 19) 新 ちひろ, 丹原 惇, 西山 秀昌, 児玉 泰光, 大澤知朗, 小林 正治, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における上顎骨の形態における三次元的解析. 第31回日本顎変形症学会総会学術大会, 仙台, 2021年6月11-12日. ハイブリッド形式.
- 20) 黒川 亮, 児玉泰光, 池田順行, 勝見祐二, 上野山敦士, 新垣元基, 永井孝宏, 齋藤夕子, 吉田謙介, 田中恵子, 高木律男: 当科における薬剤関連顎骨壊死発症患者への介入状況. 第30回日本有病者歯科医療学会学術大会. 東京, 2021年7月3-4日. ハイブリッド形式.
- 21) 齋藤夕子, 黒川亮, 上野山敦士, 永井孝宏, 児玉泰光, 池田順行, 新垣元基, 伊藤元貴, 高木律男: 過去10年間における当科入院加療が必要となった炎症症例の臨床的統計. 第30回日本有病者歯科医療学会学術大会, 東京, 2021年7月3-4日. ハイブリッド形式.
- 22) 大石章寛, 上野山敦士, 勝見祐二, 池田順行, 児玉泰光, 高木律男: 当科における小児顎顔面口腔外傷の臨床的検討. 第110回関東形成外科学会新潟地方会, 新潟市, 2021年7月9日.
- 23) 河原田壮史, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 黒川 亮, 片桐 渉, 林 孝文, 高木律男, 小林正治, 田沼順一: 口腔領域に発症したOI-LPD4例の臨床病理学的検討と最近15年間の文献的考察. 令和3年度新潟歯学会第1回例会. 新潟市, 2021年7月10日. 新潟歯学会令和3年度第2回例会抄録集15頁, 2021.
- 24) 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我麻理恵, 佐藤由美子, 佐久間英伸, 高木律男, 小林正治: 新潟大学医歯学総合病院における医療連携口腔管理治療チーム/医療連携口腔管理治療部の患者動向. 令和3年度新潟歯学会第1回例会. 新潟市, 2021年7月10日. 新潟歯学会令和3年度第2回例会抄録集16頁, 2021.
- 25) 鈴木啓記, 吉田謙介, 島田 泉, 今井理央子, 三澤昭彦, 鈴木直人, 外山 聡: 病棟担当薬剤師と調剤室の連携による簡易懸濁法推進の取り組みが調剤業務時間に与える影響. 日本病院薬剤師会関東ブロック第51回学術大会. 長野市, 2021.8月28日-9月5日. ハイブリッド形式.
- 26) 黒川 亮, 新美奏恵, 曾我麻里恵, 佐久間英伸, 富原圭, 小林正治: 口腔粘膜炎を呈した免疫関連有害事象の2例. 第34回日本口腔診断学会 第31回日本口腔内科学会, 東京, 2021年9月9-10日. ハイブリッド形式.
- 27) 齋藤千愛, 吉田謙介, 金子奨太, 磯辺浩和, 永井孝宏, 齋藤夕子, 児玉泰光: 下顎埋伏智歯抜歯のSSIに対する治療抗菌薬の使用実態調査. 第36回日本環境感染学会総会・学術集会. 名古屋市 2021年9月19日. 第36回日本環境感染学会総会・学術集会プログラム・抄録集83頁, 2021.
- 28) 吉田謙介, 児玉泰光, 永井孝宏, 金子翔太, 齋藤千愛, 高木律男, 外山 聡: 歯科外来における下顎埋伏智歯抜歯及び普通抜歯の予防経口抗菌薬と手術部位感染の臨床統計調査. 第31回日本医療薬学会年会. 熊本, 2021年10月9日. 第31回日本医療薬学会年会抄録集110頁, 2021.
- 29) 池田順行, 齋藤太郎, 上野山敦士, 高嶋真樹子, 河村篤志, 山崎裕太, 松崎奈々香, 荒井良明, 西山秀昌, 高木律男: 顎関節円板に骨化を認めた変形性顎関節症の1例. 第34回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会, 2021年10月23日-11月23日. 抄録集85頁, 2021. Web.
- 30) 高嶋真樹子, 河村篤志, 山崎裕太, 松崎奈々香, 高田翔, 上野山敦士, 池田順行, 荒井良明: 顎関節症共通研修で歯科研修医は何を得られたか: 研修終了後アンケート調査. 第34回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会, 2021年10月23日-11月23日. 抄録集103頁, 2021. Web.

- 31) 伊藤元貴, 河村智子, 高木律男, 照沼美穂: アセチル CoA カルボキシラーゼ阻害剤は口腔扁平上皮癌細胞の E-cadherin の修飾に関与する. 第 94 回日本生化学会大会, 2021 年 11 月 3-5 日. 第 94 回日本生化学会大会抄録集 110 頁, 2021. Web.
- 32) 新 ちひろ, 丹原 惇, 西山秀昌, 児玉泰光, 大澤知朗, 小林正治, 齋藤 功. 骨格性下顎前突症患者における上顎骨形態の三次元的解析. 新潟歯学会令和 3 年度第 2 回例会, 2021 年 11 月 6 日. 新潟歯学会令和 3 年度第 2 回例会抄録集 15 頁, 2021. Web.
- 33) 伊藤元貴, 富原 圭, 高木律男, 照沼美穂: アセチル CoA カルボキシラーゼ阻害剤がもたらす新規抗がん作用機序の同定. 令和 3 年度新潟歯学会第 2 回例会, 2021 年 11 月 6 日. 新潟歯学会令和 3 年度第 2 回例会抄録集 14 頁, 2021. Web.
- 34) 笠原 映, 永田昌毅, 小林太一, 山田 葵, 小川 信, 勝見祐二, 永井孝宏, 富原 圭: 培養自家骨膜細胞移植を用いた上顎洞挙上術における歯槽骨再生の評価法としての三次元 CT 画像解析システムの有用性. 令和 3 年度新潟歯学会第 2 回例会, 2021 年 11 月 6 日. 新潟歯学会令和 3 年度第 2 回例会抄録集 14 頁, 2021. Web.
- 35) 内藤絵里子, 羽賀健太, 小林亮太, Orakarn Suebsamarn, 鈴木絢子, 齋藤夕子, 山崎 学, 田沼順一, 井川和代, 富原 圭, 泉 健次: 正常口腔粘膜細胞と口腔癌細胞を用いた 3 次元 *in vitro* モデル作製法とその応用. 第 57 回日本口腔組織培養学会学術大会・総会, 三重, 2021 年 11 月 6 日. Web.
- 36) 永田昌毅: 培養自家骨膜細胞移植材による顎骨再生医療の実践—再生医療の詳細とその社会的実装の取り組み—, 第 57 回 日本口腔組織培養学会学術大会・総会. 三重, 2021 年 11 月 6 日. Web.
- 37) 小林亮太, 干川絵美, 佐藤大祐, Orakarn Suebsamarn, 内藤絵里子, 鈴木絢子, 富原 圭, 泉 健次: 細胞品質評価ツールとして口腔粘膜角化細胞に対する非侵襲的運動能測定の有用性に関する検討. 第 57 回日本口腔組織培養学会学術大会・総会, 三重, 2021 年 11 月 6 日. Web.
- 38) 高塚団貴, 富原 圭, 立浪秀剛, 櫻井航太郎, 高市真由, Yonesi Amirmoezz, 野口 誠: 口腔癌に対する PAK4 阻害による免疫学的修飾作用の解析. 第 57 回日本口腔組織培養学会学術大会・総会, 三重, 2021 年 11 月 6 日. Web.
- 39) Yonesi Amirmoezz, 富原 圭, 高塚団貴, 立浪秀剛, 高市真由, 櫻井航太郎, Yunesi Jadidi Amirreza, 野口 誠: Rapamycin induces phenotypic alterations of oral cancer cells that facilitate antitumor T cell response. 第 57 回日本口腔組織培養学会学術大会・総会, 三重, 2021 年 11 月 6 日. Web.
- 40) 永田昌毅: 培養自家骨膜細胞による顎骨再生—歯科再生医療実用化の取り組み—, シンポジウム 11 「再生医療実用化の最新動向」 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉, 2021 年 11 月 12-14 日. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会抄録集 45 頁, 2021.
- 41) 勝見祐二, 高木律男, 大島勇人: 解剖体頭部 CT による舌神経 3 次元的走向と筋間隙との関係性の解明. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2021 年 11 月 12-14 日. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会抄録集 66 頁, 2021. Web.
- 42) 前田 智, 櫻井航太郎, 富原 圭, 今上修一, 藤原久美子, 野口 映, 野口 誠: メトトレキサート服用患者の上顎歯肉に認めた骨壊死を伴う EB ウイルス陽性粘膜皮膚潰瘍の 1 例. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2021 年 11 月 12-14 日. Web.
- 43) 高塚団貴, 富原 圭, 立浪秀剛, 櫻井航太郎, 高市真由, Yonesi Amirmoezz, 野口 誠: 口腔癌に対する PAK4 阻害による免疫学的修飾作用の解析. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2021 年 11 月 12-14 日. Web.
- 44) 大内 峻, 立浪秀剛, 吉村裕一郎, 高塚団貴, 藤原久美子, 仲盛健治, 富原 圭, 野口 誠: CT 画像による下顎第三大臼歯抜歯後の下歯槽神経損傷予測における AI 補助診断システムの有用性. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会, WEB, 2021 年 11 月 12-14 日. Web.
- 45) 立浪秀剛, 富原 圭, 池田篤司, 今上修一, 岡本準也, 中井裕美, 黒原一人, 宮崎晃亘, 新井直也, 野口 誠: 口腔扁平上皮癌に対するニボルマブの効果と好中球/リンパ球比に関する研究. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2021 年 11 月 12-14 日. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会. Web.
- 46) 上野山敦士, 児玉泰光, 新垣元基, 富原 圭: 外向性発育を呈した顎骨内海綿状血管腫の 1 例. 第 110 回関東形成外科学会新潟地方会, 新潟市, 2021 年 11 月 26 日.
- 47) 山田茜, 飯田明彦, 小林孝憲, 成松花弥: 関節突起を含む小児下顎骨多発骨折の 2 例. 関東形成外科学会第 111 回新潟地方会, 新潟市, 2021 年 11 月 26 日.
- 48) 田中雄介, 勝良剛詞, 吉田謙介, 曾我麻里恵, 田中恵子, 石山茉佑佳, 山崎恵介, 外山聡: 薬剤師による頭頸部化学放射線治療患者の口腔ケアコンプライアンス向上の試みと効果, 日本がん口腔支持療法学会第 7 回学術大会, WEB 開催, 2021 年 12 月 4-5 日.
- 49) 相澤有香, 池田順行, 勝見祐二, 永井孝宏, 隅田賢

正, 西山秀昌, 阿部達也, 富原 圭: 多数の過剰歯と集合型歯牙腫を同時に認めた一例, 第 40 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2022 年 2 月 17-18 日. Web.

- 50) 上野山敦士, 児玉泰光, 新垣元基, 新國 農, 林 孝文, 山崎 学, 田沼順一, 富原 圭: 外向性発育を呈した顎骨内海綿状血管腫の 1 例. 第 40 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2022 年 2 月 17-18 日. Web.
- 51) 今上修一, 池田篤司, 石戸克尚, 立浪秀剛, 櫻井航太郎, 富原 圭, 野口 誠: 口腔扁平上皮癌・切除不能局所進行例の治療戦略. 第 40 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2022 年 2 月 17-18 日. Web.
- 52) 永田昌毅: 培養自家骨膜細胞による骨組織再生 — その基礎・臨床効果・社会実装 —, 第 21 回日本再生医療学会総会, 2022 年 3 月 17-19 日. Web.
- 53) 白杵里紗, 清海杏奈, 吉田謙介, 山崎京祐, 荒井智絵, 今井志乃ぶ, 鈴木直人, 外山 聡, 杉浦宗敏: 口腔粘膜発症がん患者および健常者の唾液中炎症性メディエーター量と口腔内乾燥に関する検討, 日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25-28 日. Web.

#### 【研究会発表】

- 1) 園辺 悠: 下顎臼歯の歯性感染を原因に発生し側頭筋まで及んだ壊死性筋膜炎の 1 例. 第 87 回新潟口腔外科・麻酔科集談会, 2021 年 10 月 21 日. Web.

#### 【受賞】

- 1) 山田 茜, 永井孝宏, 高木律男: NF- $\kappa$ B 経路はエナメル質形成に関与する. 第 75 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 大阪, 2021 年 5 月 12-14 日. 抄録集 137 頁, 2021. Rising Scientist 賞

#### 【その他】

- 1) 高木律男: 新型コロナ禍での HIV 感染対策を考える. 新潟県歯科医師会館, 2021 年 2 月 4 日. Web.
- 2) 高木律男: 令和 2 年度東北がんプロ; インテンシブコース講演会. 医療人育成センター, 新潟市, 2021 年 2 月 12 日. Web.
- 3) 高木律男: 北関東甲信越ブロック HIV 感染者の歯科医療情報交換会(HIV 医療情報交換会), 2021 年 10 月 10 日. Web.
- 4) 池田順行: 新潟大学医歯学総合病院における口腔外科疾患の動向. 新潟県診療報酬支払基金学術講演会. 新潟市, 2021 年 10 月 26 日.
- 5) 富原 圭: 『コロナ禍で忘れられていた口腔がんの

怖さ』～予防と早期発見・早期治療～: 令和 3 年度群馬県歯科保健大会「県民公開講座」. 前橋市, 2021 年 11 月 20 日.

- 6) 富原 圭: 『こんな症状も口腔がんです』: 新潟県歯科医師会 口腔がん(口腔粘膜疾患)研修会. 2022 年 3 月. Web.

### 口腔解剖学分野

#### 【論文】

- 1) Kudo T, Kawasaki M, Kawasaki K, Meguro F, Nihara J, Honda I, Kitamura M, Fujita A, Osawa K, Ichikawa K, Nagai T, Ishida Y, Sharpe PT, Maeda T, Saito I, Ohazama A: Ift88 regulates enamel formation via involving Shh signaling. *Oral Dis* In Press.
- 2) Yamada Y, Nihara J, Trakanant S, Kudo T, Seo K, Iida I, Izumi K, Kurose M, Shimomura Y, Terunuma M, Maeda T, Ohazama A: Perivascular Hedgehog responsive cells play a critical role in peripheral nerve regeneration via controlling angiogenesis. *Neurosci Res* 24:S0168-0102(21)00144-9, 2021.
- 3) Nihara J, Kawasaki M, Kawasaki K, Yamada A, Meguro F, Kudo T, Trakanant S, Nagai T, Fujita A, Honda I, Saito I, Maeda T, Ohazama A: Expression of R-spondins/Lgrs in development of movable craniofacial organs, *Gene Expr Patterns* 41:119195, 2021
- 4) Kantaputra PN, Dejkhamron P, Intachai W, Ngamphiw C, Ketudat Cairns JR, Kawasaki K, Ohazama A, Olsen B, Tongsima S, Angkurawaranon S: A novel P3H1 mutation is associated with Osteogenesis imperfecta type VIII and dental anomalies. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol* 28:4564, 2021
- 5) Trakanant S, Nihara J, Nagai T, Kawasaki M, Kawasaki K, Ishida Y, Meguro F, Kudo T, Yamada A, Maeda T, Saito I, Ohazama A: MicroRNAs regulate distal region of mandibular development through Hh signaling. *J Anat* 238:711-719, 2021.
- 6) Kantaputra PN, Dejkhamron P, Intachai W, Ngamphiw C, Kawasaki K, Ohazama A, Krisanaprakornkit S, Tongsima S, Ketudat Cairns JR: Juberg-Hayward syndrome is a cohesinopathy, caused by mutations in ESCO2. *Eur J Orthod* 43:45-50, 2021

#### 【研究費獲得】

- 1) 大峽 淳, 前田健康, 川崎真依子: 代生歯堤の形成・維持メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費

補助金 挑戦的研究(萌芽), 21K19591, 2021.

- 2) 大峽 淳、川崎真依子:皮膚の付属器官発生における老化活性の機能解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(B), 課題番号 21H03122, 2021
- 3) 川崎 真依子, 大峽 淳, 川崎勝盛:顎顔面領域におけるシグナル経路のクロストークと一次線毛との関わりについて. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 17K11829, 2021.
- 4) 川崎勝盛, 大峽 淳:上顎正中過剰歯の発生メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 21K10182, 2021.
- 5) 目黒史也:体つくりの共通メカニズムの解明~歯と口蓋の類似性・相違性から~, 日本学術振興会特別研究員 20J10986, 2021.
- 6) 石田陽子, 川崎勝盛, 大峽 淳:下顎骨形成メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 21K10088, 2021.
- 7) 山中 淳, 大峽 淳:Shh シグナルによるアクトミオシン細胞内張力を介した歯の形態形成の新たな制御機構. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 19K10047, 2021.
- 8) 前田健康, 大峽 淳, 川崎真依子、川崎勝盛:DNA 修復機構に着目した顎顔面領域における先天異常発生メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(B), 19H03849, 2021.
- 9) 丹原 惇, 大峽 淳, 川崎真依子、川崎勝盛:舌誘導メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 20K10156, 2021.

#### 【著書】

- 1) 大峽 淳;第1章 顔面と口腔の発生. 最新 歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 第2版 (一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修), 174-183 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.

### 口腔生理学分野

#### 【著書】

- 1) 山村健介 消化・吸収、呼吸、腎機能と排尿. 1 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 (一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修) 106-108 頁、213-232 頁、234-243 頁、医歯薬出版、東京、2022 年 2 月
- 2) 岡本圭一郎 第5版 ポイントチェック 歯科衛生士国家試験対策① p36-103 医歯薬出版 東京 2022 年 1 月

#### 【論文】

- 1) Okamoto, K, Kakihara, Y, Ohkura, N, Tohma, A, Washio, A, Kitamura, C, Noiri, Y, Yamamura, K, Saeki, M. Effects of rice fermented extract, "Sake Lees", on the functional activity of odontoblast-like cells (KN-3 cells). *Odontology*.110(2) 254-263. 2021.
- 2) Okamoto, K, Hasegawa, M, Piriyaarasath, K, Kakihara, Y, Saeki, M, Yamamura, K. Preclinical models of deep craniofacial nociception and temporomandibular disorder pain. *JAPANESE DENTAL SCIENCE REVIEW* 57: 231-241, 2021.

#### 【科研費獲得】

- 1) 山村健介 介護予防促進のための『むせる』を予測するシステムの開発. 日本学術振興会 基盤研究 B 2018 年 4 月-2022 年 3 月
- 2) 岡本圭一郎 運動療法 がストレス誘発性の顎顔面痛を軽減する脳メカニズム 日本学術振興会 基盤研究 C 2019 年 4 月-2022 年 3 月

#### 【招待講演】

- 1) 岡本圭一郎 顎関節症の痛み研究最前線 一般社団法人日本顎関節学会 第 53 回学術講演会 2022 年 2 月 13 日 (Web 開催)

#### 【学会発表】

- 1) 岡本 圭一郎, 長谷川 真奈, 山村 健介, 柿原 嘉人, 佐伯 万騎男 トレッドミルランニングは心理社会的ストレス条件下での顎筋の痛覚過敏を軽減する. 第 24 回日本歯科医学会学術大会 2021 年 9 月 23~25 日 (Web 開催)
- 2) 計良倫子, 堀 一浩, 小野高裕, 江川広子, 山村健介 毎日のガム咀嚼が咀嚼関連機能と咀嚼行動にもたらす影響. 日本咀嚼学会第 32 回学術大会 2021 年 10 月 2~29 日 (Web 開催)
- 3) 高橋 彩, 熊谷美保, 佐藤大祐, 山村健介, 黒瀬雅之 随意嚥下に頼らない多軸触圧センサを応用した嚥下機能評価システムの開発. 日本咀嚼学会第 32 回学術大会 2021 年 10 月 2~29 日 (Web 開催)
- 4) 長谷川 真奈, 山村 健介, 藤井 規孝 トレッドミル走は、社会的敗北ストレスによって増大した上部頸髄におけるミクログリア活性を低下させる 第 63 回 歯科基礎医学会学術大会 2021 年 10 月 9 日~11 日 (Web 開催)
- 5) 計良倫子, 堀 一浩, 小野高裕, 江川広子, 山村健介 若年者のガム咀嚼による口腔機能の向上と行動変容の可能性 令和 3 年度新潟歯学会第 2 回例会

2021年11月6日

#### 【その他】

- 1) 山村健介 噛むことは心身の健康の土台 脳の活性化、肥満予防も。食べもの通信 604:8-10 2021年6月

### 口腔生化学分野

#### 【論文】

- 1) Iida I, Konno K, Natsume R, Abe M, Watanabe M, Sakimura K, Terunuma M. A comparative analysis of kainate receptor GluK2 and GluK5 knockout mice in a pure genetic background. *Behav Brain Res.* 405:113194, 2021.
- 2) Yamada Y, Nihara J, Trakanant S, Kudo T, Seo K, Iida I, Izumi K, Kurose M, Shimomura Y, Terunuma M, Maeda T, Ohazama A. Perivascular Hedgehog responsive cells play a critical role in peripheral nerve regeneration via controlling angiogenesis. *Neurosci Res.* 173:62-70, 2021.
- 3) 勝見祐二, 内藤絵里子, 笠原 映, 木口哲郎, 伊藤元貴, 隅田賢正, 新垣元基, 齋藤夕子, 永井孝宏, 小玉直樹, 小山貴寛, 児玉泰光, 永田昌毅, 星名秀行, 高木律男: 口腔癌 Stage III, IV 症例の臨床統計的検討. 新潟歯学会誌, 51(1): 31-38, 2021.

#### 【研究費獲得】

- 1) 照沼美穂: アルコール摂取がもたらす認知機能障害の分子基盤. 日本学術振興会科学研究費基金 国際共同研究加速基金 国際共同研究強化 (B), 18KK0258.
- 2) 照沼美穂: 歯周病原細菌としての精神疾患発症機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 国際共同研究加速基金 基盤 (B), 21H03109.
- 3) 飯田和泉: 前頭前野一扁桃体間の不安神経回路の解明. 日本学術振興会科学研究費基金 若手研究, 20K18454.
- 4) 飯田和泉: カイニン酸型グルタミン酸受容体 GluK1 を介した不安神経回路の同定. 新潟大学令和3年度 U-go グラント.
- 5) 市木貴子: 神経系による飲水抑制機構の解明. 日本学術振興会科学研究費基金 研究活動スタート支援, 21K20685.
- 6) 那須優介: 歯周病原細菌感染症による脳内・脳機能変化の解析. 新潟大学 未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト (次世代研究者挑戦的研究プログラム). J21H0032.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) 照沼美穂: NPPR が向かうべき未来: オープンサイエンス時代の学会誌のあり方を考える. 第 51 回日本神経精神薬理学会年会, 京都 (ハイブリッド形式) 2021.07.14-16.
- 2) 照沼美穂: Regulatory mechanism of glutamate metabolism in CNS health and disease. 第 64 回日本神経化学学会大会, 奈良 (オンライン形式) 2021.09.30-10.01.
- 3) 照沼美穂: アンモニアが脳に与える影響〜フローラとの関連性〜. 第 63 回歯科基礎医学会学術大会, 神奈川 (オンライン形式) 2021.10.09-11.
- 4) 照沼美穂: Peripheral and central pathways regulating energy homeostasis and obesity. 第 63 回歯科基礎医学会学術大会, 神奈川 (オンライン形式) 2021.10.09-11.

#### 【学会発表】

- 1) 齋藤夕子, 黒川亮, 上野山敦士, 永井孝宏, 児玉泰光, 池田順行, 新垣元基, 伊藤元貴, 高木律男: 過去 10 年間における当科入院加療が必要となった炎症症例の臨床的統計. 第 30 回日本有病者歯科医療学会学術大会, 東京 (ハイブリッド形式), 202.07.03-04.
- 2) 那須優介, 照沼美穂: The role of extracellular glutamine concentration in regulating astrocytic glutamine synthetase expression. 第 64 回日本神経化学学会大会, 奈良 (オンライン形式) 2021.09.30-10.01.
- 3) 伊藤元貴, 河村智子, 高木律男, 照沼美穂: アセチル CoA カルボキシラーゼ阻害剤は口腔扁平上皮癌細胞の E-cadherin の修飾に関与する. 第 94 回日本生化学学会大会, 横浜 (オンライン形式) 2021.11.03-05.
- 4) 天谷吉宏, 中井俊樹: HeLa 細胞で安定発現する副甲状腺ホルモン関連ペプチド-EGFP 融合タンパク質は、ゴルジ体の外表面に局在し、MG132 処理によって核小体に再配置される. 第 94 回日本生化学学会大会, 横浜 (オンライン形式) 2021.11.03-05.
- 5) 伊藤元貴, 富原圭, 高木律男, 照沼美穂: アセチル CoA カルボキシラーゼ阻害剤は口腔扁平上皮癌細胞の E-cadherin の変化を伴って細胞増殖を抑制する. 令和 3 年度新潟歯学会第 2 回例会 (ハイブリッド形式) 2021.11.06.
- 6) Yusuke Nasu, Koichi Tabeta, Miho Terunuma: Regulation of astrocytic glutamine synthetase expression through extracellular glutamine. Society for Neuroscience 2021 Annual Meeting, virtual meeting, 2021.11.08-11.
- 7) Takako Ichiki: Representation and sensing mechanisms of



gut osmolality in the peripheral sensory ganglia. 第11回生理研-霊長研-新潟脳研 合同シンポジウム. 2022.02.17-18.

- 8) Izumi Iida: Kainate-type glutamate receptor subunit GluK3 KO mice showed anxiolytic behavior and its involvement in expression of dopamine receptors. 第11回生理研-霊長研-新潟脳研 合同シンポジウム. 2022.02.17-18.

#### 【セミナー等】

- 1) 照沼美穂: アストロサイトを介したアルツハイマー病態増悪機構. オルガネラ研究会, 新潟 (オンライン形式) 2021.06.25.
- 2) 照沼美穂: 脳の健康と食生活. 新潟大学公開講座 人生100年時代に考える「食べることは元気のもと」. 2021.11.27.

#### 歯周診断・再建学分野

#### 【論文】

- 1) Inagaki K, Kikuchi T, Noguchi T, Mitani A, Naruse K, Matsubara T, Kawanami M, Negishi J, Furuichi Y, Nemoto E, Yamada S, Yoshie H, Tabeta K, Tomita S, Saito A, Katagiri S, Izumi Y, Nitta H, Iwata T, Numabe Y, Yamamoto M, Yoshinari N, Fujita T, Kurihara H, Nishimura F, Nagata T, Yumoto H, Naito T, Noguchi K, Ito K, Murakami S, Nishimura R, Tajima N: A large-scale observational study to investigate the current status of diabetic complications and their prevention in Japan (JDCP study 6): baseline dental and oral findings. *Diabetol Int* 12(1): 52-61, 2021.
- 2) Kaneko C, Kobayashi T, Ito S, Sugita N, Murasawa A, Ishikawa H, Tabeta K: Association among periodontitis severity, anti-agalactosyl immunoglobulin G titer, and the disease activity of rheumatoid arthritis. *J Periodontol Res* 56(4):702-709, 2021.
- 3) Tamura H, Maekawa T, Domon H, Hiyoshi T, Hirayama S, Isono T, Sasagawa K, Yonezawa D, Takahashi N, Oda M, Maeda T, Tabeta K, Terao Y: Effects of erythromycin on osteoclasts and bone resorption via DEL-1 induction in mice. *Antibiotics* 10(3): 312, 2021.
- 4) Hoshikawa E, Sato T, Haga K, Suzuki A, Kobayashi R, Tabeta K, Izumi K: Cells/colony motion of oral keratinocytes determined by non-invasive and quantitative measurement using optical flow predicts epithelial regenerative capacity. *Sci Rep* 11(1): 10403, 2021.
- 5) Sato K, Yamazaki K, Kato T, Nakanishi Y, Tsuzuno T, Yokoji-Takeuchi M, Yamada-Hara M, Miura N, Okuda S, Ohno H, Yamazaki K: Obesity-related gut microbiota aggravates alveolar bone destruction in experimental periodontitis through elevation of uric acid. *mBio* 12(3): e0077121, 2021.
- 6) Mineo S, Takahashi N, Yamada-Hara M, Tsuzuno T, Aoki-Nonaka Y, Tabeta K: Rice bran-derived protein fractions enhance sulforaphane-induced anti-oxidative activity in gingival epithelial cells. *Arch Oral Biol* 129: 105215, 2021.
- 7) Domon H, Isono T, Hiyoshi T, Tamura H, Sasagawa K, Maekawa T, Hirayama S, Yanagihara K, Terao Y: Clarithromycin inhibits pneumolysin production via downregulation of *ply* gene transcription despite autolysis activation. *Microbiol Spectr* 9(2): e00318-21, 2021.
- 8) Yamazaki K, Kato T, Tsuboi Y, Miyauchi E, Suda W, Sato K, Nakajima M, Yokoji-Takeuchi M, Yamada-Hara M, Tsuzuno T, Matsugishi A, Takahashi N, Tabeta K, Miura N, Okuda S, Kikuchi J, Ohno H, Yamazaki K: Oral pathobiont-induced changes in gut microbiota aggravate the pathology of nonalcoholic fatty liver disease in mice. *Front Immunol* 12: 766170, 2021.
- 9) Takenaka S, Edanami N, Komatsu Y, Nagata R, Naksagoon T, Sotozono M, Ida T, Noiri Y: Periodontal pathogens inhabit root caries lesions extending beyond the gingival margin: a next-generation sequencing analysis. *Microorganisms* 9(11), 2349, 2021.
- 10) Haga K, Yamazaki M, Maruyama S, Kawaharada M, Suzuki A, Hoshikawa E, Chan NN, Funayama A, Mikami T, Kobayashi T, Izumi K, Tanuma JI: Crosstalk between oral squamous cell carcinoma cells and cancer-associated fibroblasts via the TGF- $\beta$ /SOX9 axis in cancer progression. *Transl Oncol* 14(12): 101236, 2021.
- 11) Sasagawa K, Domon H, Sakagami R, Hirayama S, Maekawa T, Isono T, Hiyoshi T, Tamura H, Takizawa F, Fukushima Y, Tabeta K, Terao Y: Matcha green tea exhibits bactericidal activity against *Streptococcus pneumoniae* and inhibits functional pneumolysin. *Antibiotics(Basel)* 10(12): 1550, 2021.
- 12) Yoshida N, Edanami N, Ohkura N, Maekawa T, Takahashi N, Tsuzuno T, Maeda T, Tabeta K, Izumi K, Noiri Y, Yoshida K: Laminin isoforms in human dental pulp: lymphatic vessels express laminin-332, and schwann cell-associated laminin-211 modulates CD163 expression of M2-like macrophages. *Immunohorizons* 5(12): 1008-1020, 2021.
- 13) Kato H, Ling Y, Hoshikawa E, Suzuki A, Haga K, Naito E, Uenoyama A, Okuda S, Izumi K: Detection of potential markers for lip vermilion epithelium in Japanese macaques based on the results of gene expression profile.

Anatomia 1(1): 3-13, 2022.

- 14) 多部田康一, 野中由香莉: 歯周病の新分類から考える歯周病の検査・診断一動向と展望. 新潟歯学会雑誌 51(2), 1-8, 2021.

#### 【商業誌】

- 1) 山崎恭子, 山崎和久: 特集 口腔環境と腸内環境の相互作用と健康への影響. 実験医学 39(16): 2521-2526, 2021.

#### 【研究費獲得】

- 1) 多部田康一 (研究代表者): 口腸連関における大腸がんリスクとなる潜在的粘膜炎性 Pathobiont 検索. 日本学術振興会科学研究費基金 挑戦的萌芽研究, 21K19592, 2021.
- 2) 多部田康一 (研究代表者): フレイルと AMR の課題に対応する食品由来機能ペプチドを素材とした歯周病医薬開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 19H03829, 2021.
- 3) 多部田康一 (研究分担者): 歯周病原細菌感染症としての精神疾患発症機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 照沼美穂, 21H03109, 2021.
- 4) 多部田康一 (研究分担者): ウェアラブルデバイスを用いた咀嚼行動変容と歯周病改善による糖尿病コントロール. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 堀 一浩, 21H03129, 2021.
- 5) 高橋直紀 (研究代表者): TRP チャネルタンパクによる自然免疫チューニング機構の解明と歯周炎治療への応用. 日本学術振興会科学研究費基金 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A)), 18KK0434, 2021.
- 6) 高橋直紀 (研究代表者): 口腔-腸管連関の新展開: 嚥下された歯周病原細菌は腸炎を悪化させるか?. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究(C), 19K10126, 2021.
- 7) 高橋直紀 (研究分担者): ウェアラブルデバイスを用いた咀嚼行動変容と歯周病改善による糖尿病コントロール. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 堀 一浩, 21H03129, 2021.
- 8) 小林哲夫 (研究代表者): 歯周炎による関節リウマチ発症・悪化機構の解明-自己抗体の機能的糖鎖修飾の関与-. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09891, 2021.
- 9) 杉田典子 (研究代表者): エネルギー代謝調節遺伝子 UCP は握力と歯周炎および全身疾患の関連性に関与する. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09871, 2021.

- 10) 野中由香莉 (研究代表者): ジペプチジルペプチダーゼを標的とした新規歯周病医薬開発. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究(C), 21K09913, 2021.
- 11) 佐藤圭祐 (研究代表者): 長期徐放型 LDDS 製剤としての抗菌ペプチド含有ナノメディシンの機能評価. 日本学術振興会科学研究費基金 若手研究, 20K18502, 2021.
- 12) 原 実生 (研究代表者): ANGPTL4 による歯肉上皮系バリアシステム制御と創傷治癒に対する効果. 日本学術振興会科学研究費基金 若手研究, 20K18503, 2021.
- 13) 日吉 巧 (研究代表者): エラスターゼを標的とした歯周炎重症化機序の探索とその分子メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費基金 研究活動スタート支援, 21K21058, 2021.
- 14) 日吉 巧 (研究代表者): オゾンナノ水を用いた医療と食の安全研究. 新潟大学 U-go グラント, 2021.
- 15) 都野隆博 (研究代表者): 歯周炎病態形成における上皮 TRP チャネルタンパクによるレドックス制御機構の解明. 日本学術振興会科学研究費基金 研究活動スタート支援, 21K21005, 2021.
- 16) 保苺崇大 (研究代表者): 高齢者における光治療応用はスケーリング後菌血症による生体応答変化を防げるか?. 日本学術振興会科学研究費基金 若手研究, 19K19021, 2021.
- 17) 千川絵美 (研究代表者): 細胞品質が担保された再生医療に用いる口腔粘膜上皮細胞の効率増殖法の確立. 日本学術振興会科学研究費基金 研究活動スタート支援, 21K21080, 2021.
- 18) 山崎恭子 (研究代表者): 唾液細菌腸管移入モデルを用いたペリオドンタルメディスン病因機序の解明. 日本学術振興会科学研究費基金 研究活動スタート支援, 21K21035, 2021.
- 19) 高見澤圭 (研究代表者): 骨格筋におけるエネルギー代謝調節分子を介した歯周炎抑制機能. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 21K21059, 2021.
- 20) Hnin Yu Lwin (研究代表者): 大豆由来ペプチドのバイオフィルム制御能の解析. 公益財団法人 富徳会, 2021.

#### 【講演・シンポジウム】

- 1) Takahashi N: Experimental animal model in periodontal research. 15th International Dental Collaboration of the Mekong River Region (IDCMR) Pre-conference workshops, Depok, Indonesia, Virtual meeting, August 19, 2021.
- 2) 多部田康一: 歯周病学・歯周治療学の現在と展望.

令和3年度新潟歯学会 教授就任講演, 新潟,  
2021年7月10日.

- 3) 多部田康一: 歯周病と歯周治療における近年の理解. 特別講演/学術研修会: 現代の歯科教育「保存学・補綴学 up-to-date」日本口腔科学会中部地方部会, web開催, 2021年10月31日~11月14日.
- 4) 多部田康一: 歯周病と歯周治療における近年の理解. 令和3年度学術講演会(新潟県歯科医師会阿賀北地区学会), 新潟, 2021年12月11日.

#### 【学会発表】

- 1) Mineo S, Takahashi N, Tsuzuno T, Aoki-Nonaka Y, Tabeta K: Antioxidant effect of food-derived peptide in human gingival epithelial cells. 99th General Session of the IADR, Virtual meeting, July 21-24, 2021.
- 2) Hnin Yu Lwin, Aoki-Nonaka Y, Matsugishi A, Tabeta K: Soybean peptide inhibits biofilm of periodontopathic bacteria via bactericidal activity. 99th General Session of the IADR. Virtual meeting, July 21-24, 2021.
- 3) Nasu Y, Tabeta K, Terunuma M: Regulation of astrocytic glutamine synthetase expression through extracellular glutamine. Society for Neuroscience 2021 Annual Meeting, Virtual meeting, November 8-11, 2021.
- 4) 磯野俊仁, 土門久哲, 前川知樹, 田村 光, 日吉 巧, 柳原克紀, 國友栄治, 寺尾 豊: 肺炎球菌性モデルマウスにおけるヒノキチオール気管内投与の効果. 第94回日本細菌学会総会, 岡山, 2021年3月23~25日, プログラムおよび講演抄録集: 115頁, 2021.
- 5) 小林哲夫, 伊藤 聡, 村澤 章, 石川 肇: 関節リウマチ患者における歯周炎症表面積と好中球細胞外トラップ血清濃度および疾患活動度との関連. 第65回日本リウマチ学会総会・学術集会, web開催, 神戸, 2021年4月26~28日.
- 6) 峯尾修平, 高橋直紀, 都野隆博, 野中由香莉, 多部田康一: ヒト歯肉上皮細胞における米糠由来ペプチドによる抗酸化作用の検証. 第64回春季日本歯周病学会学術大会, web開催, 2021年5月21日~6月22日, プログラムおよび講演抄録集: 90頁, 2021.
- 7) 松岸 葵, 野中由香莉, Hnin Yu Lwin, 多部田康一: 大豆ペプチドは *Fusobacterium nucleatum* のバイオフィーム形成を阻害する. 第64回春季日本歯周病学会学術大会, web開催, 2021年5月21日~6月22日, プログラムおよび講演抄録集: 105頁, 2021.
- 8) 両角俊哉, 野村義明, 福田光男, 花田信弘, 角田衣理加, 小林宏明, 三邊正人, 中村利明, 中山洋平, 西村英紀, 野口和行, 沼部幸博, 小方頼昌, 齋藤 淳, 佐藤 聡, 関野 愉, 菅野直之, 菅谷 勉, 鈴木史彦, 多部田康一, 高橋慶壮, 高井英樹, 梅田誠, 吉江弘正, 吉村篤利, 吉成伸夫, 中川種昭: 歯周病評価における最適検査部位の選定-項目反応理論 Graded response model の応用-. 第64回春季日本歯周病学会学術大会, web開催, 2021年5月21日~6月22日, プログラムおよび講演抄録集: 106頁, 2021.
- 9) 小松康高, 奥田一博, 多部田康一: Miller3級歯肉退縮に対して結合組織移植術に Modified Coronally Advanced Tunnel Technique を併用した症例. 第64回春季日本歯周病学会学術大会, web開催, 2021年5月21日~6月22日, プログラムおよび講演抄録集: 121頁, 2021.
- 10) 中島麻由佳, Samir Mitragotril, 多部田康一: イオンジェルを用いた局所歯周治療法の開発研究. 第154回日本歯科保存学会2021年度春季学術大会, web開催, 2021年6月10日~23日, プログラムおよび講演抄録集: 78頁, 2021.
- 11) Hnin Yu Lwin, 野中由香莉, 松岸 葵, 多部田康一: 大豆ペプチドは *Porphyromonas gingivalis* および *Fusobacterium nucleatum* のバイオフィーム形成を阻害する. 第154回日本歯科保存学会2021年度春季学術大会, web開催, 2021年6月10日~23日, プログラムおよび講演抄録集: 149頁, 2021.
- 12) 田村 光, 土門久哲, 日吉 巧, 前田健康, 多部田康一, 寺尾 豊, 前川知樹: エリスロマイシンの De1-1 誘導による骨免疫制御作用の解析. 第6回日本骨免疫学会, web開催, 2021年7月2日, 2021.
- 13) 両角俊哉, 高柴正悟, 三邊正人, 野村義明, 福田光男, 花田信弘, 角田衣理加, 小林宏明, 中村利明, 中山洋平, 西村英紀, 野口和行, 沼部幸博, 小方頼昌, 齋藤 淳, 佐藤 聡, 関野 愉, 菅野直之, 菅谷 勉, 鈴木史彦, 多部田康一, 高橋慶壮, 高井英樹, 梅田誠, 吉村篤利, 吉成伸夫, 中川種昭: 歯周病のポケット検査における代表歯・部位の選定. 第14回日本口腔検査学会総会, web開催, 2021年8月21~22日, プログラムおよび講演抄録集: 70~71頁, 2021.
- 14) 那須優介, 照沼美穂: 細胞外グルタミン濃度によるグルタミン合成酵素の発現変化. 第64回日本神経化学学会, web開催, 2021年9月30日~10月1日, プログラムおよび講演抄録集: 87頁, 2021.
- 15) 笹川花梨, 土門久哲, 平山 悟, 前川知樹, 磯野俊仁, 日吉 巧, 田村 光, 寺尾 豊: 肺炎球菌に対する抹茶成分の作用解析. 第63回歯科基礎医学会学術大会, web開催, 2021年10月9~11日, プログラムおよび講演抄録集: 106頁, 2021.

び講演抄録集：191頁，2021.

- 16) 日吉 巧：好中球エラスターゼの歯肉上皮バリア傷害作用による歯周炎重症化メカニズム解析．Sunstar Young Investigator Award 口演，第64回秋季歯周病学会学術大会，名古屋，2021年10月15日，プログラムおよび講演抄録集：104頁，2021.
- 17) シリセーリイパップ クリタパット，田村 光，前川知樹，多部田康一：老齢マウスにおけるDEL-1を介した骨代謝機構の解析．第64回秋季歯周病学会学術大会，名古屋，2021年10月15日，プログラムおよび講演抄録集：143頁，2021.
- 18) 峯尾修平，高橋直紀，多部田康一：超音波スケーラーから発生するエアロゾル特性と口腔内外吸引装置による拡散防止効果①－感水試験紙を用いた飛散方向および距離の検討－．第64回秋季日本歯周病学会学術大会，名古屋，2021年10月15日，プログラムおよび講演抄録集：132頁，2021.
- 19) 高橋直紀，峯尾修平，多部田康一：超音波スケーラーから発生するエアロゾル特性と口腔内外吸引装置の拡散防止効果②－小粒径エアロゾルの粒径分布とその吸引効果の検討－．第64回秋季日本歯周病学会学術大会，名古屋，2021年10月15日，プログラムおよび講演抄録集：134頁，2021.
- 20) 高橋直紀，山縣貴幸，峯尾修平，加藤光太，多部田康一：超音波スケーラーから発生するエアロゾルに対する吸引装置の飛散防止効果－流体力学および模擬臨床的検討－．第155回日本歯科保存学会2021年度秋季学術大会，web開催，2021年10月28日～11月10日，プログラムおよび講演抄録集：45頁，2021.
- 21) 日吉 巧，土門久哲，前川知樹，田村 光，笹川花梨，多部田康一：エラスターゼの歯肉上皮バリア傷害作用を介した歯周組織破壊機序の解析．第155回日本歯科保存学会2021年度秋季学術大会，web開催，2021年10月28日～11月10日，プログラムおよび講演抄録集：118頁，2021.
- 22) 田村 光，前川知樹，土門久哲，日吉 巧，多部田康一：老齢マウスにおけるDEL-1を介した骨代謝機構の制御．第155回日本歯科保存学会2021年度秋季学術大会，web開催，2021年10月28日～11月10日，プログラムおよび講演抄録集：119頁，2021.
- 23) 小林亮太，干川絵美，佐藤大祐，Orakarn Suebsamarn，内藤絵里子，鈴木絢子，富原 圭，泉 健次：細胞品質評価ツールとして口腔粘膜角化細胞に対する非侵襲的運動能測定の有用性に関する検討．第57回日本口腔組織培養学会学術大会・総会，web開催，2021年11月6日，プログラムおよび講演抄録集：3頁，2021.

- 24) 平山 悟，土門久哲，日吉 巧，磯野俊仁，田村 光，笹川花梨，滝澤史雄，寺尾 豊：肺炎球菌トリオースリン酸イソメラーゼは宿主プラスミノゲンに結合し活性化を促進する．第95回日本細菌学会総会，web開催，令和4年3月29～31日，プログラムおよび講演抄録集：96頁，2021.
- 25) 土門久哲，磯野俊仁，日吉 巧，田村 光，笹川花梨，前川知樹，平山 悟，柳原克紀，寺尾 豊：肺炎球菌ニューモリシンの発現に対するマクロライドの作用解析．第95回日本細菌学会総会，web開催，令和4年3月29～31日，プログラムおよび講演抄録集：105頁，2021.

#### 【受賞】

- 1) 日吉 巧：好中球エラスターゼによる歯周炎重症化メカニズム解析と新規治療法への応用．新潟歯学会2020年度新潟歯学会学術賞(歯学会奨励賞)，2021年4月17日.
- 2) 小林哲夫：関節リウマチ患者における歯周炎症表面積と好中球細胞外トラップ血清濃度および疾患活動度との関連．第65回日本リウマチ学会総会・学術集会 秀逸ポスター賞，2021年4月26日.
- 3) 田村 光：エリスロマイシンのDEL-1誘導による骨免疫制御作用の解析．日本骨免疫学会 優秀演題賞，2021年6月30日.

#### 【その他】

- 1) 小林哲夫：「歯周病と身体の病の関係」．健康カプセル！ゲンキの時間(TBS系全国ネット・CBC発)，2021年6月20日.
- 2) 高橋直紀：「知っていますか？歯周病が全身に及ぼす影響－栄養と歯周病・全身疾患の関わり－」．株式会社オクタウェル管理栄養士スキルアップセミナー，web開催，2021年6月26日.
- 3) 小林哲夫：「関節リウマチと歯周病の関わり」．第7回若手膠原病セミナー，web開催，2021年11月30日.

### 歯科矯正学分野

#### 【論文】

- 1) Kudo T, Kawasaki M, Kawasaki K, Meguro F, Nihara J, Honda I, Kitamura M, Fujita A, Osawa K, Ichikawa K, Nagai T, Ishida Y, Sharpe PT, Maeda T, Saito I, Ohazama A. Ift88 regulates enamel formation via involving Shh signaling. Oral Dis. In Press.2022.
- 2) Yamada Y, Nihara J, Trakanant S, Kudo T, Seo K, Iida I,

- Izumi K, Kurose M, Shimomura Y, Terunuma M, Maeda T, Ohazama A. Perivascular Hedgehog responsive cells play a critical role in peripheral nerve regeneration via controlling angiogenesis. *Neurosci Res.* Dec;173:62-70. 2021.
- 3) Nihara J, Kawasaki M, Kawasaki K, Yamada A, Meguro F, Kudo T, Trakanant S, Nagai T, Saito I, Maeda T, Ohazama A. Expression of R-spondins/Lgrs in development of movable craniofacial organs. *Gene Expr Patterns.* 41:119195. 2021.
- 4) Mizukoshi, M., Kaku, M., Thant, L, Kitami K, Arai M, Saito I, Uoshima K: In vivo cell proliferation analysis and cell-tracing reveal the global cellular dynamics of periodontal ligament cells under mechanical-loading. *Sci Rep* 11, 9813, 2021.
- 5) Kawamura T, Fukui T, Nishiyama H, Kobayashi T, Takagi R, Hayashi T, Saito I: Three-dimensional analysis of the temporal bone and mandibular morphology in mandibular prognathism with facial asymmetry. *Oral Sci Int.* 00:1-8,2021.
- 6) Al-Gunaid Talat Hasan, Sunitan Abdullah Khaled, Alharbi Abdullah Bader, Alhrbei Emad Aki, Saito Isao: Relationship between mandibular dimensions and bite force: an exploratory study. *Orthod Waves* 80(3): 117-123, 2021.
- 7) Al-Gunaid Talat Hasan, Alrhile Adel Suliman, Alharb Rayan Humaidan, Almalki Abdullah Ahmad, Saito Isao: Relationship between dental arch dimensions and bite force: a pilot study. *Turk J Orthod* 2021.
- 8) 齋藤 功, 丹原 惇, 高橋功次朗, 竹山雅規: 外科的矯正治療の普及と質担保—保険適用から30年—。日顎変形誌 31(4): 187-189 頁, 2021.
- 9) 眞館幸平, 丹原 惇, 高橋功次朗, 佐藤知弥子, 坂上 馨, 竹山雅規, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科における初診患者の臨床統計調査—2005年から2017年の13年間のデータをもとに—。新潟歯学会誌 51(2): 79-87 頁, 2021.
- 【商業誌】
- 1) 齋藤 功: 公益社団法人日本矯正歯科学会 学術大会運営委員会委員長 齋藤 功委員長に聞く。「ウィズコロナで変容する学術大会—WEB開催のメリットとデメリット, 今後の展望」。月刊『DENTAL VISION』, 2021年10月号, 18 頁, シエン社, 2021.
- 【研究費獲得】
- 1) 高橋 功次朗: 口腔機能発達不全の“定量化”: エラストグラフィによる咀嚼機能評価法の確立。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17180, 2021.
- 2) 北見公平: 力学的刺激による歯根膜の階層的細胞応答メカニズムの解明。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17179, 2021.
- 3) 大澤 知朗: 中顔面形成における microRNA の機能解析。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17157, 2021.
- 4) 水越 優: 矯正力に誘導される破歯細胞の供給ならびに分化成熟動態の解明。日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 21K17155, 2021.
- 5) 工藤武久: 歯の発生における活性酸素の役割。日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 21K21004, 2021.
- 6) 丹原 惇, 大峽 淳, 齊藤一誠: 舌誘導メカニズムの解明。日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 20K10156, 2020.
- 7) 大竹正紀: ストレス誘発性の顎顔面痛を軽減する COX 阻害剤の新たな役割。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18453, 2020.
- 8) 北見公平: 矯正力に対する歯根膜の部位特異的な組織応答メカニズムの解明。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 19K19288, 2020.
- 9) 上村藍太郎: 内因性カンナビノイド機構の中樞性制御に着目した神経障害性疼痛の新規治療戦略。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18688, 2020.
- 10) 河村智子: 口腔がんの遊離と浸潤を抑制する新規治療標的の同定。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18472, 2020.
- 11) 栗原加奈子: 舌圧と口唇・頬圧の同時測定による骨格性開咬症の新たな機能的解析法の確立。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18662, 2020.
- 12) 藤田 瑛: 強直症の発症メカニズム解明。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18753, 2020.
- 13) 網谷季莉子: HIF1 $\alpha$  活性化剤のびらん性・潰瘍性口内炎に対する新規治療薬として有効性検証。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18471, 2020.
- 14) 水越 優: 矯正的歯の移動に寄与する歯根膜幹細胞の新規同定法の開発。日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 20K23023, 2020.

- 15) (延長分) 大森裕子: 安全な歯科治療のためのレオロジー-超音波で硬化を操る印象方法の開発-. 平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究, 18k17279, 2018.
- 16) (延長分) 竹山雅規, 齋藤 功, 丹原 惇, 高橋功次郎: 矯正-呼吸器内科連携による閉塞性睡眠時無呼吸発症・重症化リスク予測システムの開発. 平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C), 17K12042, 2017.
- 17) (延長分) 高橋功次郎: 口唇閉鎖機能の定量化による新治療目標への臨床応用. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究(B), 17K17319, 2017.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) Saito I: Postsurgical morphological changes in complicated orthognathic cases and functional changes during swallowing in skeletal Class III by focusing on orofacial muscle activities and tongue pressure production. 2021 Taiwan Association of Orthodontists Annual Meeting (through online), December 4th -5th, 2021.
- 2) 齋藤 功: 「適切な矯正歯科治療の再確認と今後の展望」. 第80回大会 記念シンポジウム『日本の矯正歯科の未来』, 第80回日本矯正歯科学会学術大会&第5回国際会議, 横浜市, 2021年11月3日~11月5日, 抄録集: 63頁, 2021.
- 3) 齋藤 功: 臨床セミナー『全顎的治療における矯正歯科』, 座長(コーディネーター), 第80回日本矯正歯科学会学術大会&第5回国際会議, 横浜市, 2021年11月3日~11月5日, 抄録集: 83-86頁, 2021.
- 4) 齋藤 功: 顎態と機能との関連性の追究 ~咀嚼能力および嚥下時筋活動と舌圧発現様相~. シンポジウム7「健康長寿社会における矯正歯科診療の役割を再考する -形態と機能への関与-」. 第24回日本歯科医学会学術大会, 2021年9月23日~25日(オンライン開催; Live配信), 抄録集: 80頁, 2021.
- 5) 小林正治, 齋藤 功: シンポジウム2「顎変形症患者における心身医学的背景」オーガナイザー, 第36回日本歯科心身医学会総会・学術大会(Web開催; Zoomを利用したオンライン会議形式), 2021年6月19日~20日, 抄録集: 24-29頁, 2021.
- 6) 濱田良樹, 齋藤 功: シンポジウム5「アジアにおける顎変形症治療の up-to-date」コーディネーター, 第31回日本顎変形症学会総会・学術大会, 仙台市, 2021年6月11日~12日, 日顎変形誌 31(2):81-87頁, 2021.
- 7) 奥本隆行, 齋藤 功: 「多施設共同研究の必要性と実践-Japanleft 委員会の活動」. シンポジウム3「Japanleft について考える」コーディネーター. 第45回日本口蓋裂学会総会・学術集会(Web開催; ライブ・オンデマンド配信) 2021年5月20日~21日, 日口蓋誌 46(2): 69-73頁, 2021.

#### 【学会発表】

- 1) Salazar ARE, Kodama Y, Yuki R, Ominato R, Ichikawa K, Nihara J, Saito I, Takagi R: Occlusal evaluation using modified huddart and bodenham scoring system following two-stage palatoplasty with hotz plate: the comparison between three different surgical protocols. 25th Congress of the European Association for Cranio Maxillo Facial Surgery virtual congress, July 14-16, 2021.
- 2) Kodama Y, Yuki R, Salazar ARE, Ominato R, Nagai T, Yamada A, Kogbayshi R, Ichikawa K, Nihara J, Saito I, Kobayashi T, Takagi R: Preliminary study of the Occlusal Evaluation using Three-Dimensional Digital Model for Japanese UCLP Patients: Comparative Validation with Plaster Model. 25th Congress of the European Association for Cranio Maxillo Facial Surgery virtual congress, July 14-16, 2021.
- 3) Yamaguchi H, Kitami K, He L, Ono T, Komatsu Y. DNA damage response pathways are critical in palatogenesis. EOS Annual Virtual Conference, July 2-3, 2021
- 4) 吉田智美, 竹山雅規, 網谷季莉子, 長谷部大地, 小林正治, 齋藤 功: 口腔内装置(OA)を用いた閉塞性睡眠時無呼吸(OSA)患者における顎顔面構造. 第20回日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 北九州市, 2021年11月26日~28日, 2021.
- 5) 竹内涼子, 大湊麗, 長谷部大地, 丹原惇, 竹山雅規, 小林正治: 鼻咽腔閉鎖機能不全を有する口蓋裂患者に対する顎矯正手術の検討. 日本形成外科学会関東支部第109回新潟地方会, 新潟市, 2021年11月26日, 2021.
- 6) 新ちひろ, 丹原 惇, 西山秀昌, 児玉泰光, 大澤知朗, 小林正治, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症における上顎骨形態の三次元的解析. 令和3年度第2回新潟歯学会例会, 新潟市, 2021年11月6日, 新潟歯学会雑誌 51(2): 124-125頁, 2021.
- 7) 栗原加奈子, 大川純平, 丹原 惇, 高橋功次郎, 堀一浩, 長崎 司, 福井忠雄, 小野高裕, 齋藤 功: 嚥

- 下時の舌圧発現様相および顎顔面筋群筋活動は口蓋深さと関連する。第80回日本矯正歯科学会学術大会&第5回国際会議，横浜市，2021年11月3日～11月5日，同学術大会プログラム・抄録集：136頁，2021.
- 8) 上村藍太郎，ホッサイン ザキール，高橋功次朗，北川純一，齋藤 功：内因性カンナビノイド分解酵素阻害剤による口腔顔面領域の神経障害性疼痛に対する鎮痛効果。第80回日本矯正歯科学会学術大会&第5回国際会議，横浜市，2021年11月3日～11月5日，同学術大会プログラム・抄録集：135頁，2021.
  - 9) 河村智子，福井忠雄，西山秀昌，小林正治，高木律男，林 孝文，齋藤 功：顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症例における側頭骨部と下顎骨形態についての三次元分析。第80回日本矯正歯科学会学術大会&第5回国際会議，横浜市，2021年11月3日～11月5日，同学術大会プログラム・抄録集：121頁，2021.
  - 10) 新井萌生，北見公平，加来 賢，水越 優，Lay Thant，岩間 基，魚島勝美，齋藤 功：矯正的歯の移動時の歯根膜における SPARC の局在について。第80回日本矯正歯科学会学術大会&第5回国際会議，横浜市，2021年11月3日～11月5日，同学術大会プログラム・抄録集：148頁，2021.
  - 11) 水越 優，加来 賢，北見公平，新井萌生，岩間基，魚島勝美，齋藤 功：マウス臼歯歯根膜における Label Retaining Cell の局在と特性。第80回日本矯正歯科学会学術大会&第5回国際会議，横浜市，2021年11月3日～11月5日，同学術大会プログラム・抄録集：151頁，2021.
  - 12) 長崎 司，栗原加奈子，大川純平，丹原 惇，高橋功次朗，堀 一浩，福井忠雄，小野高裕，齋藤 功：舌圧と顎顔面筋群筋活動の同時測定による骨格性下顎前突症の嚙下運動解析法。第80回日本矯正歯科学会学術大会&第5回国際会議，横浜市，2021年11月3日～11月5日，同学術大会プログラム・抄録集：180頁，2021.
  - 13) 岩間 基，北見公平，加来 賢，Lay Thant，新井萌生，水越 優，魚島勝美，齋藤 功：加齢によるマウス臼歯の有細胞セメント質表層に生じる無細胞セメント質様組織の解析。第80回日本矯正歯科学会学術大会&第5回国際会議，横浜市，2021年11月3日～11月5日，同学術大会プログラム・抄録集：147頁，2021.
  - 14) Lay THANT, Msaru KAKU, Yoshito KAKIHARA, Msaru MIZUKOSHI, Kohei KITAMI, Katsumi UOSHIMA, Isao SAITO : Altered proteomic composition and collagen fiber organization in the periodontal ligament under orthodontic force. 第80回日本矯正歯科学会学術大会&第5回国際会議，横浜市，2021年11月3日～11月5日，同学術大会プログラム・抄録集：283頁，2021.
  - 15) 大森裕子，丹原 惇，高橋功次朗，齋藤 功：矯正歯科治療前後の赤唇形態変化。第36回甲北信越矯正歯科学会学術大会，2021年6月27日，Web開催（同学術大会プログラム・抄録集 27頁），甲北信越矯正歯科学会雑誌 30（1）：2022.
  - 16) 上村藍太郎，ザキル ホサイン，高橋功次朗，北川純一，齋藤 功：内因性カンナビノイド分解酵素阻害剤による口腔顔面領域の神経障害性疼痛に対する鎮痛効果の検討。第36回甲北信越矯正歯科学会学術大会，2021年6月27日，Web開催（同学術大会プログラム・抄録集 26頁），甲北信越矯正歯科学会雑誌 30（1）：2022.
  - 17) 河村智子，齋藤 功：叢生および下顎骨の軽度左方偏位を伴う Angle Class I 上下顎前突症例。第36回甲北信越矯正歯科学会学術大会，2021年6月27日，Web開催（同学術大会プログラム・抄録集 32頁），甲北信越矯正歯科学会雑誌 30（1）：2022.
  - 18) 上村藍太郎，齋藤 功：下顎骨軽度右方偏位を伴う Angle Class II 上顎前突症例。第36回甲北信越矯正歯科学会学術大会，2021年6月27日，Web開催（同学術大会プログラム・抄録集 31頁），甲北信越矯正歯科学会雑誌 30（1）：2022.
  - 19) 北見公平，齋藤 功：下顎骨の後退と右方偏位，叢生を伴う Angle Class I 歯性上下顎前突症例。第36回甲北信越矯正歯科学会学術大会，2021年6月27日，Web開催（同学術大会プログラム・抄録集 33頁），甲北信越矯正歯科学会雑誌 30（1）：2022.
  - 20) 大森裕子，竹山雅規，齋藤 功：下顎両側第二小臼歯の先天性欠如を伴う Angle Class II 過蓋咬合症例。第36回甲北信越矯正歯科学会学術大会，2021年6月27日，Web開催（同学術大会プログラム・抄録集 36頁），甲北信越矯正歯科学会雑誌 30（1）：2022.
  - 21) Lay Thant, 加来 賢, 柿原嘉人, 水越 優, 北見恩美, 北見公平, 小林大記, 吉田 豊, 魚島勝美, 齋藤 功, 佐伯万騎男：メカニカルストレス下における歯根膜細胞外基質タンパクのプロテオーム解析。第53回日本結合組織学会学術大会，2021年6月26日～27日，東京.
  - 22) 本多綾子，丹原 惇，高橋功次朗，高木律男，小林正治，齋藤 功：骨格性下顎前突症における正

貌軟組織のパターン別術後変化. 第31回日本顎変形症学会総会・学術大会 (Webinar開催), 仙台市, 2021年6月11日~12日, 日顎変形誌 31(2): 147, 2021.

- 23) 新ちひろ, 丹原 惇, 西山秀昌, 児玉泰光, 大澤知朗, 小林正治, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における上顎骨の携帯における三次元解析. 第31回日本顎変形症学会総会・学術大会 (Webinar開催), 仙台市, 2021年6月11日~12日, 日顎変形誌 31(2): 117, 2021.
- 24) 児玉泰光, 小林亮太, 山田 茜, Andrea Rei Estacio Salazar, 結城龍太郎, 永井孝宏, 大湊麗, 池田順行, 市川佳弥, 丹原 惇, 新美奏恵, 若月華子, 宮田昌幸, 小野和宏, 齋藤 功, 小林正治, 高木律男: 新潟大学医歯学総合病院における新診療体制後の口唇口蓋裂患者動向調査. 第45回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 大阪市, 2021年5月20日~21日, 日口蓋誌 46(2)抄録号: 133, 2021.
- 25) 市川佳弥, 丹原 惇, 寺田愛希, 宮田昌幸, 若月華子, 児玉泰光, 新美奏恵, 小林正治, 高木律男, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院での術前顎矯正治療における nasal stent の工夫. 第45回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 大阪市, 2021年5月20日~21日, 日口蓋誌 2021;46(2):122, 2021.
- 26) 新美奏恵, 齋藤大輔, 須田大亮, 原 太一, 齋藤直朗, 長谷部大地, 佐久間英伸, 片桐 涉, 齋藤功, 小林正治: 日本語版顎変形症疾患特異的QOL調査票の validation study および健康関連QOLとの関連性の検討. 第75回NPO法人日本口腔科学会学術集会, 豊中市, 2021年5月12日~14日, 2021.
- 27) Hasegawa M, Otake M, Kamimura R, Saito I, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Inhibitory effects of daily treadmill running on orofacial hyperalgesia under psychosocial stress conditions in male mice. 第126回日本生理学会・第98回解剖学会合同大会 (Web開催), 2021年3月28日~30日, 2021.

#### 【研究会発表】

- 1) 大森 裕子, 高橋 功次朗, 丹原 惇, 齋藤 功, 川合 巳佳, 三俣 哲: 安全な歯科治療のためのレオロジー-超音波で硬化を操る印象法の開発-. 第13回サ克蘭研究会年次学術集会 (Webinar開催), 金沢, 2021年11月13日.

- 2) 吉田智美, 竹山雅規, 網谷季莉子, 長谷部大地, 小林正治, 齋藤 功: 口腔内装置 (OA) を用いた閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA) 患者における顎顔面構造および咬合の経時的変化. 第17回新潟睡眠呼吸障害研究会 (オンライン開催), 令和3年9月11日.

#### 【受賞】

- 1) 栗原加奈子, 大川純平, 丹原 惇, 高橋功次朗, 堀一浩, 長崎 司, 福井忠雄, 小野高裕, 齋藤 功: 嚥下時の舌圧発現様相および顎顔面筋群筋活動は口蓋深さと関連する. 優秀演題賞, 第80回日本矯正歯科学会学術大会&第5回国際会議, 2021年11月3日-11月5日.
- 2) 長崎 司, 栗原加奈子, 大川純平, 丹原 惇, 高橋功次朗, 堀一浩, 福井忠雄, 小野高裕, 齋藤 功: 舌圧と顎顔面筋群筋活動の同時測定による骨格性下顎前突症の嚥下運動解析法. 優秀演題賞, 第80回日本矯正歯科学会学術大会&第5回国際会議, 2021年11月3日-11月5日.

#### 【その他】

- 1) 市川佳弥: 「論文紹介: 新潟大学医歯学総合病院においてPNAM治療を行った片側性口唇口蓋裂患児における外鼻形態変化の短期的評価.」口演, 第9回夏の口唇裂・口蓋裂勉強会 (オンライン開催). 2021年8月26日
- 2) 長崎 司: 骨格性下顎前突症患者における嚥下時舌圧発現様相および顎顔面筋群筋活動の検討. 新潟歯学会雑誌 51(2): 33-34頁, 2021.

#### 摂食嚥下リハビリテーション学分野

#### 【著書】

- 1) 井上 誠: 第4章災害食の栄養・機能 口腔ケアと誤嚥性肺炎. 災害食の事典, 株式会社朝倉書店, 東京, 印刷中.
- 2) 井上 誠: 第4章嚥下と嘔吐. 1. 嚥下. 最新歯科衛生士教本「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学第2版」(一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修), 医歯薬出版株式会社, 東京, 233-242, 2022. 3.
- 3) 井上 誠: 1. 咀嚼と口腔機能-嚥下との関わり. 咀嚼・嚥下-誤嚥性肺炎に関わる基礎知識. JOHNS 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 株式会社東京医学社, 東京, 印刷中.



## 【論文】

- 1) Jin Magara, Wakana Onuki, Reiko Ita, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Chewing modulates the human cortical swallowing motor pathways. *Physiology and Behaviors*, 2022, in press.
- 2) Sirima Kulvanich, Haruka Sakai, Riho Takanami, Mako Yamada, Anna Sasa, Kayoko Ito, Takanori Tsujimura, Jin Magara, Makoto Inoue: Impact of oral function on regaining oral intake and adjusting diet forms for acute stroke patients. *Journal of stroke & cerebrovascular diseases*, 2022, in press.
- 3) Taku Suzuki, Sirima Kulvanich, Takanori Tsujimura, Jin Magara, Yasushi Ohnishi, Makoto Inoue: Cause of Impairments of Bolus Transport and Epiglottis Inversion. *Dysphagia*. 2022 Feb 15, doi: 10.1007/s00455-022-10421-9.
- 4) Masayo Yasuda, Kayoko Ito, Kaname Nohno, Saori Funayama, Kiyoshi Takamatsu, Mariko Ogawa, Makoto Inoue: Association between multiple oral complaints and climacteric symptoms, 2022, in press.
- 5) Nana Mizoguchi, Kaname Nohno, Akihiro Yoshihara, Kayoko Ito, Saori Funayama, Hiroshi Ogawa : Association of hyper-low-density lipoprotein and hypo-high-density lipoprotein cholesterolemia with low saliva flow rates in Japanese community-dwelling elders . *International Archives of Otorhinolaryngology*, 2022, in press.
- 6) Kaoko Hama, Yasuyuki Iwasa, Yuki Ohara, Masanori Iwasaki, Kayoko Ito, Junko Nakajima, Takae Matsushita, Takashi Tohara, Mayumi Sakamoto, Masataka Itoda, Ken Inohara, Yoshie Ozaki, Rikimaru Sasaki, Yasuhiro Nishi, Midori Tsuneishi, Junichi Furuya, Yutaka Watanabe, Yoshihiko Watanabe, Yuji Sato, Mitsuyoshi Yoshida : Pneumonia incidence and oral health management by dental hygienists in long-term care facilities: A 1-year prospective multicenter cohort study, *Gerodontology*, 2021, in press.
- 7) Yusuke Sunakawa, Hideki Tsugayasu, Yutaka Watanabe, Takae Matsushita, Yuki Ohara, Masanori Iwasaki, Maki Shirobe, Kayoko Ito, Junko Nakajima, Yasuyuki Iwasa, Masataka Itoda, Rikimaru Sasaki, Yasuhiro Nishi, Junichi Furuya, Yoshihiko Watanabe, Yukie Ishiguro, Hirohiko Hirano, Yuji Sato, Mitsuyoshi Yoshida, Yutaka Yamazaki : Relationship between weight loss and regular dental management of older adults residing in long-term care facilities: A one-year multicenter longitudinal study, *European Geriatric Medicine*, 2021. in press.
- 8) Wakana Onuki, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Kayoko Ito, Haruka Sakai, Sirima Kulvanich, Yuta Nakajima, Nobuaki Saka, Makoto Inoue: Survey of oral hypofunction in older outpatients at a dental hospital. *J Oral Rehabil*, 2021. Aug, Online ahead of print, doi: 10.1111/joor.13237.
- 9) Masayo Yasuda, Kayoko Ito, Kaname Nohno, Kiyoshi Takamatsu, Mariko Ogawa, Saori Funayama, Makoto Inoue : Association between multiple oral complaints and menopausal symptoms: An observational study, *Journal of Women's Health and Development*, 5 (1): 001-014, 2021.Dec, 10, doi.org/10.26502/fjwhd.2644-28840072.
- 10) Li Yu, Kojun Tsuji, Izumi Ujihara, Qi Liu, Nikoleta Pavelkova, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue, Sonya Meeker, Eric Nisenbaum, Jeff S McDermott, Jeff Krajewski, Bradley J Undem, Marian Kollarik, Brendan J Canning: Antitussive effects of NaV 1.7 blockade in guinea pigs, *Eur J Pharmacol*, 907:174192, 2021.Oct, doi: 10.1016/j.ejphar.2021.174192.
- 11) Akemi Endo, Yutaka Watanabe, Takae Matsushita, Kazutaka Okada, Yuki Ohara, Masanori Iwasaki, Kayoko Ito, Junko Nakajima, Yasuyuki Iwasa, Masataka Itoda, Rikimaru Sasaki, Yasuhiro Nishi, Junichi Furuya, Yoshihiko Watanabe, George Umemoto, Masako Kishima , Hirohiko Hirano, Yuji Sato, Mitsuyoshi Yoshida, Yutaka Yamazaki : Association between Weight Loss and Food Form in Older Individuals Residing in Long-Term Care Facilities: 1-Year Multicenter Longitudinal Study. *Int J Environ Res Public Health*, 18(20): 10776, 2021.Oct, doi: 10.3390/ijerph182010776.
- 12) Chizuko Shinohara, Kayoko Ito, Kiyoshi Takamatsu, Mariko Ogawa, Yuka Kajii, Kaname Nohno, Aki Sugano, Saori Funayama, Akira Katakura, Takeshi Nomura, Makoto Inoue: Factors associated with xerostomia in perimenopausal women. *J Obstet Gynaecol Res*, 47(10) : 3661-3668, 2021.Oct, doi: 10.1111/jog.14963.
- 13) Hiroteru Kamimura, Masakazu Sano, Takanori Tsujimura, Yasunaga Takeda, Yuko Komoro, Junji Yokoyama, Shuji Terai: Rapid Onset of Weight Gain and Liver Dysfunction Successfully Treated With Nutrition and Exercise, *Cureus*. 13(7):e16530. 2021.Jul, doi: 10.7759/cureus.16530.
- 14) Naohito Hao, Anna Sasa, Sirima Kulvanich, Yuta Nakajima, Kouta Nagoya, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Coordination of respiration, swallowing and chewing in healthy young adults. *Front Physiol* , 13 : 12 : 696071 , 2021.Jul, doi:10.3389/fphys.2021.696071. eCollection.
- 15) Tomoharu Taga, Kayoko Ito, Kiyoshi Takamatsu, Mariko Ogawa, Saori Funayama, Makoto Inoue : Menopausal

symptoms are associated with oral sensory complaints in perimenopausal women: An observational study. *BMC Women's Health*, 21:262, 2021.Jul, doi.org/10.1186/s12905-021-01401-6.

- 16) Taku Suzuki, Takanori Tsujimura, Jin Magara, Naohito Hao, Naru Shiraishi, Kazuya Maekawa, Kazuo Matsushima, Makoto Inoue: Relationships between life prognosis and oral status, swallowing function, and oral intake level in older patients with aspiration pneumonia. *Dysphagia*, 2021.Apr, Online ahead of print, doi: 10.1007/s00455-021-10306-3.
- 17) Naoko Ogino, Akinori Funayama, Kanae Niimi, Toshihiko Mikami, Makoto Inoue, Tadaharu Kobayashi: Evaluation of factors affecting health-related quality of life in patients treated for oral cancer. *Advances in Oral and Maxillofacial Surgery Volume 2*, 2021, April-June, doi: org/10.1016/j.adoms.2021.100057.
- 18) Kayoko Ito, Makoto Inoue, Hisae Nishii, Tetsuro Matsumoto: Prevalence of xerostomia with or without overactive bladder symptoms. *Lower Urinary Tract Symptoms*, 13(2) : 224-229, 2021.Apr, doi: 10.1111/luts.12354.
- 19) 筒井雄平, 真柄 仁, 小貫和佳奈, 坂 暢晃, 坂井 遥, 井上 誠: 急性期の延髄外側症候群の嚥下障害に対し, 頸部回旋を併用したバルーン単純引き抜き法を行った一例. *新潟歯学会雑誌*, 51(2) : 19-24, 2021. 12.
- 20) 建部一毅, 石田雅樹, 真柄 仁, 小幡裕明, 樋浦 徹, 前川和也, 伊藤加代子, 辻村恭憲, 井上 誠: 誤嚥性肺炎入院患者に対する摂食嚥下機能評価フローの立案と有効性の検討. *日摂食リハ会誌* (1343-8441), 25(2) : 90-101, 2021. 9, doi: 10.32136/jsdr.25.2\_90.
- 21) 落合勇人, 辻村恭憲, 渡邊賢礼, 那小屋公太, 高波里帆, 山田真子, 井上 誠: 原疾患の管理が安定後も合併症の問題により, 嚥下障害の対応に難渋した皮膚筋炎の一例. *新潟歯学会雑誌*, 51(1) : 45-50, 2021. 9.
- 22) 清野由美子, 小山 諭, 井上 誠, 鈴木 拓, 吉原翠, 渋谷 瞳, 笹 杏奈, 鈴見梨紗, 坂井 遥: A 精神科病院の病棟内食堂で食事摂取可能な入院患者における誤嚥性肺炎リスクの影響要因と予防に向けた支援. *日摂食リハ会誌* (1343-8441), 25(1) : 33-43, 2021. 4, doi: 10.32136/jsdr.25.1\_33.

#### 【商業誌】

- 1) 伊藤加代子, 井上 誠: 更年期女性にみられる口腔疾患への対応, *産科と婦人科*, 第 89 巻増刊号: 420-

424, 2022.

- 2) 伊藤加代子: チェアサイド Q&A 高齢者歯科に関する疑問 口腔乾燥症を引き起こす服用薬剤について知りたいです, *歯科衛生士*, 46 : 21, 2022.
- 3) 伊藤加代子, 船山さおり, 井上 誠: 味覚障害の診断および治療, *リハビリテーション医学*, 58(12) : 1361-1366, 2021.
- 4) 伊藤加代子, 井上 誠: 閉経に伴う口腔愁訴とそれらに対する HRT の効果. *産科と婦人科*, 88(4) : 487-495, 2021.

#### 【研究費獲得】

- 1) 井上 誠 (研究代表者) 辻村恭憲 (分担研究者): 脳梗塞における摂食嚥下障害の病態解明とその回復に顎口腔機能がもたらす効果. 2021 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (B), 課題番号 21H03128, 3,450 千円, 2021.
- 2) 井上 誠 (分担研究者), 辻村恭憲 (分担研究者), 那小屋公太 (分担研究者): 嚥下障害モデル動物を用いた摂食嚥下障害の病態解明 (研究代表者 白石成). 令和元年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号 19K10201, 120 千円 (分担金), 2021.
- 3) 井上 誠 (分担研究者), 渡邊賢礼 (分担研究者): 精神科病院における摂食嚥下支援の充実に向けた食形態改善指標の開発 (研究代表者 清野由美子). 令和2年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C), 課題番号 20K10781, 100 千円, 2021.
- 4) 辻村恭憲 (研究代表者), 井上 誠 (分担研究者): 摂食嚥下障害治療における咀嚼タスクの有効性検証. 令和2年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C), 課題番号 20K10069, 900 千円, 2021.
- 5) 真柄 仁 (研究代表者), 井上 誠 (分担研究者): 顎口腔運動学習による嚥下関連高次脳ネットワーク再構築を検証する. 令和元年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号 19K10243, 830 千円, 2021.
- 6) 伊藤加代子 (分担研究者): サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究, 2021 年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C), 課題番号 21K11687, 100 千円, 2021.
- 7) 渡邊賢礼 (研究代表者), 井上 誠 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者): 顎・舌運動と食塊移送から読みとく咀嚼機能評価. 令和2年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C), 課題番号 20K10265, 1,200 千円, 2021.
- 8) 那小屋公太 (研究代表者): 疾患モデル動物を用いた「サルコペニアの摂食嚥下障害」の生理学的検証.

- 令和3年度文部科学省科学研究費補助金 若手研究, 課題番号 21K17034, 1,430 千円, 2021.
- 9) 船山さおり (研究代表者), 伊藤加代子 (分担研究者), 井上 誠 (分担研究者): 自発性異常味覚. 令和2年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号 20K10264, 710 千円, 2021.
  - 10) 吉原 翠 (研究代表者): 咽喉頭酸逆流による嚥下誘発・咀嚼動態の変調および TRPM8 刺激による影響の検証. 令和3年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究, 課題番号 21K17060, 1,430 千円, 2021.
  - 11) 辻村恭憲 (研究代表者): 摂食機能と呼吸機能の関連メカニズムの解明, 国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(A)), 課題番号 20KK0353, 10,900 千円, 2021-2023.
  - 12) 真柄 仁 (研究代表者): 咀嚼が変わる、嚥下調整食のこれから. ロッテ財団 第8回 奨励研究助成, 1,000 千円, 2021.
  - 13) 真柄 仁 (研究代表者): 口腔機能低下症患者における口腔機能管理の実施効果. 令和3年度 8020 財団研究事業, 700 千円, 2021.
  - 14) 那小屋公太 (研究代表者): 果実酸が嚥下動態へ及ぼす影響. 第51回リバナス研究費扶桑化学工業賞, 500 千円, 2021.
  - 15) 板 離子 (研究代表者): 口腔機能から考える介護食品の評価と安全性. 令和3年度公益財団法人古泉財団研究費助成事業, 500 千円, 2021.
  - 16) 岩森 大 (研究代表者): ゼリー炭酸飲料が随意嚥下活動に及ぼす影響. 令和3年度公益財団法人古泉財団研究費助成事業, 500 千円, 2021.
  - 17) 井上 誠: 油脂粉末を摂食嚥下した際に知覚する冷涼感の評価とメカニズム解明に関する共同研究 (日清オイリオ), 825 千円, 2021.
  - 18) 井上 誠: 摂食嚥下障害者用介護用品・食具等の開発に関する研究 (共同研究) (にいがた摂食嚥下障害サポート研究会). 354 千円, 2021.
  - 19) 井上 誠: 米菓の易咀嚼性のメカニズム (共同研究), 亀田製菓株式会社, 916 千円, 2021.
  - 20) 伊藤加代子: 薬剤性口腔乾燥症の治療効果についての共同研究 (ファイザー製薬), 500 千円, 2020-2021.
  - 21) 井上 誠: 摂食嚥下治療登録医等養成研修に関する受託事業費 (新潟県歯科医師会), 3,180 千円, 2021.
  - 22) 井上 誠: 一正蒲鉾研究助成金, 1,000 千円, 2020-2021.
  - 23) 辻村恭憲 (研究代表者), 井上 誠 (共同研究者): "よく噛むこと"がもたらす嚥下機能の変調効果, 2020年度やずや食と健康助成研究 キャリアアップ部門, 835 千円, 2020-2021.
  - 24) 井上 誠: 摂食嚥下機能回復部における臨床研究助成 (寄付金) (恵風園), 1,000 千円, 2021.
  - 25) 井上 誠: 摂食嚥下機能回復部における臨床研究助成 (寄付金) (とやの中央病院), 1,000 千円, 2021.
  - 26) 井上 誠: 令和3年度令和3年度論文投稿支援, 300 千円, 2021.
- 【招待講演・シンポジウム】**
- 1) Sirima Kulvanich, Haruka Sakai, Anna Sasa, Riho Takanami, Mako Yamada, Makoto Inoue: Oral function as a predictive factor for oral intake resumption in acute post-stroke patients with dysphagia. The 18th International Scientific Conference of The Dental Faculty Consortium of Thailand (DFCT2021) (Chiangmai, Thailand)/online conference, 2021.11.17-19.
  - 2) Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Nobuaki Saka, Kouta Nagoya, Jin Magara, Takanori Tsujimura and Makoto Inoue: Effects of Unilateral External Carotid Artery Ligation on Jaw-Opening Reflex and Swallowing in Anesthetized Rats. The 18th International Scientific Conference of The Dental Faculty Consortium of Thailand (DFCT2021) (Chiangmai, Thailand)/online conference, 2021.11.17-19.
  - 3) Yuta Nakajima, Takanori Tsujimura, Yuhei Tsutsui, Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Makoto Inoue: Facilitatory effect of atropine on initiation of swallowing evoked by distilled water in anesthetized rats. The 18th International Scientific Conference of The Dental Faculty Consortium of Thailand (DFCT2021) (Chiangmai, Thailand)/online conference, 2021.11.17-19.
  - 4) Makoto Inoue: New approaches to oral stimulation. 11th ESSD CONGRESS on remote. INNOVATION AND ROBOTICS IN DYSPHAGIA TREATMENTS, 2021.11.6.
  - 5) Makoto Inoue: Coordination of chewing and swallowing: importance of oral and masticatory function in a clinical situation. WDS Symposium 5 Basic Physiology of Swallowing: Current Knowledge and Future Perspective, Nagoya Congress Center (Nagoya city)/online conference, 2021.8.20.
  - 6) Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Peripheral mechanisms of mechanically evoked swallows. 2nd World Dysphagia Summit, Nagoya Congress Center (Aichi/ Nagoya city)/online conference, 2021.8.20-22. 2nd World Dysphagia Summit Proceedings P68, 2021.
  - 7) 辻村恭憲, Brendan J Canning, 井上 誠: 孤束核のグルタミン酸受容体は嚥下誘発に関与する. 第45回嚥下医学会学術講演会, 電気ビルみらいホール

(福岡県・福岡市) /WEB 開催, 2022 年 2 月 24-25 日.

- 8) 井上 誠: 歯科臨床からみた口腔生理学. 第 63 回 歯科基礎医学会学術大会 (リモート開催) アップデートシンポジウム 5『最新研究から考える口腔機能ダイバーシティ』, 2021 年 10 月 12 日.
- 9) 井上 誠: 「食べる・飲む」機能の仕組み. 第 24 回 日本歯科医学会学術大会 (リモート開催) シンポジウム 4「食べる・飲む」機能の障害と口腔リハビリテーション その仕組みと展望, 2021 年 9 月 23 日.
- 10) 辻村恭憲, 井上 誠: 炭酸刺激による嚥下誘発メカニズム. 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 名古屋国際会議場 (愛知県・名古屋市) /WEB 開催, 2021 年 8 月 19 日-21 日, 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 151 頁, 2021.
- 11) 真柄 仁: 生体記録からみた咀嚼嚥下機能連関における神経制御. シンポジウム つながる: 口腔から咽頭へ-咀嚼と嚥下- 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 名古屋国際会議場 (愛知県・名古屋市) 現地/Web 開催, 2021 年 8 月 19 日-21 日, 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 140 頁, 2021.
- 12) 井上 誠: 災害時における口腔ケアの重要性. 日本災害医療薬剤師学会第 9 回学術大会 (リモート開催), 2021 年 7 月 4 日.

#### 【講演・シンポジウム (その他)】

- 1) 辻村恭憲: 摂食嚥下障害の評価と対応, 新潟リハビリテーション研究会 3 月定例勉強会, Web 開催, 2022 年 3 月 28 日.
- 2) 井上 誠: 高齢者の摂食嚥下機能とその障害. 新潟県歯科医師会公衆衛生の普及と予防医学の研究と指導に関する事業, 新潟, 2022 年 2 月 22 日.
- 3) 井上 誠: 「種」からはじまる「モノづくり」. 第 2 回 HAS 推進セミナー, 三条市 (リモート開催), 2022 年 1 月 28 日.
- 4) 井上 誠: 歯科が考える摂食嚥下障害の臨床と研究. 昭和大学学士会後援セミナー大学院歯学研究科リカレント教育認定セミナー, 昭和大学, リモート開催, 2022 年 1 月 5 日.
- 5) 辻村恭憲: “よく噛むこと”が摂食嚥下機能に与える効果, にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 2021 年度第 2 回講演会 (リモート開催), 2021 年 12 月 19 日.
- 6) 井上 誠: 医科歯科連携で行う摂食嚥下リハビリテーション. 高齢者歯科保健推進研修会, 埼玉, 2021

年 12 月 16 日.

- 7) 井上 誠: 医科歯科連携で行う摂食嚥下リハビリテーション. 医療法人社団真仁会五泉中央病院研修会, 新潟県五泉市, 2021 年 11 月 12 日.
- 8) 伊藤加代子: 口腔ケアの実際と食事介助の基本, 2021 年度口腔ケア研修会, 新潟県社会福祉協議会, Web 開催, 2021 年 8 月 26 日.
- 9) 辻村恭憲: 摂食嚥下障害の食支援, 令和 3 年度摂食嚥下機能向上に関する研修会 国立病院機構新潟病院, オンデマンド配信, 2021 年 8 月 1 日-31 日.
- 10) 井上 誠: 摂食嚥下機能を考えること・摂食嚥下障害の支援を考えること. にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 2021 年度第 1 回講演会 (リモート開催), 2021 年 5 月 29 日.
- 11) 伊藤加代子: 認知症高齢者への口腔ケア～口腔乾燥への対応を中心に～, 第 80 回柏崎臨床精神医学研究会, Web 開催, 2021 年 4 月 22 日.

#### 【学会発表】

- 1) Yuta Nakajima, Yuhei Tsutsui, Satomi Kawada, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Facilitatory effect of atropine on swallowing evoked by distilled water in anesthetized rats. 11th ESSD Congress, online conference, 2021.11.4-6.
- 2) Mana Ando, Jin Magara, Yuto Ochiai, Yukiko Orihara, Kouki Noda, Roxana Stegaroiu, Makoto Inoue: Effect of oral dryness and bolus property on swallowing function. 11th ESSD Congress, online conference, 2021.11.4-6.
- 3) Jin Magara, Reiko Ita, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of chewing on modulation of pharyngeal motor excitability. 11th ESSD Congress, online conference, 2021.11.4-6.
- 4) Wakana Onuki, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Kayoko Ito, Yuta Nakajima, Nobuaki Saka, Yuhei Tsutsui, Reiko Ita, Satomi Kawada, Makoto Inoue: Impact of dental treatment and management on patients with Oral Hypofunction. 11th ESSD Congress, online conference, 2021.11.4-6.
- 5) Takanori Tsujimura, Jin Magara, Akira Okubo, Nobuaki Saka, Yuta Nakajima, Makoto Inoue: Volitional chewing affects pharyngeal bolus transit time during swallowing. 6th International Conference on Food Oral Processing, online conference, 2021.7.12-14.
- 6) Sirima Kulvanich, Haruka Sakai, Anna Sasa, Riho Takanami, Kayoko Ito, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of the oral function on the oral intake resumption in acute stroke patients with dysphagia. 2nd World Dysphagia Summit, Nagoya Congress Center

- (Aichi/ Nagoya city)/online conference, 2021.8.20-22. 2nd World Dysphagia Summit Proceedings P111, 2021.
- 7) Sirima Kulvanich, Kayoko Ito, Eri Takei, Haruka Sakai, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Association between oral and swallowing function and the feeding status of older adults in nursing homes. Niigata Dental Society 2021 1st regular meeting, Niigata city, Niigata Prefecture, 2021.7.10.
  - 8) Midori Yoshihara, Kouta Nagoya, Jin Magara, Takanori Tsujimura, and Makoto Inoue: Long-lasting TRPV1 activation modulates the initiation of swallowing in anesthetized rats. 2nd World Dysphagia Summit, Nagoya Congress Center (Aichi/ Nagoya city)/online conference, 2021.8.20-22. 2nd World Dysphagia Summit Proceedings P119, 2021.
  - 9) Jin Magara, Eri Takei, Yuhei Tsutsui, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Modulation of swallowing related motor evoked potentials induced by interferential current stimulation. 2nd World Dysphagia Summit, Nagoya Congress Center (Aichi/ Nagoya city) on-site & on-line conference, 2021.8.20-22. 2nd World Dysphagia Summit Proceedings P169, 2021.
  - 10) Yuta Nakajima, Takanori Tsujimura, Reiko Ita, Makoto Inoue: Atropine facilitates initiation of swallowing evoked by distilled water in anesthetized rats. 2nd World Dysphagia Summit, Nagoya Congress Center (Aichi/ Nagoya city)/on-line conference, 2021.8.20-22. 2nd World Dysphagia Summit Proceedings P177, 2021.
  - 11) Kouta Nagoya, Takanori Tsujimura, Jin Magara, Makoto Inoue: Analyses of swallowing changes due to Chronic Obstructive Pulmonary Disease (COPD) in anesthetized rats. 2nd World Dysphagia Summit, Nagoya Congress Center (Aichi/ Nagoya city)/online conference, 2021.8.20-22. 2nd World Dysphagia Summit Proceedings P120, 2021
  - 12) 鈴木 拓, 辻村恭憲, 井上 誠: 口腔咽頭内の衛生状態改善後に喉頭蓋の反転不全が改善した一例. 第45回日本嚥下医学会学術講演会, 電気ビルみらいホール (福岡県・福岡市) /WEB 開催, 2022年2月24-25日. 第45回日本嚥下医学会学術講演会プログラム・抄録集 92頁, 2022.
  - 13) 落合勇人, 梶山理恵, 板 離子, 小貫和佳奈, 川田里美, 高田夏佳, 辻村恭憲, 真柄 仁, 井上 誠: 口腔乾燥がもたらす摂食嚥下運動への影響. 第45回日本嚥下医学会学術講演会, 電気ビルみらいホール (福岡県・福岡市) /WEB 開催, 2022年2月24-25日.
  - 14) 後藤理恵, 落合勇人, Sirima Kulvanich, 辻村恭憲, 真柄 仁, 竹井 亮, 高橋 肇, 井上 誠: 唾液分泌量の低下が咀嚼嚥下運動に与える影響. 日本顎口腔機能学会第66回学術大会, WEB開催, 2021年12月4-5日.
  - 15) 笹 杏奈, 羽尾直仁, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 筋電図ならびに顎運動軌跡の記録を用いた食塊形成/移送過程の評価. 日本顎口腔機能学会第66回学術大会, WEB開催, 2021年12月4-5日.
  - 16) 坂井 遥, Sirima Kulvanich, 笹 杏奈, 井上 誠: 急性期摂食嚥下障害患者の経口摂取再開に関連する因子検索. 第35回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, リモート開催, 2021年11月20日-12月3日. 日本口腔リハビリテーション学会雑誌 第34巻第1号 67頁, 2021.
  - 17) 小貫和佳奈, 板 離子, 真柄 仁, 辻村恭憲, 伊藤加代子, 那小屋公太, 羽尾直仁, 坂井 遥, 中嶋優太, 井上 誠: 口腔機能低下症診断のためのカットオフ値と検査項目の一考察. 第35回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, リモート開催, 2021年11月20日-12月3日. 日本口腔リハビリテーション学会雑誌 第34巻第1号 68頁, 2021.
  - 18) 板 離子, 小貫和佳奈, 真柄 仁, 辻村恭憲, 伊藤加代子, 那小屋公太, 羽尾直仁, 坂井 遥, 中嶋優太, 井上 誠: 口腔機能低下症の評価および管理指導についての検討. 第35回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, リモート開催, 2021年11月20日~12月3日. 日本口腔リハビリテーション学会雑誌 第34巻第1号 68頁, 2021.
  - 19) 笹 杏奈, 羽尾直仁, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 筋電図ならびに顎運動軌跡の記録を用いた食塊形成過程の評価. 2021年度新潟歯学会第2回例会, 新潟大学 (新潟県・新潟市), 2021年11月6日.
  - 20) 中嶋優太, 辻村恭憲, 川田里美, 筒井雄平, 吉原 翠, 那小屋公太, 井上 誠: Atropine facilitates initiation of swallowing evoked by distilled water in anaesthetized rats. 第63回歯科基礎医学会学術大会, WB開催, 2021年10月9日11日.
  - 21) 筒井雄平, 真柄 仁, 小貫和佳奈, 坂 暢晃, 坂井遥, 井上 誠: 急性期の延髄外側症候群患者に対し, 頸部回旋を併用したバルーン単純引き抜き法を行った一例. 第26・27回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 名古屋国際会議場 (愛知県・名古屋市) /WEB開催, 2021年8月19日-21日, 第26・27回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 413頁, 2021.
  - 22) 岩森 大, 片野佑美, 川見友恵, 宮岡洋三, 井上 誠: 市販炭酸飲料へのとろみ付与による炭酸刺激感の

- 影響. 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 名古屋国際会議場 (愛知県・名古屋市) /WEB 開催, 2021 年 8 月 19 日-21 日, 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 409 頁, 2021.
- 23) 羽尾直仁, 笹 杏奈, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠, 筒井雄平, 中嶋優太: 呼吸, 嚥下, 咀嚼の協調を探る. 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 名古屋国際会議場 (愛知県・名古屋市) /WEB 開催, 2021 年 8 月 19 日-21 日, 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 399 頁, 2021.
- 24) 渡邊賢礼, 土屋信人, 小林智美, 真柄 仁, 井上 誠: 病診連携により経口摂取を継続できた重症心身障害児の一例. 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 名古屋国際会議場 (愛知県・名古屋市) /WEB 開催, 2021 年 8 月 19 日-21 日, 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 378 頁, 2021.
- 25) 伊藤加代子, 阿志賀大和, 林 宏和, 飯泉智子, 鈴木 拓, 道見 登, 花形哲夫, 井上 誠: 新型コロナウイルス感染症感染拡大予防に伴う歯科介入中断が介護保険施設入所者に与える影響. 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 名古屋国際会議場 (愛知県・名古屋市) /WEB 開催, 2021 年 8 月 19 日-21 日, 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 380 頁, 2021.
- 26) 船山さおり, 伊藤加代子, 井上 誠: 新潟大学医歯学総合病院味覚外来患者の臨床検討. 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 名古屋国際会議場 (愛知県・名古屋市) /WEB 開催, 2021 年 8 月 19 日-21 日, 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 372 頁, 2021.
- 27) 落合勇人, 渡邊賢礼, 那小屋公太, 山田真子, 井上 誠: 頸部食道癌再発に対する遊離空腸を用いた再建術後に認められた嚥下障害の一例. 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 名古屋国際会議場 (愛知県・名古屋市) /WEB 開催, 2021 年 8 月 19 日-21 日, 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 331 頁, 2021.
- 28) 小貫和佳奈, 真柄 仁, 辻村恭憲, 伊藤加代子, 坂井 遥, 中嶋優太, 坂 暢晃, 井上 誠: 口腔機能低下症診断患者における予後の検討. 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 名古屋国際会議場 (愛知県・名古屋市) /WEB 開催, 2021 年 8 月 19 日-21 日, 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 302 頁, 2021.
- 29) 坂井 遥, Sirima Kulvanich, 高波里帆, 山田真子, 笹 杏奈, 井上 誠: 急性期摂食嚥下障害患者の経口摂取再開に関連する因子の検討. 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 名古屋国際会議場 (愛知県・名古屋市) /WEB 開催, 2021 年 8 月 19 日-21 日, 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 300 頁, 2021.
- 30) 高波里帆, 坂 暢晃, 笹 杏奈, 吉原 翠, 羽尾直仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 急性心筋梗塞を発症し, 長期挿管後に生じた嚥下障害対して摂食嚥下リハビリテーションを実施した 1 例. 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 名古屋国際会議場 (愛知県・名古屋市) /WEB 開催, 2021 年 8 月 19 日-21 日, 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 330 頁, 2021.
- 31) 後藤理恵, 落合勇人, Sirima Kulvanich, 辻村恭憲, 真柄 仁, 竹井 亮, 高橋 肇, 井上 誠: 口腔乾燥がもたらす摂食嚥下運動への影響. 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 名古屋国際会議場 (愛知県・名古屋市) /WEB 開催, 2021 年 8 月 19 日-21 日, 第 26・27 回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 286 頁, 2021.
- 32) 中嶋優太, 辻村恭憲, 板 離子, 井上 誠: 麻酔ラットへのアトロピン投与がもたらす嚥下誘発の変調効果. 日本顎口腔機能学会第 65 回学術大会, WEB 開催, 2021 年 6 月 26 日-27 日.
- 33) 落合勇人, 渡邊賢礼, 那小屋公太, 山田真子, 辻村恭憲, 井上 誠: 皮膚筋炎ならびにその合併症により対応に苦慮した嚥下障害の一例. 第 22 回日本言語聴覚学会, ウィンク愛知 (愛知県・名古屋市) /WEB 開催, 2021 年 6 月 19 日-20 日.
- 34) 落合勇人, 辻村恭憲, 渡邊賢礼, 那小屋公太, 山田真子, 高波里帆, 井上 誠: 下部消化管に出現した合併症により対応に苦慮した皮膚筋炎に伴う嚥下障害の一例. 第 54 回新潟歯学会総会, 新潟大学 (新潟県・新潟市), 2021 年 4 月 17 日.

#### 【研究会】

- 1) 笹 杏奈, 羽尾直仁, Sirima Kulvanich, 板 離子, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 食塊形成過程における舌骨上筋群の機能的役割. 第 1 回表面筋電バイ

オフィードバック研究会, 大阪保健医療大学 (大阪府・大阪市) /WEB 開催, 2022 年 3 月 6 日.

#### 【受賞】

- 1) 笹 杏奈, 羽尾直仁, Sirima Kulvanich, 板 離子, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 食塊形成過程における舌骨上筋群の機能的役割. 第 1 回表面筋電リハビリテーション研究会, 優秀演題賞.
- 2) 笹 杏奈, 羽尾直仁, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 筋電図ならびに顎運動軌跡の記録を用いた食塊形成過程の評価. 2021 年度新潟歯学会第 2 回例会, 2021 年度新潟歯学会賞.
- 3) Jin Magara, Eri Takei, Yuhei Tsutsui, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Modulation of swallowing related motor evoked potentials induced by interferential current stimulation. 2nd World Dysphagia Summit, Oral presentation award, 2nd place.

#### 【その他】

- 1) 井上 誠: 「食べる・飲む」機能の障害と口腔リハビリテーション. その仕組みと展望. 第 24 回 日本歯科医学会学術大会記録集, 印刷中.
- 2) 井上 誠, 坂井 遥: 摂食嚥下障害. 新潟一番, テレビ新潟, 2022 年 3 月 9 日.
- 3) 井上 誠: ゆうなびプラス見つけタネ. にいがたケンジュプロジェクト, 新潟放送, 2022 年 3 月 4 日.
- 4) 井上 誠: いまから始めよう! すぐ出来る! さまざまなフレイル予防. 新潟一番, テレビ新潟, 2022 年 2 月 8 日.
- 5) 川田里美: 令和 4 年度新潟大学フェローシップ支援, 2022.
- 6) 筒井雄平: 令和 4 年度新潟大学フェローシップ支援, 2022.
- 7) 板 離子: 令和 3 年度未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト, 2021.
- 8) 笹 杏奈: 令和 3 年度未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト, 2021.
- 9) 中嶋優太: 令和 3 年度新潟大学フェローシップ支援, 2021.
- 10) 辻村恭憲: 摂食嚥下障害の評価と対応, いいじま歯科クリニック研修会, 新発田市 生涯学習センター, 2022 年 3 月 24 日.
- 11) 井上 誠: 噛むこと・飲み込むこと. 新潟大学公開講座, 新潟大学, (リモート開催), 2021 年 12 月 25 日.
- 12) 井上 誠: 地域医療構想において歯科が果たせる役

割. 新潟県議会自由民主党歯科保健議員連盟会議, 新潟県庁, 2021 年 12 月 6 日.

- 13) 井上 誠: 要介護高齢者の摂食嚥下障害と介護食の開発へのヒント. アグリビジネス創出フェア 2021, 2021 年 11 月 24-26 日.
- 14) 伊藤加代子: 唾液と味覚の役割. 新潟大学公開講座, 新潟大学, (リモート開催), 2021 年 10 月 30 日.
- 15) 井上 誠: 「介護食の世界に革命を〜「食べる」を知って「食べる」を支える〜». 新潟大学・地域共創支援活動シーズ発表会, 2021 年 9 月 29 日.
- 16) 井上 誠: 摂食嚥下障害と口腔機能. 大塚製薬株式会社社員向け社内研修会 (リモート開催), 2021 年 8 月 31 日.
- 17) 笹 杏奈: 特別キャリアデザイン講座, 北海道医療大学リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科, Web 開催, 2021 年 8 月 28 日.
- 18) 伊藤加代子: オーラルフレイル万全対策, サンデー毎日, 2021 年 6 月 20 日号: 122-125.
- 19) 伊藤加代子: 口腔乾燥への対応〜服薬コンプライアンス向上のために〜, トビエースオンラインセミナー, ファイザー製薬, Web 開催, 2021 年 7 月 13 日.
- 20) 井上 誠, 中嶋優太: 新潟大学フェローシップ事業キックオフシンポジウム 2021, 新潟大学中央図書館ライブラリーホール, Web 開催, 2021 年 6 月 28 日.
- 21) 辻村恭憲: URA 企画 科研費 国際共同研究強化(A) 採択者との懇談会, Web 開催, 2021 年 6 月 1 日.
- 22) 伊藤加代子: 口腔乾燥症への東洋医学的アプローチ, 新潟大学歯学部同窓会, Web 開催, 2021 年 5 月 30 日.

#### 硬組織形態学分野

#### 【論文】

- 1) Quispe-Salcedo A, Ohshima H: The role of dendritic cells during physiological and pathological dentinogenesis. J Clin Med 10(15): 3348, 2021.
- 2) Suzuki Barrera K: Scientific achievements and legacy of professor Eduardo Couve Montané: A narrative review. Appl Sci Dent 2(3): 1-10, 2021.
- 3) Ohshima H, Mishima K, Amizuka N: Oral biosciences: The annual review 2021. J Oral Biosci 64(1): 1-7, 2022.
- 4) Honda M, Ohshima H: Biological characteristics of dental pulp stem cells and their potential use in regenerative medicine. J Oral Biosci 64(1): 26-36, 2022.
- 5) Katsumi Y, Takagi R, Ohshima H: Variations in the venous supply of the floor of the oral cavity: Assessment of relative hemorrhage risk during surgery. Clin Anat

- 34(7): 1087-1094. 2021.
- 6) Nakakura-Ohshima K\*, Quispe-Salcedo A\*, Sano H, Hayasaki H, Ohshima H (\*co-first author): The effects of reducing the root length by apicoectomy on dental pulp regeneration following tooth replantation in mice. *Dent Traumatol* 37(5): 677-690, 2021.
  - 7) Xu D, Mutoh N, Ohshima H, Tani-Ishii N: The effect of mineral trioxide aggregate on dental pulp healing in the infected pulp by direct pulp capping. *Dent Mater J* 40(6): 1373-1379, 2021.
  - 8) Ishikawa Y, Ida-Yonemochi H, Saito K, Nakatomi M, Ohshima H. The Sonic hedgehog–Patched–Gli signaling pathway maintains dental epithelial and pulp stem/progenitor cells and regulates the function of odontoblasts. *Front Dent Med*, 2: 651334, 2021.
  - 9) Kanavati F, Toyokawa G, Momosaki S, Takeoka H, Okamoto M, Yamazaki K, Takeo S, Iizuka O, Tsuneki M: A deep learning model for the classification of indeterminate lung carcinoma in biopsy whole slide images. *Sci Rep* 11(1): 8110, 2021.
  - 10) Naito Y, Tsuneki M, Fukushima N, Koga Y, Higashi M, Notohara K, Aishima S, Ohike N, Tajiri T, Yamaguchi H, Fukumura Y, Kojima M, Hirabayashi K, Hamada Y, Norose T, Kai K, Omori Y, Sukeda A, Noguchi H, Uchino K, Itakura J, Okabe Y, Yamada Y, Akiba J, Kanavati F, Oda Y, Furukawa T, Yano H: A deep learning model to detect pancreatic ductal adenocarcinoma on endoscopic ultrasound-guided fine-needle biopsy. *Sci Rep* 11(1): 8454, 2021.
  - 11) Makishi S, Tanaka M, Kobayashi T, Tanaka R, Hayashi T, Ohshima, H: Posterior superior alveolar nerves contribute to sense in anterior teeth. *Ann Anat* 238:151784, 2021.
  - 12) Inoue A, Kiyoshima T, Yoshizaki K, Nakatomi C, Nakatomi M, Ohshima H, Shin M, Gao J, Tsuru K, Okabe K, Nakamura I, Honda H, Matsuda M, Takahashi I, Jimi E: Deletion of epithelial cell-specific p130Cas impairs the maturation stage of amelogenesis. *Bone* 154: 116210, 2021.
  - 13) Kanavati F, Tsuneki M: A deep learning model for gastric diffuse-type adenocarcinoma classification in whole slide images. *Sci Rep* 11(1): 20486, 2021.
  - 14) Kanavati F, Tsuneki M: Breast Invasive Ductal Carcinoma Classification on Whole Slide Images with Weakly-Supervised and Transfer Learning. *Cancers (Basel)* 13(21): 5368, 2021.
  - 15) Tsuneki M, Kanavati F: Deep Learning Models for Poorly Differentiated Colorectal Adenocarcinoma Classification in Whole Slide Images Using Transfer Learning. *Diagnostics (Basel)* 11(11):2074, 2021.
  - 16) Kanavati F and Tsuneki M: Partial transfusion: on the expressive influence of trainable batch norm parameters for transfer learning. *Proc Mach Learn Res* 143: 338-353, 2021.
  - 17) Makishi S, Yamazaki T, Ohshima H: Osteopontin on the dental implant surface promotes direct osteogenesis in osseointegration. *Int J Mol Sci* 23(3): 1039, 2022.
  - 18) Kanavati F, Ichihara S, Tsuneki M: A deep learning model for breast ductal carcinoma in situ classification in whole slide images. *Virchows Arch* 480(2): 1009-1022, 2022.
  - 19) Imai C, Sano H, Quispe-Salcedo A, Saito K, Nakatomi M, Ida-Yonemochi H, Okano H, Ohshima H: Exploration of the role of the subodontoblastic layer in odontoblast-like cell differentiation after tooth drilling using Nestin-enhanced green fluorescent protein transgenic mice. *J Oral Biosci* 64(1): 77-84, 2022.
  - 20) Inaba A, Harada H, Ikezaki S, Kumakami-Sakano M, Arai H, Azumane M, Ohshima H, Morikawa K, Kano K, Aoki J, Otsu K: LPA6-RhoA signals regulate junctional complexes for polarity and morphology establishment of maturation stage ameloblasts. *J Oral Biosci* 64(1): 85-92, 2022.
  - 21) Ida-Yonemochi H, Takeuchi K, Ohshima H: Role of chondroitin sulfate in the developmental and regeneration process of dental pulp tissue in mice. *Cell Tissue Res* 388(1): 133-148, 2022.
- 【研究費獲得】**
- 1) 大島勇人, 常木雅之, 依田浩子, 原田英光: 他家歯胚移植実験を用いた接合上皮の由来・維持機構の解明と接合上皮幹細胞の同定. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 20K21672, 2021.
  - 2) 大島勇人(受入研究者): 外的侵襲後の歯髓治癒過程における象牙芽細胞、歯髓幹細胞、免疫細胞間クロストーク. 令日本学術振興会科学研究費補助金 特別研究員奨励費, 21F30412, 2021
  - 3) 依田浩子, 入江太郎, 大島勇人: 歯の形成過程における糖代謝リプログラミングの制御機構. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09826, 2021.
  - 4) 大島邦子, 大島勇人, 早崎治明: 外傷歯における神経伝達シグナルと人為的血流調節による歯髓静的幹細胞賦活の試み. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 20K10224, 2021.
  - 5) 下村淳子, 森田貴雄, 大島勇人: 歯の発生過程にお



ける上皮間葉相互作用のプロテオミクスによる解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 20K10237, 2021.

- 6) 武藤徳子, 石井信之, 大島勇人: 歯髄治癒過程における神経伝達物質と自然免疫制御による象牙質再生機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 21K09883, 2021.
- 7) 勝見祐二, 大島勇人: 解剖体頭部 CT による舌神経 3 次元的走行経路と筋間隙との関係性の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 19K10283, 2021.
- 8) 大島勇人, 佐藤雅彦, 高見寿子: 解剖学模型の開発. 共同研究, 2021.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) 依田浩子: 細胞内外環境による硬組織形成細胞の分化制御機構. 第 63 回歯科基礎医学会学術大会ライオン学術賞講演, Web 開催, 2021 年 10 月 9-17 日. J Oral Biosci Suppl 2021, p.39, 2021.
- 2) 大島勇人: 若手研究者のための英語による科学論文作成の TIPS. 第 63 回歯科基礎医学会学術大会教育講演 (後援: エルゼビア・ジャパン株式会社/座長: 網塚憲生), Web 開催, 2021 年 10 月 9-17 日. J Oral Biosci Suppl 2021, p.39, 2021.
- 3) 近藤信太郎, 大島勇人: イントロダクション: 歯の鑑別の新展開. 第 63 回歯科基礎医学会学術大会アップデートシンポジウム (座長: 近藤信太郎, 大島勇人), Web 開催, 2021 年 10 月 9-17 日. J Oral Biosci Suppl 2021, p.83, 2021.
- 4) 常木雅之: 人工知能による歯科医療の未来. 第 63 回歯科基礎医学会学術大会アップデートシンポジウム (座長: 近藤信太郎, 大島勇人), Web 開催, 2021 年 10 月 9-17 日. J Oral Biosci Suppl 2021, p.87, 2021.
- 5) 大島勇人: 平易かつ洗練された表現で情報を伝えるためのヒント. 歯科基礎医学会・エルゼビア共催オンラインセミナー「自分の論文を広く読んでもらうためには」, Web 開催, 2021 年 12 月 17 日.
- 6) 大島勇人: オーバービュー: 骨再建を生物学的に考察する, 第 21 回日本再生医療学会総会, シンポジウム「新しく開発された生体材料による骨再生研究の最前線」(座長本田雅規, 大島勇人), 第 21 回日本再生医療学会総会, Web 開催, 2022 年 3 月 17-19 日.
- 7) 依田浩子: オートファジー不全によるエナメル上皮幹細胞の動態, Web 開催, 2022 年 3 月 27-29 日. 第 127 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 2022.

#### 【学会発表】

- 1) Toyokawa G, Kanavati F, Momosaki S, Tateishi K, Takeoka H, Okamoto M, Yamazaki K, Takeo S, Iizuka O, Tsuneki M: Deep learning to predict subtypes of poorly differentiated lung cancer from biopsy whole slide images. 2021 ASCO Annual Meeting, online (Chicago, USA). J Clin Oncol 39(15): Suppl 8536, 2021.
- 2) Kanavati F, Tsuneki M: Partial transfusion: on the expressive influence of trainable batch norm parameters for transfer learning. MIDL 2021, online (Lübeck, German) I10 (Oral presentation: Transfer Learning and Domain Adaptation), 2021. 7. 9.
- 3) Ohshima H, Imai C, Sano H, Quispe-Salcedo A, Saito K, Nakatomi M, Ida-Yonemochi H, Okano H: Role of GFP-positive subodontoblastic layer in the process of odontoblast-like cell differentiation after tooth drilling in Nestin-enhanced GFP transgenic mice. ISSCR/JSRM 2022 Tokyo International Symposium Virtual Meeting, Web 開催, 2021. 10. 27-29.
- 4) Suzuki K, Makishi S, Ida-Yonemochi H, Ohshima H: Osteopontin and root development stage are essential for pulpal healing following tooth replantation. 令和 3 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2021 年 7 月 10 日. 新潟歯学会雑誌 51(2), 2021.
- 5) 佐野拓人, 大島邦子, 岡田康男, 佐藤拓一, 大島 勇人: 髄床底部への意図的穿孔形成がマウス臼歯再植後の歯髄治癒過程に及ぼす影響. 第 63 回歯科基礎医学会学術大会, Web 開催, 2021 年 10 月 9-17 日. J Oral Biosci Suppl 2021, p.314, 2021.
- 6) 勝見祐二, 高木律男, 大島勇人: 解剖体頭部 CT による舌神経 3 次元的走向と筋間隙との関係性の解明. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会, Web 開催, 2021 年 11 月 12-14 日.
- 7) Suzuki K, Makishi S, Nakatomi M, Saito K, Ida-Yonemochi H, Ohshima H: OPN is necessary for proper inflammation and revascularization to deposit dentin in replanted teeth. 第 21 回日本再生医療学会総会, Web 開催, 2022 年 3 月 17-19 日.
- 8) 高見寿子, 小林優佳, 真喜志佐奈子, 勝見祐二, 佐藤 昇, 大島勇人: 新しい解剖術式: 表情筋と Fascia の層構造と口底部解剖学. 第 127 回日本解剖学会総会・全国学術集会, Web 開催, 2022 年 3 月 27-29 日. 第 127 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 2022.

#### 【受賞】

- 1) 依田浩子: 細胞内外環境による硬組織形成細胞の分

化誘導機構の解明. 歯科基礎医学会令和3年(2021)ライオン学術賞.

2) 依田浩子: 令和3年度新潟大学優秀論文表彰.

#### 【その他】

- 1) Ohshima H: Vice Editor-in-Chief, Journal of Oral Biosciences
- 2) Ohshima H: Section Editor, Regenerative Therapy
- 3) Ohshima H: Editorial Board, Frontiers in Physiology
- 4) Ida-Yonemochi H: Editorial Board, Frontiers in Physiology
- 5) Ida-Yonemochi H: Managing Editor, Anatomical Science International
- 6) Tsuneki M: Associate Editor, Technology in Cancer Research & Treatment
- 7) Tsuneki M: Guest Editor, Diagnostics (Basel) Ida-Yonemochi H: Editorial Board, Frontiers in Physiology
- 8) 依田浩子: 文部科学省 科学技術専門調査員.
- 9) 依田浩子: 令和3年度新潟大学女性研究者開花プラン(桜プラン) 育成対象
- 10) Ohshima H: Act on the Safety of Regenerative Medicine in Japan and its implication in dentistry, PRP/PRF Symposium Pre Congress Tokyo Japan 2021 「各分野での世界での最近の傾向」～各医療分野での効果～, Web 開催, 2021年6月6日.
- 11) 大島勇人: エンドドンティクス. 神奈川歯科大学特別講義, 横須賀, 2021年9月7日.
- 12) 近藤信太郎, 大島勇人: (企画) 第63回歯科基礎医学会学術大会アップデートシンポジウム 歯の鑑別の新展開, 1. 近藤信太郎, 大島勇人: イントロダクション: 歯の鑑別の新展開; 2. 森田 航, 森本直記: 形態地図法による大白歯の鑑別; 3. 青木伸一郎, 伊藤孝訓: 歯の鑑別について事象関連電位(ERP)を用いた認知心理学的解析; 4. 五十嵐由里子, 近藤信太郎, 内木場文男, 金子美泉, 栗飯原萌: ディープラーニングを用いた歯の鑑別; 5. 常木雅之: 人工知能による歯科医療の未来, Web 開催, 2021年10月9-17日. J Oral Biosci Suppl 2021, p. 83-87, 2021.
- 13) 大島勇人: 組織学の研究法. 新潟大学医学部保健学科特別講義, 新潟, 2021年11月5日.
- 14) Ida-Yonemochi H: Role of glucose metabolism in dental and craniofacial development, 2021-2 INNO-Dent Convergence Bioscience II, Yonsei Univ, Web 開催, 2021年12月9日.
- 15) 依田浩子: 歯の形態形成におけるエネルギー代謝調節機構. 岩手医科大学大学院特別セミナー, 矢巾, 2022年2月1日.

16) 大島勇人: 外的侵襲後の象牙芽細胞様細胞分化過程を考える. 東京医科歯科大学大学院特別セミナー, 東京, 2022年2月3日.

17) 大島勇人: デンタルインプラント埋入後のオッセオインテグレーション獲得過程の生物学的考察と再生医療等安全性確保法で考慮すべき歯科再生治療について. 東京形成歯科研究会主催 JSOI 認定講習会, Web 開催, 2022年2月20日.

18) 原田英光, 依田浩子: (企画) 第127回日本解剖学会総会・全国学術集会, シンポジウム 幹細胞制御のメカニズムの発見から考える新規幹細胞概念の構築, 1. 依田浩子: オートファジー不全によるエナメル上皮幹細胞の動態; 2. 大津圭史, 原田英光: 低酸素環境による幹細胞制御機構とエネルギー代謝・エピジェネティクスとの関連; 3. Eun-Jung Kim, Han-Sung Jung: USP49 as a novel regulator for tooth development; 4. 沖 真弥: Photo-isolation chemistryによる局所的高深度トランスクリプトーム解析; 5. 阿久津英憲, 福田 篤: ヒト多能性幹細胞におけるX染色体不活性化の破綻, Web 開催, 2022年3月27-29日. 第127回日本解剖学会総会・全国学術集会講演プログラム・抄録集, 2022.

19) 本田雅規, 大島勇人: (企画) 第21回日本再生医療学会総会, シンポジウム 新しく開発された生体材料による骨再生研究の最前線, 1. 大島勇人: オーバービュー: 骨再建を生物学的に考察する; 2. 本田雅規: ヒトI型コラーゲン様リコンビナントペプチドの骨再生への応用; 3. 住田吉慶: 歯槽骨再生治療を対象とした骨誘導性遺伝子活性化基質の開発研究; 4. 高橋 哲: 歯科・口腔外科治療を目的とした骨再生誘導材(リン酸オクタカルシウム・コラーゲン複合体)の開発; 5. 宮本洋二: 新規骨補填材としての炭酸アパタイトの現状と骨再生医療への展開, Web 開催, 2022年3月17-19日.

#### 口腔病理学分野

##### 【著 書】

- 1) 田沼順一: 口腔細胞診入門 歯科医院で取り組むLBC(田沼順一, 松坂賢一編者), 1-124頁, 医歯薬出版, 東京, 2021.
- 2) 田沼順一: わかりやすい病理学(恒吉正澄(監修), 小田義直, 相島慎一編者), 改訂第7版 第10章 感覚器官(聴器・視器), 287-294頁, 南江堂, 東京, 2021.
- 3) 田沼順一: 新口腔病理学(下野正基, 高田 隆, 田沼順一, 豊澤 悟編者), 第3版第10章臨床症状

から見た口腔粘膜疾患,143-161 頁, 医歯薬出版, 東京, 2021.

- 4) 田沼順一: 今すぐ簡単に患者さんや地域に貢献できる口腔細胞診, 新潟県歯科医師会, 歯科訪問診療マニュアル. 50-57 頁, 2021
- 5) 丸山 智: 口腔癌 update 免疫組織化学の導入による口腔上皮性異形成・上皮内癌の客観的病理組織診断の均霽化. 病理と臨床, vol. 40, no. 1, 36-40 頁, 文光堂, 東京, 2022.
- 6) 田沼順一, 橋本和彦, 佐々木文: 連載第 6 回 鑑別の森 口腔上皮の反応異型と上皮内扁平上皮癌. 病理と臨床, vol. 40, no. 3, 281-286 頁, 文光堂, 東京, 2022.

#### 【論文】

- 1) Maeda SI, Fujiwara K, Tomihara K, Yamazaki M, Imaue S, Noguchi M. A case of anti-laminin 332 mucous membrane pemphigoid manifesting as desquamative gingivitis. *Oral Sci. Int* 18 (1): 73-77, 2021.
- 2) Kawaharada M, Katagiri W, Maruyama S, Nishiyama H, Hayashi T, Kobayashi T, Tanuma J. Low-grade myofibroblastic sarcoma of the tongue with difficulty of diagnosis: A case report and review of the literature. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 33 (1): 93-47, 2021.
- 3) Kiguchi T, Kakihara Y, Yamazaki M, Katsura K, Izumi K, Tanuma J, Saku T, Takagi R, Saeki M. Identification and characterization of R2TP in the development of oral squamous cell carcinoma. *Biochemical Biophys Res Commun* 548: 161-166, 2021.
- 4) Maruyama S, Mori T, Yamazaki M, Abé T, Ryo E, Kano H, Hasegawa G, Tanuma JI. Central mucoepidermoid carcinoma arising directly from a glandular odontogenic cyst of the mandible: a case report. *Diagn Pathol* 16 (1):61, 2021. doi: 10.1186/s13000-021-01124-0.
- 5) Haga K, Yamazaki M, Maruyama S, Kawaharada M, Suzuki A, Hoshikawa E, Nyein Nyein Chan, Izumi K, Tanuma J. Crosstalk between oral squamous cell carcinoma cells and cancer-associated fibroblasts via the TGF- $\beta$ /SOX9 axis in cancer progression. *Transl Oncol* 14 (12): 101236, 2021. doi:10.1016/j.tranon.
- 6) Kawaharada M, Maruyama S, Abé T, Yamazaki M, Kurokawa A, Katagiri W, Takagi R, Hayashi T, Kobayashi T, Tanuma J. Other iatrogenic immunodeficiency-associate lymphoproliferative disorders in the oral cavity: a clinicopathologic study of 4 cases and literature review. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol* 132(6): 687-697, 2021.
- 7) Takeuchi R, Funayama A, Oda Y, Abé T, Yamazaki M,

Maruyama S, Hayashi T, Tanuma J, Kobayashi T.

Melanotic neuroectodermal tumor of infancy in the mandible: A case report. *Medicine* 100(50): e28001, 2021.

- 8) Ueno H, Hayashi M, Nagumo S, Ichikawa K, Aoki N, Ohshima Y, Watanabe S, Koya T, Abé T, Ohashi R, Ajioka Y, Kikuchi T. Disseminated Varicella-zoster Virus Infection Causing Fatal Pneumonia in an Immunocompromised Patient with Chronic Interstitial Pneumonia: A Case Report. *Intern Med* 60(7): 1077-1082. 2021.
- 9) Kawaharada M, Yamazaki M, Maruyama S, Abé T, Nyein Nyein Chan, Kitano T, Kobayashi T, Maeda T, Tanuma J. Novel cytological model for the identification of early oral cancer diagnostic markers: The carcinoma sequence model. *Oncol Lett* 23(3): 1-9, 2022.
- 10) 田中花菜, 中野麻恵, 島田能史, 阿部達也, 梅津哉, 松本瑛生, 荒引みちる, 阿部 馨, 小柳英人, 中野雅人, 平井裕美子, 大関 瑛, 茂木大輔, 峠 弘治, 山本 潤, 三浦宏平, 市川 寛, 滝沢一泰, 坂田 純, 小林 隆, 若井 俊. 術前化学放射線療法後に腹腔鏡下腹会陰式直腸切断術を施行した痔瘻癌の 1 例. 癌と化学療法 48 (12):1515-1517, 2021.
- 11) 田沼順一: 口腔細胞診のベセスダシステムと LBC 法の標本作製-NILM, LSIL, HSIL および SCC の鑑別点. *診断病理* 38 (2): 136-145, 2021.
- 12) 須田大亮, 竹内玄太郎, 丸山 智, 小林正治, 加納浩之. 広範な口腔潰瘍を契機に診断に至った多発性血管炎性肉芽腫症の 1 例. *日口外会誌* 68: 8-14, 2022.

#### 【研究費獲得】

- 1) 田沼順一: クリニカルシーケンス実現へ向けた舌癌多段階発がんモデルにおける基礎的研究. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 19K10069, 2021.
- 2) 丸山 智: 細胞外基質環境下における腫瘍特異的な CD73 誘導低酸素応答性増殖機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 21K10109, 2021.
- 3) 山崎 学: 死細胞貪食による口腔がん細胞活性化: 脂質クオリティが果す役割を探る. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 21K09856, 2021.
- 4) 阿部達也: 口腔扁平上皮癌の間質浸潤と側方上皮進展: その相反的制御と分子基盤. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 21K09841, 2021.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) 田沼順一：ワークショップ「口腔領域細胞診」．第7回宮崎県臨床細胞学会総会・学術集会, Web 開催, 2021年2月20-21日．
  - 2) 田沼順一：総会学術集会 特別講演1「口腔細胞診の診断における現状と問題点」．第7回宮崎県臨床細胞学会総会・学術集会, Web 開催, 2021年2月20-21日．
  - 3) 田沼順一：「口腔細胞診の診断における現状と問題点」．令和2年度 健診従事職員研修会 新潟県健康づくり財団, Web 開催, 2021年3月15日．
  - 4) 田沼順一：特別講演 口腔細胞診の現状と問題点-口腔がん早期発見に向けた口腔細胞診- 新潟県歯科医師会, 口腔がん（口腔粘膜疾患）研修会, .WEB 開催, 2021年3月31日-4月2日．
  - 5) 田沼順一：特別講演 口腔細胞診の現状と問題点-口腔がん早期発見に向けた口腔細胞診- 新潟県歯科医師会, 新潟市, 2021年5月13日．
  - 6) 山崎 学：若手シンポジウム2（口腔腫瘍研究の最前線）口腔扁平上皮癌における死細胞を起点とした腫瘍進展機序. 第32回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, Web 開催, 2021年8月12-14日. 同学会総会・学術大会抄録集: 47-48頁, 2021.
  - 7) 丸山 智：講演 口腔領域の上皮性異形成・上皮内癌について. 第12回新潟県臨床細胞学会研修会（ハイブリット開催）, 南魚沼市, 2021年8月28日．
  - 8) 丸山 智：講演 WS16 前癌病変としての上皮性異形成の診断, 治療, 予後 -特に high-grade dysplasia について -. WS16-1 臨床及び免疫組織化学的解析に基づく口腔上皮性異形成の客観的病理組織診断の均霑化をめざして. 第40回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会（WEB 開催）, 2022年2月14日-3月13日. 同学会総会・学術大会プログラム抄録集: 158頁, 2022.
  - 9) 田沼順一：講演 WS14 画像で切除範囲の正確な決定は可能か? - 口腔癌深達度の discrepancy をどう読むか -. WS24-4 “画像診断で正確な切除範囲の決定は可能なのか” に対する病理学的見解. 第40回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会（WEB 開催）, 2022年2月14日-3月13日. 同学会総会・学術大会プログラム抄録集: 184頁, 2022.
- 【学会発表】**
- 1) Takamura M, Kobayashi T, Nikkuni Y, Katsura K, Yamazaki M, Maruyama S, Tanuma J, Hayashi T. A comparative study between CT, MRI, and intraoral US for the evaluation of the depth of invasion in early stage (T1/T2) tongue squamous cell carcinoma. The 23rd International Congress of Dentomaxillofacial Radiology. April 28 - May 1, 2021. Gwangju, KOREA.
  - 2) 岸本直隆, 今井有蔵, 小山祐平, 氏田倫章, 沢田詠見, 山崎 学, 田沼順一, 武内恒成, 瀬尾憲司. 脂肪組織由来幹細胞に由来する cell extract の末梢神経再生における active component の解析. 第20回日本再生医療学会総会, Web 開催, 2021年3月11-13日. 同学会総会抄録集: 6頁, 2021.
  - 3) 小山祐平, 岸本直隆, 山崎 学, 今井有蔵, 氏田倫章, 沢田詠見, 田沼順一, 瀬尾憲司. 脂肪組織由来幹細胞からの cell extract が末梢神経再生に及ぼす効果. 第20回日本再生医療学会総会, Web 開催, 2021年3月11-13日. 同学会総会抄録集: 11頁, 2021.
  - 4) 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 河原田壮史, ニェイン ニェイン チャン, 田沼順一：低酸素環境下でCD73は唾液腺多形腺腫由来細胞の増殖及び遊走を亢進する. 第110回日本病理学会総会, Web 開催, 2021年4月22-24日. 同総会プログラム・抄録集: 276頁, 2021.
  - 5) 河原田壮史, 山崎 学, 丸山 智, 阿部達也, 田沼順一. LBC法に発癌モデルを応用して見出した c-Myc を起点とした口腔がんバイオマーカーの検索. 第62回日本臨床細胞学会総会（春期大会）次世代の細胞診を考える. Web 開催, 2021年6月18-7月11日.
  - 6) 阿部達也, 山崎 学, 丸山 智, 河原田壮史, Nyein Nyein Chan, 北野太一, 田沼順一. 乳児に発生した下顎腫瘍の1例. 第92回日本病理学会東北支部学術集会, Web 開催, 2021年7月10日, 同学術集会プログラム: 20頁, 2021.
  - 7) 河原田壮史, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 黒川亮, 片桐 渉, 林 孝文, 高木律男, 小林正治, 田沼順一. 口腔領域に発症した OI-LPD 4例の臨床病理学的検討と最近15年間の文献的考察. 令和3年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2021年7月10日.
  - 8) 北野太一, 山崎 学, 丸山 智, 阿部達也, 新國農, 河原田壮史, Nyein Nyein Chan, 林 孝文, 小林正治, 田沼順一. 乳児に発生した下顎骨腫瘍の1例. 第32回臨床口腔病理学会総会・学術大会, Web 開催, 2021年8月12-14日. 同学会総会・学術大会抄録集: 78頁, 2021.
  - 9) 阿部達也, 山崎 学, 丸山 智, 田沼順一：口腔扁平上皮癌における ladinin-1 の細胞遊走および上皮-間葉転換制御機能. 第17回日本病理学会カンファレンス 2021 新潟, Web 開催, 2021年8月21-22日. 同総会プログラム・抄録集: 41頁, 2021.

- 10) 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 田沼順一: 低酸素応答性 CD73 は唾液腺多形腺腫由来細胞の増殖及び遊走を亢進する. 第 17 回日本病理学会カンファレンス 2021 新潟, Web 開催, 2021 年 8 月 21-22 日. 同総会プログラム・抄録集: 43 頁, 2021.
- 11) 河原田壮史, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 田沼順一. 口腔領域に発症した「その他の医原性免疫不全関連リンパ増殖性疾患 (OI-LPD)」4 例の臨床病理学的検討と最近 15 年間の文献的考察. 第 29 回硬組織再生生物学会学術大会・総会, Web 開催, 2021 年 8 月 28 日. 同学会総会・学術大会抄録集: 26 頁, 2021.
- 12) 阿部達也, 山崎 学, 丸山 智, 田沼順一. 口腔上皮癌における上皮-間葉転換制御と上皮内進展・間質浸潤. 第 63 回歯科基礎医学会学術大会, Web 開催, 2021 年 10 月 9-11 日, 同学術集プログラム: 142 頁, 2021.
- 13) 河原田壮史, 山崎 学, 丸山 智, 阿部達也, 北野太一, Nyein Nyein Chan, 小林正治, 田沼順一. 口腔がん早期診断用マーカーの同定に向けた新規発がんモデルの作製. 令和 3 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟市, 2021 年 11 月 6 日.
- 14) 河原田壮史, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 北野太一, 田沼順一. 口腔細胞診の診断精度向上を目的としたマーカーの探索 舌癌ラットモデルを用いて. 第 60 回日本臨床細胞学会秋期大会, Web 開催, 2021 年 11 月 20 日-1 月 13 日. 日本臨床細胞学会雑誌, 60 (補 2): 48 頁, 2021.
- 15) 内藤絵里子, 小林亮太, Orakarn Suebsamaen, 羽賀健太, 鈴木絢子, 齋藤夕子, 山崎 学, 田沼順一, 井川和代, 富原 圭, 泉 健次. 正常口腔粘膜細胞と口腔癌細胞を用いた 3 次元 *in vitro* モデル作製法とその応用. 第 57 回口腔組織培養学会学術大会, Web 開催, 2021 年 11 月 6 日. 同学会・学術大会抄録集, 2021.
- 16) Annenkov Alexey, 阿部達也, 大橋瑠子, 梅津 哉, 味岡洋一. 胃腫瘍・前立腺腫瘍の 1 例. 第 93 回日本病理学会東北支部学術集会, Web 開催, 2022 年 2 月 26-27 日, 同学術集プログラム: 24 頁, 2022.

#### 【その他】

- 1) Tanuma J: Role of TGFβ/SOX9 axis in carcinogenesis in vitro and in vivo models. NEWS RELEASE. EurekAlert!, AAAS, October 24th, 2021.
- 2) Sakurai K, Nakamori K, Yamazaki M, Tanuma J. Corrigendum to “An ectomesenchymal chondromyxoid tumour on the lateral border of the tongue” [Int J Oral

Maxillofac Surg 49 (2020) 1290–1203]. Int J Oral Maxillofac Surg, 50 (12): 1653. 2021.

#### 歯科薬理学分野

#### 【原著論文】

- 1) Masuki H, Uematsu T, Kawabata H, Sato A, Watanabe T, Tsujino T, Nakamura M, Okubo M, Kawase T\*. Responses of promyelocytic leukemia HL60 cells as an inflammatory cell lineage model to silica microparticles used to coat blood collection tubes. Int J Implant Dent, in press.
- 2) Aizawa H, Uematsu T, Sato A, Masuki H, Kawabata H, Tsujino T, Isobe K, Kitamura Y, Nagata M, Nakata K, Kawase T\*. Non-destructive, spectrophotometric analysis of the thickness of the cell-multilayered periosteal sheet. Int J Implant Dent, in press. doi.org/10.1186/s40729-022-00419-1
- 3) Uematsu T, Sato A, Aizawa H, Tsujino T, Watanabe T, Isobe K, Kawabata H, Kitamura Y, Tanaka T, Kawase T\*. Effects of SARS-Cov-2 mRNA-vaccination on platelet polyphosphate levels and inflammation: a pilot study. Biomed Rep, 16(3):21; 2022.
- 4) Okamoto K\*, Kakihara Y, Ohkura N, Tohma A, Washio A, Kitamura C, Noiri Y, Yamamura K, Saeki M. Effects of rice fermented extracts, "Sake Lees", on the functional activity of odontoblast-like cells (KN-3 cells). Odontology, 110(2):254-261; 2022.
- 5) Shirakata Y\*, Sena K, Nakamura T, Shinohara Y, Imafugi T, Setoguchi F, Noguchi K, Kawase T, Miron R. Histological evaluation of gingival and intrabony periodontal defects treated with platelet-rich fibrin using different protocols: A canine study. Oral Health and Preventive Dentistry, 19:537-546; 2021.
- 6) Crisci A\*, Kawase T, D'adamio R, Crisci M. Quantification of platelets and leukocytes in solid blood platelet concentrates for surgical use: study of an experimental technique. Chirurgia, 34(4):141-53; 2021.
- 7) Watanabe T, Kitamura Y, Aizawa H, Masuki H, Tsujino T, Sato A, Kawabata H, Isobe K, Nakata K, Kawase T\*. Fluorometric

quantification of human platelet polyphosphate using 4',6-Diamidino-2'-phenylindole dihydrochloride: application in Japanese population. *Int J Mol Sci*, 22(14): 7257; 2021.

- 8) Okamoto K\*, Hasegawa M, Piriyaprasath K, Kakihara Y, Saeki M, Yamamura K. Preclinical models of deep craniofacial nociception and temporomandibular disorder pain. *Jpn Dent Sci Rev*. 57:231-241; 2021.
- 9) Nakamura A, Kakihara Y\*, Funayama A, Haga K, Mikami T, Kobayashi D, Yoshida Y, Izumi K, Kobayashi T, Saeki M. HEATR1, a novel interactor of Pontin/Reptin, stabilizes Pontin/Reptin and promotes cell proliferation of oral squamous cell carcinoma. *Biochem Biophys Res Commun*, 557:294-301; 2021.
- 10) Kiguchi T, Kakihara Y\*, Yamazaki M, Katsura K, Izumi K, Tanuma JI, Saku T, Takagi R, Saeki M. Identification and characterization of R2TP in the development of oral squamous cell carcinoma. *Biochem Biophys Res Commun*, 548:161-166; 2021.
- 11) Miron RJ\*, Moraschini V, Fujioka-Kobayashi M, Zhang Y, Kawase T, Cosgarea R, Jepsen S, Bishara M, Canullo L, Shirakata Y, Gruber R, Calasans-Maia MD, Wang H-L, Sculean A. Use of Platelet-Rich Fibrin for the treatment of periodontal intrabony defects: A systematic review and meta-analysis. *Clin Oral Invest*, 25(5):2461-2478.

#### 【総説・オピニオン他】

- 1) Kawase T\*. (Editorial) A strategic and worldwide cooperative challenge required for the next generation of platelet concentrates. *Int J Mol Sci* 23(7):3437; 2022.

#### 【著書】

- 1) 石川知弘, 和泉雄一, 川瀬知之, ほか. 歯周治療のコンセンサス (3) 歯周再生治療 編集: 吉江弘正, 二階堂雅彦, 畑めぐみ. インターアクション (東京), 2021.

#### 【学会発表】

- 1) 佐藤 篤, 渡辺泰典, 北村 豊, 磯邊和重, 川端秀男, 増木英郎, 上松隆司, 川瀬知之. 4',6-diamidino-2-phenylindole をプローブとしたヒト血小板に含まれるポリリン酸の細胞化学的蛍光

観察法と蛍光定量法の最適化. 日本口腔インプラント学会第41回関東甲信越支部学術大会 (日大, Live & オンデマンド Web 開催, 2022.2.26-3.4.)

- 2) 柿原嘉人, 佐伯万騎男. ROCKs 阻害による骨芽細胞分化促進メカニズムの解析. 第72回日本薬理学会北部会 (Web 開催, 2021.9.23)
- 3) 川端秀男, 相澤八大, 渡辺泰典, 増木英郎, 佐藤 篤, 北村 豊, 奥寺 元, 川瀬知之. PRP の品質と効力に及ぼす抗凝固剤に関する比較研究. 第51回日本口腔インプラント学会学術大会 (広島大, Web 開催, 2021.12.17-26.)
- 4) 中村雅之, 磯邊和重, 渡辺泰典, 辻野哲弘, 増木英郎, 上松隆司, 奥寺 元, 川瀬知之. リン酸カルシウムによるプラスト処理が血小板のチタン表面接着に及ぼす影響. 第51回日本口腔インプラント学会学術大会 (広島大, Web 開催, 2021.12.17-26.)

#### 【特許出願】

- 1) 佐伯万騎男, 斎藤功, 柿原嘉人, 中田樹里, 秋葉陽介. 歯牙移動促進剤及び矯正歯科治療用キット. 特許第 6994243 号

#### 【研究費獲得】

- 1) 佐伯万騎男, 柿原嘉人, 小林正治: 低酸素微小環境を標的としたコルジセピン誘導体による口腔がん治療の検討. 日本学術振興会科学研究費補助金 基礎研究(C), 21K10087, 2021

#### 包括歯科補綴学分野

#### 【著書】

- 1) 小野高裕: 2. 咬合と口腔機能の評価. 1-咬合の評価, 2-舌機能の評価. 老年歯科医学 第2版 (森戸光彦, 山根源之, 櫻井 薫, 羽村 章, 下山和弘, 柿木保明 編), 221-227, 医歯薬出版, 東京, 2022 Mar.
- 2) 小野高裕: 第7章 診察, 検査, 診断. III. 診断と治療計画の立案. 無歯顎補綴治療学 第4版 (市川哲雄, 大川周治, 大久保力廣, 水口俊介 編), 90-97, 医歯薬出版, 東京, 2022 Feb.
- 3) 小野高裕: 10. サバイビングと設計. パーシャルデンチャーテクニック 第6版 (大久保力廣, 岡崎定司, 馬場一美, 山下秀一郎, 横山敦郎 編), 78-81, 183, 医歯薬出版, 東京, 2021 Sep.

## 【論文】

- 1) Uehara F, Hori K\*, Hasegawa Y, Yoshimura S, Hori S, Kitamura M, Akazawa K, Ono T: Impact of masticatory behaviors measured with wearable device on metabolic syndrome: cross sectional study. *JMIR mHealth and Health* 10(3):e30789, doi: 10.2196/30789, 2022 Mar.
- 2) Yoshimura S, Hori K\*, Uehara F, Hori S, Yamaga Y, Hasegawa Y, Akazawa K, Ono T: Relationship between body mass index and masticatory factors evaluated with a wearable device. *Scientific Reports* 8;12(1):4117, doi: 10.1038/s41598-022-08084-5, 2022 Mar.
- 3) Marito P, Hasegawa Y\*, Tamaki K, Sta.Maria MT, Yoshimoto T, Kusunoki H, Tsuji S, Wada Y, Ono T, Sawada T, Kishimoto H, Shinmura K: The association of dietary intake, oral health, and blood pressure in older adults: a cross-sectional observational study. *Nutrients* 17;14(6):1279. doi: 10.3390/nu14061279, 2022 Mar.
- 4) Murakami K, Hori T, Uehara F, Salazar S, Ishihara S, Nakauma M, Funami T, Ono T: Effect of maximal voluntary tongue pressure and mechanical properties of gels on tongue pressure production when squeezing gels. *Food Hydrocolloids* doi.org/10.1016/j.foodhyd.2021.107323, 2022 Mar.
- 5) Murotani Y, Hatta K, Takahashi T, Gondo Y, Kamide K, Kabayama M, Masui Y, Ishizaki T, Matsuda KI, Mihara Y, Fukutake M, Nishimura Y, Akema S, Hagino H, Higashi K, Togawa H, Maeda Y, Ogata S, Moynihan P, Ikebe K: Oral Functions Are Associated with Muscle Strength and Physical Performance in Old-Old Japanese. *Int J Environ Res Public Health* 15;18(24), 2021 Dec
- 6) Murakami K, Hori K, Yoneda H, Sato N, Suwanarpa K, Sta Maria MT, Marito P, Nokubi P, Ono T: Compatibility of two types of gummy jelly tests for detecting decreased masticatory function. *Gerodontology* 2022;39(1):10-6, 2021 Nov.
- 7) Ogawa M, Sugiyama T, Ohkubo M, Hori K, Ono T, Ishida R: Clarification of the aspects of tongue-palate contacts during mastication with/without stage II transport. *Journal of Oral Rehabilitation* 48:1252-1261, 2021 Nov
- 8) Fushida S, Kosaka T\*, Nakai M, Kida M, Nokubi T, Kokubo Y, Watanabe M, Miyamoto Y, Ono T, Ikebe K: Lower Masticatory Performance Is a Risk for the Development of the Metabolic Syndrome: The Suita Study. *Frontiers in Cardiovascular Medicine* doi.org/10.3389/fcvm.2021.752667, 2021 Nov.
- 9) Fukuoka T, Ono T, Hori K, Kariyasu M: Effects of Tongue Strengthening Exercise on Tongue Strength and Effortful Swallowing Pressure in Young Healthy Adults: A Pilot Study. *Journal of Speech, Language, and Hearing Research* 65(5):1686-1696, doi: 10.1044/2022\_JSLHR-21-00331.
- 10) Kodama S, Fujiwara S, Okawa J, Shitara S, Hori K, Ono T\*. (2021): Modulation of tongue motion and tongue pressure during liquid swallowing with different bolus volumes. *Journal of Oral Rehabilitation* 48: 1243-1251, 2021 Nov
- 11) Hasegawa Y, Tsuji S, Nagai K, Sakuramoto-Sadakane A, Tamaoka J, Oshitani M, Ono T, Sawada T, Shinmura K, Kishimoto H: The relationship between bone density and the oral function in older adults: a cross-sectional observational study. *BMC geriatrics* 21(1) 591-591 2021 Oct.
- 12) Arita S, Gonda T, Togawa H, Maeda Y, Ikebe K: Influence of mandibular distal extension implant-supported removable partial dentures on the force exerted on maxillary anterior teeth. *J Prosthodont Res.* 15;65(4):541-545, 2021 Oct.
- 13) Kosaka T, Ono T, Kida M, Fushida S, Nokubi T, Kokubo Y, Watanabe M, Miyamoto Y, Ikebe K: Deterioration of periodontal status affects declines in masticatory performance: The Suita study. *Journal of Clinical Periodontology* 48:1208-1215, 2021 Sep.
- 14) Nakao Y, Uchiyama Y, Honda K, Hasegawa Y, Nanto T, Jomoto W, Domen K: Tongue pressure waveform analysis for ascertaining the influence of tongue muscle composition on articulation. *Journal of oral rehabilitation* 48(12) 1347-1353 2021 Sep.
- 15) Salazar S, Hasegawa Y, Kikuchi S, Kaneda K, Yoneda H, Nokubi T, Hori K, Ono T: The impact of a newly constructed removable denture on the objective and subjective masticatory function. *Journal of Prosthodontic Research* 65:346-352, 2021 Aug.
- 16) Fushida S, Kosaka T, Kida M, Kokubo Y, Watanabe M, Higashiyama A, Miyamoto Y, Ono T, Ikebe K: Decrease in occlusal support area can accelerate tooth loss: the Suita study. *Journal of Prosthodontic Research* 65:321-326, 2021 Aug.
- 17) Hori K, Uehara F, Yamaga Y, Yoshimura S, Okawa J, Tanimura M, Ono T: Reliability of a novel wearable device to measure chewing frequency. *Journal of Prosthodontic Research* 65:340-345, 2021 Aug.
- 18) Fujiwara S, Hori K, Shitara S, Okawa J, Kodama S, Murakami K, Ono T: Effect of hard gummy candy chewing on masticatory function. *Journal of Oral Rehabilitation* 48:909-915, 2021 Aug.



- 19) Jiang CM, Chu CH, Duangthip D, Ettinger RL, Hugo FN, Kettratad-Pruksapong M, Liu J, Marchini L, McKenna G, Ono T, Rong W, Schimmel M, Shah N, Slack-Smith L, Yang SX, Lo EC.: Global Perspectives of Oral Health Policies and Oral Healthcare Schemes for Older Adult Populations. *Frontiers in Oral Health*, doi.org/10.3389/froh.2021.703526, 2021 Aug.
- 20) Kusunoki H, Tabara Y, Tsuji S, Wada Y, Tamaki K, Nagai K, Itoh M, Sano K, Amano M, Maeda H, Sugita H, Hasegawa Y, Kishimoto H, Shimomura S, Igase M, Shinmura K: Estimation of Muscle Mass Using Creatinine/Cystatin C Ratio in Japanese Community-Dwelling Older People. *Journal of the American Medical Directors Association* 23(5):902.e21-902.e31. doi: 10.1016/j.jamda.2021.07.029, 2021 Aug.
- 21) Sadakane-Sakuramoto A, Hasegawa Y\*, Sugahara K, Horii N, Saito S, Nakao Y, Nanto T, Ono T, Domen K, Kishimoto H: Change in nutritional status and dysphagia after resection of head and neck cancer. *Nutrients* 13:2438, 2021 Jul.
- 22) Murakami K, Tokuda Y, Hori K, Minagi Y, Uehara F, Okawa J, Ishihara S, Nakauma M, Funami T, Maeda Y, Ikebe K, Ono T: Effect of fracture properties of gels on tongue pressure during different phases of squeezing and swallowing. *Journal of Texture Studies* 52:303-313. 2021 Jun.
- 23) Yoshimoto T, Hasegawa Y, Salazar S, Kikuchi S, Hori K, Ono T: Factors affecting masticatory satisfaction in patients with removable partial dentures. *International Journal of Environmental Research and Public Health* 18: 6620, 2021 Jun.
- 24) Kosaka T, Ono T, Kida M, Fushida S, Nokubi T, Kokubo Y, Watanabe M, Higashiyama A, Miyamoto Y, Ikebe K: Association between declines in objective masticatory performance and salivary stress markers: The Suita study. *Journal of Oral Rehabilitation* 48:575-581, 2021 May.
- 25) Swarnarpa K, Hasegawa Y, Salazar S, Kikuchi S, Yoshimoto T, Paphangkorakit J, Hori K, Ono T: Can masticatory performance be predictor by using food acceptance questionnaire in elderly patients with removable dentures? *Journal of Oral Rehabilitation* 48:582-591, 2021 May.
- 26) Horii N, Hasegawa Y, Sakuramoto-Sadakane A, Saito S, Nanto T, Nakao Y, Domen K, Ono T, Kishimoto H: Validity of a dysphagia screening test following resection for head and neck cancer. *Irish Journal of Medical Science* 190:67-77, 2021 May.
- 27) Hashimoto S, Kosaka T, Nakai M, Kida M, Fushida S, Kokubo Y, Watanabe M, Higashiyama A, Ikebe K, Ono T, Miyamoto Y: A lower maximum bite force is a risk factor for developing cardiovascular disease: the Suita study. *Scientific Reports* 11:7671, 2021 Apr.
- 28) Komatsu R, Nagai K, Hasegawa Y, Okuda K, Okinaka Y, Wada Y, et al. Association between Physical Frailty Subdomains and Oral Frailty in Community-Dwelling Older Adults. *Int J Environ Res Public Health* 18(6):2931. doi: 10.3390/ijerph18062931, 2021 Apr.
- 29) 堀 一浩, 小野高裕: 押しつぶし食の摂食運動. 月刊フードケミカル, 37(3):26-32. (総説) 2022年3月.
- 30) 堀一浩, 上原文子, 戸川瞳, 吉村将悟, 堀頌子, 佐藤理加子, 中村由紀, 谷村基樹, 小野高裕. かむを測り, 気づき, 変えるための食育プロジェクト: パイロットスタディ. *日咀嚼会誌* 31(2):83-90, 2021年11月.
- 31) 池上 聡, 太田美樹, 中馬 誠, 船見隆博, 堀一浩, 小野高裕: 咀嚼運動測定装置bitescanを用いた市販食品の食感評価の試み. *日本咀嚼学会雑誌*, 31:72-821, 2021年11月.
- 32) 小野高裕, 堀 一浩: 「かむ」を測り、気づき、変えるための食育プロジェクト 令和2年度の速報. *新歯界*, 807:39-43. (総説) 2021年11月.
- 33) 堀 一浩, 上原文子, 戸川 瞳, 吉村将悟, 堀頌子, 佐藤理加子, 中村由紀, 谷村基樹, 小野高裕: かむを測り、気づき、変えるための食育プロジェクト: パイロットスタディ. *日本咀嚼学会雑誌*, 31: 83-90, 2021年.
- 34) 重本 心平, 堀 一浩, 大川 純平, 小野 高裕, 宮島 久. 高齢入院患者における舌圧と栄養リスクおよび食形態との関係. *老年歯科医学* 36(2):91-9. 2021年9月
- 35) 堀 一浩, 上原文子, 吉村将悟, 堀 頌子, 戸川瞳, 長谷川陽子, 小野高裕: ウェアラブルデバイスによる咀嚼行動モニタリングの現状と展望. *日本咀嚼学会雑誌*, 31: 2-9. (総説) 2021年5月
- 36) 高阪貴之, 小野高裕, 池邊一典: 咀嚼機能と動脈硬化性疾患との関わりー都市部一般住民コホート研究より得られたエビデンスー. *日本咀嚼学会雑誌*, 31: 40-48, 2021. (総説)
- 37) 小野高裕, 堀 一浩: 食事・栄養における咀嚼の重要性. *New Diet Therapy*, 37: 67-74, (総説) 2021年.
- 38) 長谷川 陽子, 玉岡 丈二, 永井 宏達, 澤田 隆, 小野 高裕, 辻 翔太郎, 岸本 裕充, 新村 健, 引



きこもり予防に口腔機能維持は寄与するのか. 会誌「8020」 21:156-159, 2021年.

#### 【研究費獲得】

- 1) 上原文子: 食後血糖値に対する咀嚼回数, 唾液量およびアミラーゼ活性の影響. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 課題番号: 21K17062, 2021. 新規
- 2) 堀 一浩: ウェアラブルデバイスを用いた咀嚼行動変容と歯周病改善による糖尿病コントロール. 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 21H03129, 2021-2024. 新規
- 3) 佐藤直子: 食事介助者の動作が摂食嚥下先行期・準備期における被介助者の挙動に及ぼす影響. 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 21K09974, 2021-2023. 新規
- 4) 小野高裕: 咀嚼行動変容による高齢者の高次脳機能の維持・改善, 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 20H0387, 2020-2022. 継続
- 5) 長谷川陽子: 口腔機能低下は高齢者の引きこもりを促進させるのか?. 三井住友海上福祉財団, 2020-2021. 継続
- 6) 村上和裕: 介護食の摂食嚥下動態に影響を与える摂食嚥下能力の客観的指標の解析. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 20K18631, 2020-2021. 継続
- 7) 大川純平: 深層学習による画像認識技術を応用した舌評価法の開発. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 20K18593, 2020-2021. 継続
- 8) 小野高裕: ウェアラブルデバイスを用いて“嚙む”を行動変容することによる食生活の適正化. 日本医療研究開発機構 (AMED) IoT 等活用行動変容研究事業, 2019-2021. 継続
- 9) 長谷川陽子: 口腔機能低下は高齢者の引きこもりを促進させるのか?. 8020 推進財団 令和2年度 8020 公募研, 2019-2021. 継続
- 10) 長谷川陽子, 小野高裕, 小野弓絵, 黒瀬雅之, 山村健介: 咀嚼時の情動変化が脳賦活に与える影響. 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 19K10202, 2019-2021. 継続
- 11) 米田博行: 歯牙交換期における咀嚼能力と摂取可能食品の関連に関する研究. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 19K19121, 2019-2021. 継続
- 12) 堀 一浩: 補綴治療がもたらす咀嚼行動変容 —ウェアラブルデバイスを用いた食事モニタリング—. 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 18K09697, 2018-2022.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) Ono T: Basic and clinical view of prosthodontic treatment for the old patients with masticatory and swallowing disability., 2022 Interdisciplinary Oral Health Care Seminar on Chewing and Swallowing, Taiwan Dental Association, 2022/2/13.
- 2) Hori K: Tongue pressure during swallowing; methodology and bio-mechanical significance. World dysphagia summit 2021, Nagoya, 2021/8/21.
- 3) 小野高裕: 咬むことと健康—研究最前線から—, 健康医学産学研究会, 新潟, 2021/12/6.
- 4) 小野高裕: 噛めば嚙むほど得する話, 新潟大学公開講座「食べることは元気のもと」, 新潟, 2021/11/20.
- 5) 小野高裕: 咀嚼・嚥下障害を有する高齢者の義歯治療のヒント. 令和3年度日本補綴歯科学会関越支部生涯学習公開セミナー, 新潟, 2021/11/7.
- 6) 堀一浩: 舌機能の数値. 日本咀嚼学会第32回学術大会, オンライン, 2021/10/9.
- 7) 小野高裕: 発音 (構音) と諸器官・組織 言葉から評価する口腔機能. 令和3年度日本衛生士会「在宅療法の口腔機能管理」研修会, 2021/10/9.
- 8) 大川純平, 堀 一浩, 設楽仁子, 兒玉匠平, 小野高裕: 舌運動と舌圧との同時計測による嚥下動態の解析. LIFE 2020-2021, Web開催, 2021/9/18.
- 9) 堀 一浩, 小野高裕: ウェアラブルデバイスを用いて「嚙む」を測る. 3 大学医工連携オンラインセミナー, オンライン, 2021/9/9
- 10) 小野高裕: 咀嚼から嚥下への過程で何が起きているか. 第26回・27回日本摂食嚥下リハビリテーション学会シンポジウム「つながる: 口腔から咽頭へ—咀嚼と嚥下—», 名古屋, 2021/8/21.
- 11) 村上和裕: 補綴歯科医から見た粒子線治療患者の施設間連携. 第38回日本顎顔面補綴学会学術大会教育研修会, 福島 (オンライン開催), 2021/6/5.
- 12) 堀一浩: 高齢者の食事における押しつぶし食の摂食運動. 第26回国際食品素材/添加物展・会議, 横浜, 2021/5/14

#### 【学会発表】

- 1) Okawa J, Hori K, Uehara F, Kodama S, Shitara S, Ono T: Detection of Pharyngeal Residue after Swallowing by Retronasal Aroma. 2nd World Dysphagia Summit, Nagoya, Aug 19, 2021
- 2) Murakami K, Kasakawa N, Hori K, Ikebe K, Ono T: The maximal voluntary tongue pressure can predict the

limit fracture force value of gels in tongue squeezing. 6th international conference on Food Oral Processing, Valencia(Web), 2021 Jul.

- 3) Hori S, Hori K, Yoshimura S, Uehara F, Hasegawa Y, Ono T: Mastication behavior change using a wearable device system. FOOD ORAL PROCESSING(FOP), Valencia, 12 - 14 July 2021
- 4) Okawa J, Hori H, Yoshimoto T, Ono T: Your Urge to Swallow may be Influenced by Retronasal Aroma. 6th International Conference on Food Oral Processing, Online conference (Valencia), July 12, 2021.
- 5) 楠 博, 長谷川陽子, 辻 翔太郎, 玉城香代子, 和田陽介, 永井宏達, 森 敬良, 志水秀郎, 岸本 裕充, 新村 健: 舌圧値と慢性腎臓病(CKD)との関連. 脳心血管抗加齢研究会第17回学術大会 日本抗加齢協会第5回学術フォーラム, 2021年12月17日, 大阪
- 6) 白水 雅子, 長谷川 陽子, 米田 博行, 善本 佑, 大内 章嗣, 小野 高裕: 歯列交換期の咀嚼能力に影響を与える因子の検討. 令和3年度新潟歯学会第1回例会, 2021年7月10日, 新潟, 新潟歯学会雑誌 51(2) 116-117 2021年12月
- 7) 楠 博, 長谷川陽子, 辻 翔太郎, 玉城香代子, 和田陽介, 永井宏達, 志水秀郎, 岸本裕充, 森 敬良, 新村 健: 舌圧値と慢性腎臓病(CKD)との関連. 日本老年学会 近畿地方会, 2021年11月20日, 京都
- 8) 吉村 将悟, 堀 一浩, 上原 文子, 堀 頌子, 長谷川 陽子, 小野 高裕: 咀嚼行動計測における計測環境の影響, 令和3年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会, 新潟, 2021/11/7.
- 9) 長谷川 陽子, 小野 高裕: 地域在住高齢者の骨密度と口腔機能との関連性, 令和3年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会, 新潟, 2021年11月7日.
- 10) サンタマリア・マリアテリース, 長谷川 陽子, マリト・ピンタ, 善本 佑, 堀 一浩, 小野 高裕: 総義歯装着者の欠損部顎堤形態が咀嚼能力に及ぼす影響(The influence of residual ridge morphology on the masticatory performance of complete denture wearers), 令和3年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会, 新潟, 2021年11月7日.
- 11) 畑山千賀子, 堀 一浩, 泉野裕美, 福田昌代, 澤田美佐緒, 氏橋貴子, 吉村将悟, 堀 頌子, 小野高裕: 地域在住高齢者の口腔機能と咀嚼行動, 令和3年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2021年11月6日.
- 12) 計良倫子, 堀 一浩, 小野高裕, 江川広子, 山村

健介, 若年者のガム咀嚼による口腔機能の向上と行動変容の可能性, 令和3年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2021/11/6.

- 13) 堀 一浩, 堀 頌子, 吉村将悟, 上原文子, 長谷川陽子, 小野高裕, “噛む”を測ることによるヘルスプロモーション, 第64回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会, 新潟, 2021/10/31.
- 14) 上原文子, 堀 一浩, 戸川 瞳, 吉村将吾, 堀 頌子, 佐藤理加子, 中村由紀, 小野高裕: 「かむ」を測り, 気づき, 変えるための食育プロジェクト: 咀嚼行動変化とアンケート調査. 日本咀嚼学会第32回学術大会, 2021年 10月2日-29日, オンライン
- 15) 計良 倫子, 堀 一浩, 小野高裕, 江川広子, 山村健介, 毎日のガム咀嚼が咀嚼関連機能と咀嚼行動にもたらす影響, 日本咀嚼学会第32回学術大会, 2021/10/2, オンライン
- 16) 池上 聡, 堀 一浩, 小野高裕, 咀嚼測定装置を用いた食品評価の試み, 日本咀嚼学会第32回学術大会, 2021/10/2, オンライン
- 17) 奥田 和希, 永井 宏達, 長谷川 陽子, 沖中 優斗, 小松 良, 楠 博, 玉城 香代子, 岸本 裕充, 新村 健: 身体機能と口腔機能・状態の関連性 フレイルの観点から. 日本老年医学会, 2021年6月11-13日, 名古屋, 日本老年医学会雑誌 58(4) 654-654 2021年10月
- 18) 畑山 千賀子, 堀 一浩, 泉野 裕美, 福田 昌代, 澤田 美佐緒, 氏橋 貴子, 小野 高裕, 自立高齢者における口腔機能低下症と咀嚼行動 パイロットスタディ, 日本老年歯科医学会第32回学術大会, オンライン, 2021/6/12.
- 19) 堀 頌子, 堀 一浩, 吉村将悟, 上原文子, 長谷川陽子, 小野高裕: ウェアラブル咀嚼回数計を用いた咀嚼行動変容. 新潟歯学会総会, 新潟, 2021年4月17日.

#### 【受賞】

- 1) Murakami K, Kasakawa N, Hori K, Ikebe K, Ono T: The maximal voluntary tongue pressure can predict the limit fracture force value of gels in tongue squeezing. Fonterra Best overall poster award, 6th International Conference on Food Oral Processing, July 13, 2021.
- 2) Jumpei Okawa, Kazuhiro Hori, Tasuku Yoshimoto, Takahiro Ono: Your Urge to Swallow may be Influenced by Retronasal Aroma. 6th International Conference on Food Oral Processing, Best Poster Award, July 12, 2021.
- 3) 畑山 千賀子, 堀 一浩, 泉野 裕美, 福田 昌代, 澤田 美佐緒, 氏橋 貴子, 小野 高裕, 自立高齢者

における口腔機能低下症と咀嚼行動 パイロット  
スタディ, 日本老年歯科医学会第 32 回学術大会,  
優秀ポスター賞, 2021/6/12

- 4) 堀 頌子, 堀 一浩, 吉村将悟, 上原文子, 長谷川  
陽子, 小野高裕: ウェアラブル咀嚼回数計を用い  
た咀嚼行動変容. 新潟歯学会奨励賞, 2021/4/17.

#### 【その他】

- 1) 小野高裕: にいがたケンジュプロジェクト「ケンジュ  
がダイジ」, BSN ラジオ, 2021/11/1~2021/11/22.
- 2) 小野高裕: ためしてガッテン 気にしてますか?  
“かむ力”脳卒中・心臓病との意外な関係 SP」, NHK,  
2021/10/13.

### 組織再建口腔外科学分野

#### 【書籍】

- 1) 小林正治: うつ病/双極性障害. 歯科医師のため  
の内科学 (千葉俊美、山田浩之 編), 270-271  
頁, 医歯薬出版, 東京, 2021.

#### 【論文】

- 1) Mikami T, Kobayashi T, Hasebe D, Ohshima Y,  
Takahashi T, Shimohata T: Oral appliance therapy for  
obstructive sleep apnea in multiple system atrophy with  
floppy epiglottis: a case series of three patients. *Sleep  
Breath*, Published online 29: 2022.
- 2) Nakamura A, Hasebe D, Kato Y, Nishiyama H, Hayashi  
T, Kobayashi T: Intravenous administration of lidocaine  
and magnesium for severe pain caused by primary  
chronic osteomyelitis of the mandible: A case report. *Oral  
and Maxillofacial Surgery Cases*, 8(2): 2022, 100251.
- 3) Hara T, Saito D, Sakuma H, Kato Y, Niimi K, Nihara J,  
Saito I, Kobayashi T: Comparison of three-dimensional  
facial morphologies acquired with digital  
stereophotogrammetry imaging system and computed  
tomography. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery,  
Medicine, and Pathology* 34(2):120-125, 2022.
- 4) Kawamura T, Fukui T, Nishiyama H, Kobayashi T,  
Takagi R, Hayashi T, Saito I: Three-dimensional Analysis  
of the Temporal Bone and Mandibular Morphology in  
Mandibular Prognathism with Facial Asymmetry. *Oral  
Science International* 19:44-51, 2022.
- 5) Kawaharada M, Maruyama S, Abe T, Hayashi T,  
Kobayashi T, Tanuma J: Metastasis of pulmonary  
adenocarcinoma to the oral cavity: A case report and  
literatures review of the last 30 years. *Oral Sci Int*:1-6,

2022.

- 6) Katagiri W, Takeuchi R, Saito N, Saito D, Kobayashi T:  
Migration and phenotype switching of macrophages at  
early-phase of bone formation by secretomes from bone  
marrow derived mesenchymal stem cells using rat  
calvaria bone defect model. *Journal of Dental Sciences*  
17(1): 421-429, 2022.
- 7) Kawaharada M, Yamazaki M, Maruyama S, Abe T, Chan  
NN, Kitano T, Kobayashi T, Maeda T, Tanuma J: Novel  
cytological model for the identification of early oral  
cancer diagnostic markers: The carcinoma sequence  
model. *Oncol Lett* 23(3): 76, 2022.
- 8) Takeuchi R, Funayama A, Oda Y, Abe T, Yamazaki M,  
Maruyama S, Hayashi T, Tanuma J, Kobayashi T:  
Melanotic neuroectodermal tumor of infancy in the  
mandible A case report. *Medicine* 100(50), 2021,  
e28001.
- 9) Kawaharada M, Maruyama S, Abe T, Yamazaki M, Akira  
K, Katagiri W, Takagi R, Hayashi T, Kobayashi T,  
Tanuma J: Other iatrogenic immunodeficiency associated  
lymphoproliferative disorders in the oral cavity: a  
clinicopathologic study of 4 cases and literature review.  
*Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology and Oral  
Radiology* 132(6):687-697, 2021.
- 10) Katagiri W, Saito D, Hasebe D, Funayama A, Kobayashi  
T: The prosthodontic recovery of the damaged external  
hexagon due to improper implant position. A case report.  
*Advances in Oral and Maxillofacial Surgery* 4:  
2021,100184.
- 11) Haga K, Yamazaki M, Maruyama S, Kawaharada M,  
Suzuki A, Hoshikawa E, Chan NN, Funayama A, Mikami  
T, Kobayashi T, Izumi K, Tanuma J: Crosstalk between  
oral squamous cell carcinoma cells and cancer-associated  
fibroblasts via the TGF- $\beta$ /SOX9 axis in cancer  
progression. *Translational Oncology* 14: 2021, 101236.
- 12) Sakuma H, Saito D, Hara T, Saito N, Suda D, Hasebe D,  
Katagiri W, Kobayashi T: Evaluation of masticatory  
efficiency in patients with jaw deformities using the  
gummy jelly method. *Advances in Oral and Maxillofacial  
Surgery* 4: 2021, 100166.
- 13) Katagiri W, Hashizume K, Saito N, Funayama A,  
Kobayashi T: Maxillary sinus aspergillosis associated  
with migration of a dental implant: A case report.  
*Advances in Oral and Maxillofacial Surgery* 4:  
2021,100157
- 14) Nakamura A, Kakihara Y, Funayama A, Haga K, Mikami  
T, Kobayashi D, Yoshida Y, Izumi K, Kobayashi T, Saeki  
M: HEATR1, a novel interactor of Pontin/Reptin,

stabilizes Pontin/Reptin and promotes cell proliferation of oral squamous cell carcinoma. *Biochemical and Biophysical Research Communications* 557: 294-301, 2021.

- 15) Kato Y, Saito N, Niimi K, Saito D, Sakuma H, Hasebe D, Katagiri W, Kobayashi T: A comparison and evaluation of the use of ultrasonic cutting devices with conventional powered instruments in orthognathic surgery. *Advances in Oral and Maxillofacial Surgery* 2: 2021, 100081.
- 16) Katagiri W, Endo S, Takeuchi R, Saito D, Saito N, Kobayashi T: Conditioned medium from mesenchymal stem cells improves condylar resorption induced by mandibular distraction osteogenesis in a rat model. *Heliyon* 7(3): 2021, e06530.
- 17) Ogino N, Funayama A, Niimi K, Mikami T, Inoue M, Kobayashi T: Evaluation of factors affecting health-related quality of life in patients treated for oral cancer. *Advances in Oral and Maxillofacial Surgery* 2: 2021, 100057.
- 18) Onoda N, Mikami T, Saito N, Kobayashi T: Evaluation of oral health-related quality of life in patients with temporomandibular disorders. *Cranio* 8:1-8, 2021.
- 19) Kawaharada M, Katagiri W, Maruyama S, Nishiyama H, Hayashi T, Kobayashi T, Tanuma J: Low-grade myofibroblastic sarcoma of the tongue with difficulty of diagnosis: A case report and review of the literature. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology* 33(1) : 93-97, 2021.
- 20) Xuan NY, Haga K, Suzuki A, Kato H, Yanagisawa H, Izumi K, Sada A: Isolation and Culture of Primary Oral Keratinocytes from the Adult Mouse Palate. *J Vis Exp* 175:1-12, 2021, e62820.
- 21) 隅田好美、船山昭典、小林正治：口腔がんが社会生活に及ぼす影響－質的研究による心理社会的問題の明確化－. *日本歯科心身医学会雑誌* 36 : 20-27, 2021.
- 22) 須田大亮, 原 太一, 齋藤大輔, 三上俊彦, 船山昭典, 片桐 渉, 小林正治：下顎骨関節突起骨折に対する High perimandibular approach を用いた観血的整復固定術. *新潟歯会誌* 51(1) : 39-43 頁, 2021.
- 23) 浅見栄里, 佐久間英伸, 長谷部大地, 須田大亮, 新美奏恵, 小林正治：薬剤関連顎骨壊死を有する前立腺癌患者に発症した後天性血友病 A の 1 例. *日本口腔外科学会雑誌* 67(10) : 590-595 頁, 2021.
- 24) 須田大亮, 竹内玄太郎, 丸山 智, 小林正治, 加納浩之：広範な口腔潰瘍を契機に診断に至った多発血管炎性肉芽腫症の 1 例. *日口外会誌* 68(1), 8-14 頁, 2022.

#### 【研究費獲得】

- 1) 小林 正治, 長谷部大地, 齋藤大輔, 齋藤 功：外科的矯正治療の適応判断に有用な顎顔面形態指標を組み入れた日本版 IOFTN の策定. *日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*, 21K10158, 2021.
- 2) 須田大亮：ラット下顎骨延長モデルを用いた進行性下顎頭吸収の予防・治療法の検討. *日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究*, 21K17085, 2021.
- 3) 河原田壮史, 田沼順一：口腔細胞診の診断速度向上を目的としたナノポアシークエンス技術の応用. 令和 3 年度未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト 研究費, J21H0032, 2021.
- 4) 竹内涼子：骨髄間葉系幹細胞由来エクソソームによる新規骨再生療法の開発. *日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援*, 21K21060, 2021.
- 5) 片桐 渉：幹細胞・マクロファージ動態制御を行う幹細胞培養上清由来液性因子による骨質改善法. *日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C)*, 20K10113, 2021.
- 6) 船山昭典, 田沼順一, 泉 健次, 三上俊彦：口腔癌進展における癌関連線維芽細胞 (CAF) の機能解明. *日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*, 19K10329, 2021.
- 7) 三上俊彦, 船山昭典, 新美奏恵：癌関連線維芽細胞 (CAF) を標的とした新しい口腔癌治療戦略の開発. *日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*, 19K10354, 2021.
- 8) 長谷部大地, 小林正治, 齋藤大輔：顎変形症患者における鼻咽腔領域における気道形態変化のシュミレーションモデルの考案. *日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*, 20K10134, 2021.
- 9) 隅田好美, 頭山高子, 浅海靖恵, 柴田由美, 宮崎伊久子, 朝井政治, 木村有子, 黒田研二, 小林正治, 田中健一郎：「社会参加」を促進する地域づくりの課題と主観的・客観的意義. *日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*, 19K10284, 2021.
- 10) 齋藤大輔：骨質マーカーによる進行性下顎頭吸収発症リスク評価法の確立. *日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B)*, 19K19190, 2021.
- 11) 齋藤直朗：薬剤関連顎骨壊死のメカニズムを大局的に解明する－骨細胞ネットワークに着目して－. *日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B)*, 19K1989, 2021.

#### 【学会発表】

- 1) Niimi K, Takeuchi R, Funayama A, Nihara J, Saito I, and Kobayashi T : Reliability and validity of Japanese version of Orthognathic Quality of Life Questionnaire. The 60th Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons, Seoul · Hybrid Webinar, The 60th Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons, Seoul · Hybrid Webinar,11/4-6, 2021. 同学術集会プログラム・予稿集 web, 2021.
- 2) Sakuma H, Saito D, Hara T, Saito N, Saito D, Hasebe D, Katagiri W, Kobayashi T : Evaluation of masticatory efficiency in patients with jaw deformities using the gummy jelly method. The 60th Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons, Seoul · Hybrid Webinar,11/4-6, 2021. 同学術集会プログラム・予稿集 web, 2021.
- 3) 佐久間英伸, 新美奏恵, 黒川亮, 曾我麻里恵, 田中恵子, 石山茉佑佳, 小林正治, 高木律男: 当院における呼吸器・感染症内科との医科歯科連携の現状と薬剤関連顎骨壊死発症に関する調査. 第 18 回口腔ケア学会総会・学術集会, 東京 (Hybrid 開催), 2021 年 4 月 17-18 日, 同学術集会プログラム・抄録集: 33 頁, 2021.
- 4) 石山茉佑佳, 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我麻理恵, 勝良剛詞, 佐久間英伸, 佐藤由美子, 田中恵子, 後藤早苗, 吉田謙介, 林孝文, 小林正治, 高木律男: 新潟大学医歯学総合病院での血液腫瘍性疾患患者の周術期等口腔機能管理とハイドロゲル創傷被覆・保護材の使用に関する実態調査. 第 18 回日本口腔ケア学会総会, 東京 (Hybrid 開催), 2021 年 4 月 17-18 日, 同学術集会プログラム・抄録集: 36 頁, 2021.
- 5) 竹内涼子, 武石越郎, 林 孝文, 本間克彦: 動注化学療法と手術を併用し機能温存に良好な結果を得た軟口蓋扁平上皮内癌の 1 例. 第 54 回 新潟歯学会 総会, 新潟, 2021 年 4 月 17 日. プログラム: 1 頁, 2021.
- 6) 佐久間英伸, 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我麻里恵, 小林正治, 高木律男: 当院における皮膚科との医科歯科医療連携の現状報告. 第 75 回日本口腔科学会, 大阪, 大阪 (web), 2021 年 5 月 12-14 日, 同学会プログラム抄録集: 176 頁, 2021.
- 7) 河原田壮史, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 黒川亮, 片桐 渉, 林 孝文, 高木律男, 小林正治, 田沼順一: 口腔領域に発症した OI-LPD: DLBCL type の病理学的解析. 第 75 回日本口腔科学会, 大阪, 2021 年 5 月 12-14 日, 日口腔科会誌 70(2): 147 頁, 2021.
- 8) 新美奏恵, 齋藤大輔, 須田大亮, 原 太一, 齋藤直朗, 長谷部大地, 佐久間英伸, 片桐 渉, 小林正治: 日本語版顎変形症疾患特異的 QOL 調査票の validation study および健康関連 QOL との関連性の検討. 第 75 回日本口腔科学会, 大阪, 2021 年 5 月 12-14 日, ポスタープログラム集: 17 頁, 2021.
- 9) 児玉泰光, 小林亮太, 山田 茜, Andrea Rei Estacio Salazar, 結城龍太郎, 永井孝宏, 大湊 麗, 池田順行, 市川佳弥, 丹原 惇, 新美奏恵, 若槻華子, 宮田昌幸, 小野和宏, 齋藤 功, 小林正治, 高木律男: 新潟大学医歯学総合病院における新診療体制後の口唇口蓋裂患者動向調査. 第 45 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, Web 開催, 2021 年 5 月 20 日-6 月 30 日, 同学術集会プログラム・抄録集: 133 頁, 2021.
- 10) 市川佳弥, 丹原 惇, 寺田愛希, 宮田昌幸, 若槻華子, 児玉泰光, 新美奏恵, 小林正治, 高木律男, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院での術前顎矯正治療における nasal stent の工夫. 第 45 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, Web 開催, 2021 年 5 月 20 日-6 月 30 日, 同学術集会プログラム・抄録集: 122 頁, 2021.
- 11) 野澤 舞, 佐久間英伸, 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我麻里恵, 高木律男, 小林正治: 投与目的別にみた骨修飾薬投与患者での薬剤関連顎骨壊死発症率の調査報告. 第 59 回日本口腔科学会 北日本地方部会, Web 開催 2021 年 5 月 15-22 日, 同学術集会プログラム・抄録集: 38 頁, 2021.
- 12) 本間克彦, 武石越郎, 齋藤大輔, 長谷部大地, 小島拓: 上顎骨延長と下顎枝矢状分割術を行った片側性唇顎口蓋裂の 1 例 ～その長期経過～. 第 47 回日本口腔科学会 北日本地方部会, Web 開催 2021 年 5 月 15-22 日, 同学術集会プログラム・抄録集: 61 頁, 2021.
- 13) 稲葉好則 須田大亮 橋爪孝介 齋藤大輔 齋藤直朗 長谷部大地 片桐 渉 小林正治: 顎矯正手術が及ぼす顎変形症患者の栄養状態の変化の検討. 第 31 回 特定非営利活動法人 日本顎変形症学会総会・学術大会, 宮城, 2021 年 6 月 11-12 日. 日顎変形会誌 31(2): 105 頁, 2021.
- 14) 本多綾子, 高橋功次朗, 丹原 惇, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症における正貌軟組織のパターン別術後変化. 第 31 回 特定非営利活動法人 日本顎変形症学会 総会・学術大会, 宮城, 2021 年 6 月 11-12 日, 日顎変形会誌 31(2): 147 頁, 2021.
- 15) 佐久間英伸, 長谷部大地, 齋藤大輔, 齋藤直朗, 須田大亮, 原太一, 片桐 渉, 小林正治: 食品アンケートを用いた顎変形症患者の咀嚼機能評価法確立のための取り組み. 第 31 回 特定非営利活動法人

- 日本顎変形症学会 総会・学術大会, 宮城, 2021年6月11-12日, 日顎変形会誌 31(2):142頁, 2021.
- 16) 新ちひろ, 丹原 惇, 西山秀昌, 児玉泰光, 大澤知朗, 小林正治, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における上顎骨の形態における三次元的解析. 第31回 特定非営利活動法人 日本顎変形症学会 総会・学術大会, 宮城, 2021年6月11-12日, 日顎変形会誌 31(2):117頁, 2021.
  - 17) 中村 彬彦, 船山 昭典, 小林 正治: Pontin/Reptin/HEATR1 complex は口腔扁平上皮癌細胞の増殖を正に制御する. 第45回日本頭頸部癌学会, 千葉, 2021年6月17-18日, 頭頸部癌 47(2):230頁, 2021.
  - 18) 河原田壮史, 山崎 学, 丸山 智, 阿部達也, 田沼順一: LBC法に発癌モデルを応用して見出したc-Mycを起点とした口腔がんバイオマーカーの探索. 第62回日本臨床細胞学会総会(春期大会), 幕張, 6月4-6日, 日臨床細胞誌 60(1):217頁, 2021.
  - 19) 佐久間英伸, 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我麻里恵, 小林正治, 高木律男: 当院における腎・膠原病内科との医科歯科医療連携の実態調査. 第30回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 東京, 2021年7月3-4日, 学会プログラム抄録集 web: 2021.
  - 20) 齋藤大輔, 齋藤直朗, 原 太一, 長谷部大地, 片桐 渉, 小林正治: 顎矯正手術における3DシミュレーションとCAD/CAMサージカルガイドプレートの有用性. 第110回関東形成外科学会新潟地方会, 新潟, 2021年7月9日, 同プログラム集:1頁, 2021
  - 21) 河原田壮史, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 黒川亮, 片桐 渉, 林 孝文, 高木律男, 小林正治, 田沼順一: 口腔領域に発症したOI-LPD4例の臨床病理学的検討と最近15年間の文献的考察. 令和3年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2021年7月10日
  - 22) 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我麻里恵, 佐藤由美子, 鈴木一郎, 高木律男, 小林正治: 新潟大学医歯学総合病院における医療連携口腔管理治療チーム/医療連携口腔管理治療部の患者動向. 令和3年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2021年7月10日
  - 23) 齋藤大輔, 長谷川健二, 原 太一, 須田大亮, 齋藤直朗, 佐久間英伸, 長谷部大地, 片桐 渉, 小林正治: 顎矯正手術における3DシミュレーションならびにCAD/CAMスプリントの適用. 令和3年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2021年7月10日
  - 24) 船山昭典, 三上俊彦, 新美奏恵, 芳澤享子, 齋藤大輔, 野澤 舞, 小林正治: 当科における過去20年間の口腔がん初診患者の臨床的検討. 第31回日本口腔内科学会, 東京, 2021年9月9-10日 web開催
  - 25) 黒川 亮, 新美奏恵, 曾我麻里恵, 佐久間英伸, 富原圭, 小林正治: 免疫チェックポイント阻害薬による有害事象と考えられた口腔粘膜炎の2例. 第31回日本口腔内科学会, 東京, 2021年9月9日-10日 web開催
  - 26) 須田大亮, 長谷部大地, 三上俊彦, 小林正治: 多数歯欠損を有する閉塞性睡眠時無呼吸症患者における口腔内装置による治療効果の検証. 第46回日本睡眠学会定期学術集会, 福岡, 2021年9月23-24日, 同学術集会プログラム・抄録集:228頁, 2021.
  - 27) 深井千鶴, 傳田祐也, 宮本一也, 五島秀樹, 清水 武, 小林正治: 閉塞型睡眠時無呼吸症候群を伴った骨格性上下顎後退症に対して外科的矯正手術を施行した1例. 第64回 NPO 法人日本口腔科学会中部地方会, 長野, 2021年10月31日.
  - 28) 遠藤 諭, 新美奏恵, 長谷部大地, 加藤祐介, 小林正治: 外科的矯正治療にともなう顎関節症状と下顎頭形態の変化. 第34回一般社団法人日本顎関節学会学術大会, WEB開催, 2021年10月23日-11月23日, 日本顎関節学会雑誌 33(1):97頁, 2021.
  - 29) 河村智子, 福井忠雄, 西山秀昌, 小林正治, 高木律男, 林 孝文, 齋藤 功: 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症例における側頭骨部と下顎骨形態についての三次元分析. 第80回日本矯正歯科学会学術大会, 神奈川, 2021年11月3-5日, 同学術集会プログラム・抄録集:121頁, 2021.
  - 30) 齋藤直朗, 船山昭典, 三上俊彦, 長谷部大地, 佐久間英伸, 新國 農, 丸山 智, 林 孝文, 田沼順一, 小林正治: 臼後腺原発粘表皮癌の1例. 第66回公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉, 2021年11月12-14日, 同プログラム集:52頁, 2021.
  - 31) 小田島あゆ子, 隅田好美, 船山昭典, 新美奏恵, 三上俊彦, 小林正治: 口腔がん術後高齢者における身体機能, 口腔機能および社会参加の実態. 第66回公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉, 2021年11月12-14日, 同プログラム集:46頁, 2021.
  - 32) 河原田壮史, 山崎 学, 丸山 智, 阿部達也, 北野太一, Nyein Nyein Chan, 小林正治, 前田健康, 田沼順一: 口腔がん早期診断用マーカーの同定に向けた新規発がんモデルの作製. 令和3年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2021年11月6日
  - 33) 新ちひろ, 丹原 惇, 西山秀昌, 児玉泰光, 大澤知朗, 小林正治, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における上顎骨形態の三次元的解析. 令和3年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2021年11月6日
  - 34) 河原田壮史, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 北野太一, 田沼順一: 口腔細胞診の診断精度向上を

目的としたマーカーの探索 4NQO 誘発ラット舌癌発生モデルを用いて. 第60回日本臨床細胞学会(秋期大会), 鳥取, 2021年11月20-21日, 同学術集会プログラム集: 62頁, 2021.

- 35) 吉田智美, 竹山雅規, 網谷季莉子, 長谷部大地, 小林正治, 齋藤 功: 口腔内装置(OA)を用いた閉塞性睡眠時無呼吸(OSA)患者における顎顔面構造の経時的変化. 第20回特定非営利活動法人日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 福岡, 2021年11月26-28日, 睡眠口腔医学8: 61頁, 2021.
- 36) 長谷部大地, 三上俊彦, 須田大亮, 齋藤大輔, 小林正治: 当科におけるOA治療の臨床的検討 -肥満症例を中心に-. 第20回特定非営利活動法人日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 福岡, 2021年11月26-28日, 睡眠口腔医学8: 65頁, 2021.
- 37) 竹内涼子, 大湊 麗, 丹原 惇, 竹山雅規, 宮田昌幸, 小林正治. 鼻咽腔閉鎖機能不全を有する口蓋裂患者に対する顎矯正手術の検討. 関東形成外科学会 第111回新潟地方会, 新潟, 2021年11月26日. プログラム:2頁, 2021.
- 38) 片桐 渉, 竹内涼子, 橋爪孝介, 齋藤直朗, 須田大亮, 長谷部大地, 船山昭典, 小林正治: エクスターナルヘキサゴンの破損に対応した2症例. 第25回公益社団法人日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 愛知, 2021年12月11-12日, 同学術集会プログラム: 4頁, 2021.
- 39) 片桐 渉, 河原田壮史, 丸山 智, 山崎 学, 林 孝文, 田沼順一, 小林正治: 舌に発生した低悪性型金線維芽細胞肉腫の1例. 第212回日本口腔外科学会関東支部学術集会, 東京, 2021年12月18日, 同学術集会プログラム:12頁, 2021.

#### 【研究会発表】

- 1) 片桐 渉: 細胞移植を回避する再生医療の可能性～口腔外科での取り組み～. 第35回新潟移植再生研究会, 新潟, 2021年9月6日.

#### 【受賞】

- 1) 野澤 舞: 投与目的別にみた骨修飾薬投与患者での薬剤関連顎骨壊死発生率の調査, 第59回日本口腔科学会 北日本地方部会 第47回日本口腔外科学会 北日本支部学術集会 日本口腔科学会 2021年新人賞, 2021年5月15-22日.
- 2) 遠藤 諭, 新美奏美, 長谷部大地, 加藤裕介, 小林正治: 外科的矯正治療にともなう顎関節症症状と下顎頭形態の変化. ポスター発表優秀賞, 第34回日本顎関節学会, 2021年10

月23日-11月23日.

#### 【その他】

- 1) 小林正治: 顔面非対称症例の診断と逆カント症例に対する治療計画の立案-3DシミュレーションとCAD/CAMスプリントの有用性-. 長野赤十字病院セミナー, 長野, 2021年3月27日.
- 2) 小林正治: 歯科医師を中心とした口腔がん早期発見システムの構築-悪性境界病変の重要性-. 新潟県歯科医師会講演会, WEB開催, 2021年3月.
- 3) 小林正治: 骨格性Ⅱ級症例に対する外科的矯正治療-顎矯正手術の適用術式と留意点-. 長野赤十字病院セミナー, 長野, 2021年5月22日.
- 4) 小林正治: 骨格性Ⅲ級症例の診断と治療法, 長野赤十字病院セミナー. 長野, 2021年9月18日.
- 5) 小林正治: 安全・確実な骨切りを行うためのポイント. Stryker PC Event, WEB開催, 2021年10月2日.
- 6) 小林正治: 歯の移植を成功させるためのポイント-口腔がん早期発見のための口腔内診査-. 茨城県歯科医師会講演会 2021, WEB開催, 2021年10月17日.
- 7) 小林正治: 閉塞型睡眠時無呼吸症と顎矯正手術. 長野赤十字病院セミナー, 長野, 2021年11月20日.
- 8) 船山 昭典: かかりつけ歯科医が発見する口腔癌とその標準治療. 令和3年度五泉市阿賀町歯科医師会医療安全セミナー, Web, 2021年11月20日.
- 9) 小林正治: 多分割Le Fort I型骨切り術の適応と安全に行うためのポイント. シンセス The Webinar Session3, WEB開催, 2021年12月4日.
- 10) 小林正治: 口蓋裂と外科的矯正治療. 長野赤十字病院セミナー, 長野, 2022年3月26日.

#### 顎顔面放射線学分野

#### 【論文】

- 1) Kiguchi T, Kakihara Y, Yamazaki M, Katsura K, Izumi K, Tanuma J, Saku T, Takagi R, Saeki M: Identification and characterization of R2TP in the development of oral squamous cell carcinoma. *Biochem Biophys Res Commun* 548:161-166.2021
- 2) Yamada S-I, Koike K, Tanaka Isomura E, Chikazu D, Yamagata K, Iikubo M, Hino S, Hibi H, Katsura K, Nakamura S, Nomura T, Mori Y, Tojyo I, Kanamura N, Yamamori I, Aota K, Fujita S, Tanzawa H, Kurita H: Japanese Stomatological Society. The effects of perioperative oral management on perioperative serum

- albumin levels in patients treated surgically under general anesthesia. *Medicine (Baltimore)* 100(10):e25119.2021.
- 3) Kawaharada M, Maruyama S, Abé T, Yamazaki M, Kurokawa A, Katagiri W, Takagi R, Hayashi T, Kobayashi T, Tanuma J: Other iatrogenic immunodeficiency associated lymphoproliferative disorders in the oral cavity: a clinicopathologic study of 4 cases and review of the literature. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol* 132(6):687-697.2021.
  - 4) Makishi S, Tanaka M, Kobayashi T, Tanaka R, Hayashi T, Ohshima H.: Posterior superior alveolar nerves contribute to sensation in the anterior teeth. *Annals of Anatomy* 238. 15178.2021.
  - 5) Yoshida K, Kodama Y, Tanaka Y, Pak K, Soga M, Toyama A, Katsura K, Takagi R: Pharmacist involved education program in a multidisciplinary team for oral mucositis: Its impact in head-and-neck cancer patients. *PLoS One*. 16(11):e0260026.2021.
  - 6) Hayashi T, Takamura M, Kobayashi T, Nikkuni Y, Katsura K: Regarding the acoustic coupling medium for the estimation of the depth of invasion in tongue squamous cell carcinoma on intraoral sonography with special reference to the interpretation of normal mucosal structure: a literature review. *Oral Sci Int* 19:19-23.2021.
  - 7) Kawaharada M, Katagiri W, Maruyama S, Nishiyama H, Hayashi T, Kobayashi T, Tanuma J: Low-grade myofibroblastic sarcoma of the tongue with difficulty of diagnosis: A case report and review of the literature. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology* 33:93-97.
  - 8) Suwabe T, Fuse K, Katsura K, Soga M, Katagiri T, Shibasaki Y, Narita M, Sone H, Masuko M: Intensive oral care can reduce bloodstream infection with coagulase-negative staphylococci after neutrophil engraftment in allogeneic hematopoietic stem-cell transplantation. *Supportive Care in Cancer* 30:475-485.2022.
  - 9) Takeuchi R, Funayama A, Oda Y, Abé T, Yamazaki M, Maruyama S, Hayashi T, Tanuma J, Kobayashi T: Melanotic neuroectodermal tumor of infancy in the mandible: A case report. *Medicine (Baltimore)* 100(50):e28001.2021.
  - 10) Yamazaki M, Maruyama S, Abe T, Sumita Y, Katsumi Y, Nikkuni Y, Hayashi T, Tanuma J: Spindle cell squamous cell carcinoma exhibiting prominent neutrophil phagocytosis: a case report. *J Med Case Rep* 15(1):438.2022.
  - 11) Takamura M, Kobayashi T, Nikkuni Y, Katsura K, Yamazaki M, Maruyama S, Tanuma J, Hayashi T: A comparative study between CT, MRI, and intraoral US for the evaluation of the depth of invasion in early stage (T1/T2) tongue squamous cell carcinoma. *Oral Radiol* 38(1):114-125.2022.
  - 12) Kawamura T, Fukui T, Nishiyama H, Kobayashi T, Takagi R, Hayashi T, Saito I: Three-dimensional analysis of the temporal bone and mandibular morphology in mandibular prognathism with facial asymmetry. *Oral Sci Int* 19:44-51.2022.
  - 13) Kobayashi T, Hayashi T, Takamura M, Soga M, Nikkuni Y, Katsura K: A phantom study regarding the formation mechanism of mucosal epithelial echo on intraoral ultrasonography. *Oral Sci Int*.2022.
  - 14) Nikkuni Y, Nishiyama H, Hayashi T: Histogram analysis of 18F-FDG PET imaging SUVs may predict the histological grade of oral squamous cell carcinoma. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol*. Published online. 2022.
  - 15) Saito T, Nishikawa A, Hara-Saito Y, Salazar ARE, Kurokawa A, Iida A, Yamaga A, Kano H, Kato Y, Takata Y, Nishiyama H, Kitamura N, Tanaka T, Takagi R: Risk factors of medication-related osteonecrosis of the jaw in preventive tooth extraction before bone resorption inhibitor administration: A multicenter nested case-control study. *Oral Sci Int* 19:79-87.2022.
  - 16) Kawaharada M, Maruyama S, Abé T, Hayashi T, Kobayashi T, Tanuma J: Metastasis of pulmonary adenocarcinoma to the oral cavity: A case report and literatures review of the last 30 years. *Oral Sci Int*. 2022.
  - 17) 日本口腔科学会学術研究委員会 (栗田 浩, 梅田正博, 植野高章, 鶴澤成一, 渋谷恭之, 中村典史, 長塚 仁, 林 孝文, 溝口 到), 日本口腔ケア学会学術委員会がん口腔ケアガイドライン作成委員会 (栗田 浩, 梅田正博, 富原 圭, 池上由美子, 野口一馬, 渋谷恭之, 滝口裕一, 山本信之): がん治療患者の口腔機能管理における菌性感染病巣(歯のう蝕, 歯周病, 菌性感染症)管理: システムティックレビューに基づいた指針. *口科誌*:70(4):279-289. 2021.
  - 18) 曾我麻里恵, 勝良剛詞, 小林太一, 高村真貴, 黒川亮, 新美奏恵, 田中恵子, 石山茉佑佳, 林 孝文: 頭頸部放射線治療後のう蝕発生リスク因子に関する検討. *歯科放射線*:61(2):41-46. 2021.
  - 19) 新垣元基, 児玉泰光, 上野山敦士, 笠原 映, 田沼順一, 林 孝文, 高木律男: 外傷により嚢胞様を呈した先天性上唇瘻の1例. *小児口外* 30(1):20-25. 2021.
  - 20) 新垣理宣, 勝良剛詞, 小林大二郎, 道 泰之, 北本佳住, 依田哲也, 倉林 亨: 頭頸部化学放射線治療



後に多発う蝕を生じ口腔管理に苦慮した1例. 歯科放射線 2021;61(2):53-57.

#### 【商業誌】

- 1) 林 孝文: 歯科医院のための実践!超音波診断 歯科臨床で超音波診断装置を有効活用するために 第1回 超音波診断法の原理. 補綴臨床 9月号 54(5):509-522. 2021.
- 2) 林 孝文: 歯科医院のための実践!超音波診断 歯科臨床で超音波診断装置を有効活用するために 第2回 唾液腺の超音波診断. 補綴臨床 11月号 54(6):612-636. 2021.
- 3) 林 孝文: 歯科医院のための実践!超音波診断 歯科臨床で超音波診断装置を有効活用するために 第3回 頸部リンパ節の超音波診断. 補綴臨床 1月号 55(1):34-56. 2022.
- 4) 林 孝文: 歯科医院のための実践!超音波診断 歯科臨床で超音波診断装置を有効活用するために 第4回 舌・口底・頬粘膜の超音波診断. 補綴臨床 3月号 55(2):163-180. 2022.

#### 【研究費獲得】

- 1) 勝良剛詞: 重粒子線3次元線量分布への歯科用合金の影響解明と分布に影響しないマウスピース開発. 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C. 17K11664. 2017-2021.
- 2) 林 孝文: 口腔内超音波診断法による口腔癌の浸潤深度評価の標準化. 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C. 18K09763. 2018-2021.
- 3) 林 孝文, 小林太一: モバイルオーラルエコーによる舌癌深達度診断精度の多施設共同研究. 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C. 21K10064. 2021-2023.
- 4) 清水真弓, 林 孝文. IgG4関連涙腺・唾液腺炎の診断基準への超音波診断導入のための多施設共同研究. 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C. 21K10075. 2021-2023.
- 5) 坂井幸子, 林 孝文: 画像工学に基づく口輪筋弾性挙動の可視化-包括的口腔機能管理ツールの創出-. 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C. 21K10204. 2021-2023.
- 6) 林 孝文: 歯科用小型超音波画像診断装置の開発. 共同研究(新潟大学・デントロケミカル). J21K0060. -2022. 6. 30.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) 勝良剛詞: 頭頸部放射線治療における口腔有害事象の基礎と対応. NPO法人日本歯科放射線学会第61回学術大会, Web開催, 2021年5月12日-14日, 同大

会抄録集:16-17頁, 2021

- 2) 林 孝文: 口腔顎顔面領域の超音波診断. NPO法人日本歯科放射線学会第2回秋季学術大会・教育研究会, Web開催, 2021年10月31日, 同大会抄録集: 46-47頁. 2021.
- 3) 勝良剛詞, 吉田謙介, 田中雄介, 曾我麻里恵, 黒川亮: がん薬物療法における口腔粘膜炎の口腔支持療法の現状と薬剤師への期待. シンポジウム4: 癌化学療法患者の口腔粘膜炎による疼痛緩和を目指して-多職種で取り組む口腔支持療法-, 第14回日本緩和医療学会年会, Web開催, 2021年5月12日-14日.
- 4) 新國 農: 画像による口腔癌の早期診断. シンポジウム9: 口腔癌の画像診断, 第24回日本歯科医学会学術大会, Web開催, 2021年9月23日-25日.
- 5) 勝良剛詞: 小児がん診療に携わるすべての人に知って頂きたいがん口腔ケアの基礎知識. 第3回新潟小児がん患者・家族支援研修会, 新潟, 2022年2月26日.
- 6) 林 孝文: 口腔癌(特に舌癌)と頸部リンパ節転移の超音波診断. 口腔癌治療に必要な知識の up to date~今, 知っておくべき知識・手技・リスクマネジメント~, 第55回・第56回(公社)日本口腔外科学会教育研修会/口腔四学会合同研修会, web配信, 2022年2月10日-3月10日.

#### 【学会発表】

- 1) Takamura M, Kobayashi T, Nikkuni Y, Katsura K, Yamazaki M, Maruyama S, Tanuma J, Hayashi T: A comparative study between CT, MRI, and intraoral us for the evaluation of the depth of invasion in early stage (T1/T2) tongue squamous cell carcinoma. The 23rd International Congress of DentoMaxilloFacial Radiology, South Korea.(Web) April 28-May 1, 2021.
- 2) Nishiyama H, Kobayashi T, Ike M, Takamura M, Nikkuni Y, Soga M, Hayashi-Sakai S, Hayashi T: Sanity checks for deep learning to estimate the location of dental X-ray images. The 23rd International Congress of DentoMaxilloFacial Radiology, South Korea.(Web), April 28-May 1, 2021.
- 3) Katsura K, Soga Y, Zenda S, Nishi H, Soga M, Usubuchi M, Mitsunaga S, Tomizuka K, Konishi T, Yatsuoka W, Ueno T, Aragaki T, Hayashi T: Cost estimation study of measures against metallic dental restorations for head and neck radiotherapy in Japan. The 2021 MASCC/ISOO Annual Meeting on Supportive Care in Cancer, web, June 24-26, 2021.
- 4) 竹内涼子, 武石越郎, 林 孝文, 本間克彦: 動注化

- 学療法と手術を併用し機能温存に良好な結果を得た軟口蓋扁平上皮内癌の1例. 第54回新潟歯学会総会, 新潟, 2021年4月17日. 同総会抄録集:2, 2021.
- 5) 石山茉佑佳, 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我麻里恵, 勝良剛詞, 佐久間英伸, 佐藤由美子, 田中恵子, 後藤早苗, 吉田謙介, 林 孝文, 小林正治, 高木律男: 血液腫瘍性疾患患者に対する周術期等口腔機能管理ならびにハイドロゲル創傷被覆・保護材の使用状況とその効果. 第19回日本口腔ケア学会総会・学術大会, Web開催, 2021年4月17-18日, 日口腔ケア会誌:15(3):153頁, 2021.
  - 6) 曾我麻里恵, 勝良剛詞, 新美奏恵, 黒川 亮, 小林太一, 高村真貴, 田中恵子, 石山茉佑佳, 高木律男, 林 孝文: 頭頸部放射線治療後のう蝕発生の特徴. NPO 法人日本歯科放射線学会第61回学術大会, Web開催2021年5月21日-23日, 同大会抄録集:46頁, 2021.
  - 7) 西山秀昌, 高村真貴, 曾我麻里恵, 小林太一, 新國農, 池真樹子, 勝良剛詞, 林 孝文: 深層学習システムの画像認識過程を人間が理解可能な抽象化過程に近づけることは可能か?. NPO 法人日本歯科放射線学会第61回学術大会, web開催, 2021年5月21日~23日, 同大会抄録集:71頁, 2021
  - 8) 河原田壮史, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 黒川亮, 片桐 渉, 林 孝文, 高木律男, 小林正治, 田沼順一: 口腔領域に発症したOI-LPD4例の臨床病理学的検討と最近15年間の文献的考察. 令和3年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2021年7月10日.
  - 9) 高村真貴, 新國農, 小林太一, 曾我麻里恵, 池 真樹子, 勝良剛詞, 西山秀昌, 阿部達也, 山崎 学, 丸山 智, 田沼順一, 林 孝文: 超音波、CT、MRI、18F-FDG PET/CTにおける頸部リンパ節転移の検出精度の比較. NPO 法人日本歯科放射線学会第232回関東地方会・第40回北日本地方会・第28回合同地方会, Web開催, 2021年8月21日, 同学術集会后抄録:2頁, 2021.
  - 10) 西山秀昌, 高村真貴, 曾我麻里恵, 小林太一, 新國農, 池真樹子, 勝良剛詞, Jorge Saez, 林 孝文: 物体検出(SSD)を用いたデンタル撮影部位の同定におけるバックグラウンドの影響について. NPO 法人日本歯科放射線学会第2回秋季学術大会・教育研修会, Web開催, 2021年10月30-31日, 同大会抄録集:42頁. 2021.
  - 11) 勝良剛詞, 棚邊哲史, 中野 永, 坂井まどか, 宇都宮悟, 太田 篤, 海津元樹, 曾我麻里恵, 林 孝文: 頭頸部強度変調放射線治療における金属アーチファクトの輪郭抽出時間への影響. 日本放射線腫瘍学会第34回学術大会, Web開催, 2021年11月12-14日, 同学会抄録集:243頁, 2021.
  - 12) 田中恵子, 勝良剛詞, 曾我麻里恵, 石山茉佑佳, 手嶋謡子, 阿部春奈, 倉又七海, 新美奏恵, 後藤早苗, 林 孝文: 歯科管理を受けた頭頸部放射線治療患者の歯の健康状態の推移. 日本がん口腔支持療法学会第7回学術大会, Web開催, 2021年12月4-5日, 同学会抄録集:41頁, 2021.
  - 13) 田中雄介, 勝良剛詞, 吉田謙介, 曾我麻理恵, 田中恵子, 石山茉佑佳, 山崎恵介, 外山 聡: 薬剤師による頭頸部化学放射線治療患者の口腔ケアコンプライアンス向上の試みと効果. 日本がん口腔支持療法学会第7回学術大会, Web開催, 2021年12月4-5日, 同学会抄録集:45頁, 2021.
- 【研究会発表】**
- 1) 西山秀昌, 小林太一, 高村真貴, 新國農, 勝良剛詞, 池 真樹子, 曾我麻里恵, 林 孝文: 深層学習における口内法エックス線画像と濃淡シェーマ、および線画スケッチ画像のエントロピーとダイバージェンスについて. 第3回歯科人工知能(AI)研究会, Web開催, 2021年7月25日.
  - 2) 西山秀昌, 高村真貴, 曾我麻里恵, 小林太一, 新國農, 池真樹子, 勝良剛詞, Jorge Saez, 林 孝文. 物体検出(SSD)でのデンタル撮影部位の同定における透過度、バックグラウンドおよび学習方法の影響について. 第4回歯科人工知能(AI)研究会, web開催, 2022年2月27日.
- 【その他】**
- 1) 林 孝文: 歯科における超音波診断の現状、教育と展望. 甲状腺頭頸部領域パネルディスカッション 甲状腺・頭頸部超音波検査の問題点と今後の展望～医学教育、効率化と工夫～, 日本超音波医学会第94回学術集会, Web開催, 2021年5月21日-23日.
  - 2) 林 孝文: 歯科口腔顎顔面領域の非腫瘍性頸部リンパ節腫脹の超音波像について. リンパ節診断治療効果判定研究部会企画・感染症およびその治療におけるリンパ節超音波像の変化に関する検討, 第47回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会, Web開催, 2021年10月9日-10日.
  - 3) 小林太一: 口腔内超音波検査による舌癌のDOI画像評価. ワークショップ24【画像で切除範囲の正確な決定は可能か?】, 第40回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, web開催, 2022年2月14日-3月13日, 同総会抄録集:184頁, 2022.
  - 4) 勝良剛詞: 頭頸部放射線治療における口腔有害事象の基本とエビデンス. Meiji Seika ファルマ webカンファレンス, web開催, 2022年2月16日.

## 歯科麻酔学分野

### 【特許取得】

- 1) 瀬尾憲司, 関根 盛 : (発明名称) 損傷末梢神経治療用組成物, 特許第 6875988 号, (特許権者) 国立大学法人 新潟大学, デンカ株式会社, 登録日: 令和 3 年 4 月 27 日, 2021.

### 【論文】

- 1) Kishimoto N, Nguyen BH, Tran SD, Seo K. Telesimulation training applying flipped classroom in the dental clinic for medical emergencies. *Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine*. 2021;21(2):179-181.
- 2) Kishimoto N, Kanemaru H, Nakajima I, Seo K. Telemonitoring during dental treatment for homebound patients using a smartphone and a small vital sign measuring device. *Journal of Dental Sciences*. 2022 (In Press).
- 3) Kishimoto N, Otsuka A, Tsurumaki T, Seo K. Unexpected Anesthetic Circuit Leak Attributed to Improper Use of a Tube Holder: A Case Report. *Anesthesia Progress*. 2021;68(3):154-157.
- 4) Toru Yamamoto, Yatendra Mulpuri, Mikhail Izraylev, Qianyi Li, Menooa Simonian, Christian Kramme, Brian L. Schmidt, Herbert H. Seltzman and Igor Spigelman. Selective targeting of peripheral cannabinoid receptors prevents behavioral symptoms and sensitization of trigeminal neurons in mouse models of migraine and medication overuse headache. *Pain*, 2021.
- 5) Yatendra Mulpuri, Toru Yamamoto, Ichiro Nishimura, Igor Spigelman. Role of voltage-gated sodium channels in axonal signal propagation of trigeminal ganglion neurons after infraorbital nerve entrapment. *Neurobiology of Pain*, 2022.
- 6) Kumiko Muramatsu, Hitoshi Miyaoka, Kunitoshi Kamijima, Yoshiyuki Muramatsu, Katsuya Fuse, Fumitoshi Yoshimine, Ichiro Mashima, Yutaka Tanaka, Michio Hosaka, Kikuchi Toshiaki, Natsue Shimizu and Shigeji Baba : Prevalence and Comorbidity of Anxiety and Depressive Disorders in Studies of PRIME-MD and PHQ (Patient Health Questionnaire) in Japan, *Anxiety Disorder, IntechOpen*, 1-14, 2021.
- 7) 岸本直隆, 瀬尾憲司: 歯科医院における患者急変対応の習得を目的とした歯科麻酔学教育. *日本歯科医師会雑誌*. 2021;74(2):17-26.
- 8) 岸本直隆, 瀬尾憲司: 歯科医院に常備すべき緊急薬剤を再考する. *歯科薬物療法*. 2022 (In Press).
- 9) 井上 卓俊, 山本 徹: 系統解剖実習用遺体にみられた星状神経節ブロックを困難にさせうる一例 *左総頸*

動脈蛇行, *日本口腔顔面痛学会雑誌*, 13(1): 43-47, 2021.

- 10) 田中 裕, 瀬尾憲司, 村松公美子, 村松芳幸: 口腔顔面痛の病態診断としての Pain DETECT の有用性, 慢性疼痛, 40(1):189-196, 2021.

### 【研究費】

- 1) 瀬尾憲司: 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 2019~2022 年度, 課題番号 19H03850, 研究代表者 瀬尾憲司, 脱分化脂肪細胞由来の細胞抽出物による末梢神経損傷の新たな治療法開発
- 2) 岸本 直隆: 科学研究費 基盤研究 (C), 令和元年度~令和 3 年度, 課題番号 19K10261, 研究代表者 岸本直隆, 新しい顔面神経麻痺治療への脱分化脂肪細胞由来 cell extract の応用
- 3) 岸本直隆: 科学研究費 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A)), 令和元年度, 課題番号 19KK0416, 研究代表者 岸本直隆, 脱分化脂肪細胞由来 cell extract の末梢神経再生メカニズムの解明
- 4) 田中 裕: 科学研究費 基盤研究 (C), 平成 29 年度~令和 3 年度, 課題番号 17K11902, 研究代表者 田中 裕, 病的情動変容が惹起する口腔顔面領域心因性疼痛の行動生理学的解明
- 5) 金丸博子: 科学研究費 若手研究 令和 3 年度~令和 5 年度, 課題番号 21K17109, 研究代表者 金丸博子, 末梢組織損傷部位のスフィンゴシン 1 リン酸は神経障害性疼痛の発生に関与するか
- 5) 山本徹: 科学研究費 研究活動スタート支援, 令和 3 ~ 4 年度, 課題番号 21K21036, 研究代表者 山本徹, 新型コロナウイルス感染による舌味覚障害発生のメカニズム解明
- 6) 山本徹: 第 34 回中富健康科学振興財団「研究助成金」, 「末梢神経再生時の神経障害性疼痛発症予防への展望」
- 7) 大塚有紀子: 科学研究費 若手研究 平成 30 年度~令和 3 年度, 課題番号 18K17165, 研究代表者 須田有紀子, 拡散強調画像分画成分抽出による三叉神経障害性疼痛の新たな評価法の開発
- 8) 今井有蔵: 新潟大学 未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト, 令和 3 年度, 国立研究開発法人科学技術振興機構.
- 9) 小山祐平: 新潟大学 令和 3 年度未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト, 令和 3 年度, 国立研究開発法人科学技術振興機構.
- 10) 沢田詠見: 人工シナプスオーガナイザーを使用した末梢神経再生の可能性の解明. 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業, 2021.

### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) 田中 裕：漢方薬と痛みの治療，令和3年度 新潟大学歯学部同窓会学術セミナーI シンポジウム「漢方を知る」～口腔疾患における漢方医学～，2021年5月30日，2021.
- 2) 立浪康晴，岸本直隆，北川栄二：登録医・認定歯科衛生士向けトレーニングコース 今日からレベルアップできるバイタルサインの読み方と偶発症対応. 第49回日本歯科麻酔学会総会・学術集会，オンライン開催，2021年10月10日，抄録集101-102，2021
- 3) 瀬尾憲司：歯科治療時における「息が苦しい」に対処する，2021年度新潟大学歯学部同窓会学術セミナー，2021年11月28日，2021.
- 4) 岸本直隆，瀬尾憲司：VR技術を活用した歯科治療時の全身的偶発症対応シミュレーションコースの開発. 第37回歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い，オンライン開催，2022年2月15日，2021.
- 5) 田中 裕：「新型コロナウイルス感染症と心身医学ー歯科領域からー」，第24回心身医学カンファレンス，オンライン開催，2022年3月25日，新潟市.

### 【学会発表】

- 1) Yuhei KOYAMA, Naotaka KISHIMOTO, Yuzo IMAI, Junichi TANUMA, Kosei TAKEUCHI, Takeyasu MAEDA, Kenji SEO, Cell extract from adipose tissue-derived stem cells promotes peripheral nerve regeneration, Neuroscience 2021 50th annual meeting, virtual, Nov. 8-11, 2021.
- 2) Yuzo IMAI, Naotaka KISHIMOTO, Yuhei KOYAMA, Junichi TANUMA, Kosei TAKEUCHI, Takeyasu MAEDA, Kenji SEO: Effects of Cell Extract from Adipose-derived Stem Cells on Peripheral Nerve Regeneration, Neuroscience 2021 50th annual meeting, virtual, Nov, 8-11, 2021.
- 3) 岸本直隆，齊田瑠加，瀬尾憲司：小型バイタルサインモニタリング機器を活用した歯科治療時の遠隔モニタリング. 第3回 国際歯科医療安全機構 総会・学術大会，オンライン開催，2021年5月30日.
- 4) 田中 裕，村松芳幸，村松公美子，真島一郎，瀬尾憲司：非定型歯痛の原因が脳梗塞の前駆症状と判明した1例，第36回日本歯科心身医学会総会・学術大会，2021年6月19-20日，Web開催，抄録集，50，2021.
- 5) 田中 裕，村松芳幸，村松公美子，真島一郎，清水夏恵，藤村健夫，清野 洋，吉嶺文俊，片桐敦子，櫻井浩治，瀬尾憲司：口腔顔面痛とその他身体症状との関連性の検証，第62回日本心身医学会総会・学術講演会，2021年7月10-11日，ハイブリッド開催（香川県高松市），抄録集，138，2021.

- 6) 大塚有紀子，岸本直隆，佐藤由美子，瀬尾憲司：髄腔内バクロフェン療法中の患者に対する歯科治療の全身管理経験，第30回日本有病者医療学会学術大会，2021年7月3-4日，Hybrid開催，東京都，抄録集(web)，2021.
- 7) 氏田倫章，矢口絵莉香，濱口眞輔：MECP2重複症候群患者の麻酔経験，第38回日本障害者歯科学会総会・学術大会，2021年9月25日-10月11日，Web開催，抄録集，60，2021.
- 8) 今井有蔵，岸本直隆，田中裕，弦巻立，倉田行伸，金丸博子，佐藤由美子，山本徹，大塚有紀子，小山祐平，沢田詠見，枝村美和，瀬尾憲司：脂肪組織由来幹細胞由来 cell extract 内の神経再生作用のある成分の分析，第49回日本歯科麻酔学会総会・学術集会，2021年10月9日-11月7日，Web開催，抄録集，114，2021.
- 9) 山本 徹，岸本 直隆，瀬尾 憲司：片頭痛の慢性化メカニズム解明と新規末梢作用型カンナビノイド臨床応用への展望，第49回日本歯科麻酔学会総会・学術集会，2021年10月9日-11月7日，Web開催，抄録集115，2021.
- 10) 小山祐平，岸本直隆，今井有蔵，氏田倫章，沢田詠見，瀬尾憲司，脂肪組織由来幹細胞由来 cell extract の末梢神経再生効果の免疫組織学的評価，第49回日本歯科麻酔学会総会・学術集会，オンライン開催，2021年10月9日-11月7日，日本歯科麻酔学会雑誌，第49巻，抄録号，117，2021.
- 11) 金丸博子，田中 裕，弦巻 立，岸本直隆，倉田行伸，佐藤由美子，山本徹，大塚有紀子，今井有蔵，小山祐平，沢田詠見，枝村美和，瀬尾憲司：腸骨移植術の疼痛による体交困難から無気肺を発症したと考えられた症例. 第49回日本歯科麻酔学会，オンライン開催，2021年10月9日-11月7日，抄録集143，2021.
- 12) 氏田倫章，矢口絵莉香，濱口眞輔：軟口蓋癌に対する上顎部分切除中に気管チューブ破損を期待した1症例，2021年10月9日-11月7日，第49回日本歯科麻酔学会総会・学術大会，Web開催，抄録集144，2021.
- 13) 倉田行伸，今井有蔵，岸本直隆，田中 裕，弦巻 立，金丸博子，佐藤由美子，山本徹，大塚有紀子，小山祐平，沢田詠見，枝村美和，瀬尾憲司：上下顎骨形成術中にソノベット\*により経鼻挿管チューブの損傷が生じた1症例. 第49回日本歯科麻酔学会，オンライン開催，2021年10月9日-11月7日，日本歯科麻酔学会雑誌，第49巻抄録号，145，2021
- 14) 弦巻 立、山本 徹、田中 裕、岸本 直隆、倉田 行伸、金丸 博子、佐藤由美子、大塚 有紀子、今井 有蔵、小山 祐平、沢田 詠見、枝村 美和、瀬尾憲司：静脈内鎮静法下インプラント埋入術後、帰宅後に呼吸困難のため救急搬送となった1例，第49回日本歯科

- 麻酔学会総会・学術大会，2021年10月9日-11月7日，オンライン開催，日本歯科麻酔学会雑誌，第49巻抄録号，148，2021.
- 15) 佐藤由美子，岸本直隆，田中 裕，弦巻 立，倉田行伸，金丸博子，大塚有紀子，今井有蔵，小山祐平，氏田倫章，沢田詠見，瀬尾憲司：抗凝固療法継続下で施行した下顎骨悪性腫瘍切除術後に脳梗塞の発症が疑われた1症例，第49回日本歯科麻酔学会総会・学術集会，2021年10月9日～11月7日，web開催，日本歯科麻酔学会雑誌，第49巻抄録号，157，2021.
- 16) 沢田詠見，岸本直隆，田中 裕，弦巻 立，倉田行伸，佐藤由美子，金丸博子，山本 徹，今井有蔵，小山祐平，枝村美和，瀬尾憲司：下顎骨骨折の手術終了後に抜管を躊躇した小児全身麻酔の1症例，第49回日本歯科麻酔学会総会・学術集会，2021年10月9日～11月21日，日本歯科麻酔学会雑誌，第49巻抄録号，160，2021.
- 17) 矢口絵莉香，氏田倫章，吉村 萌，濱口眞輔：上下顎骨移動術後の抜管に難渋した2症例，2021年10月9日-11月7日，第49回日本歯科麻酔学会総会・学術大会，Web開催，抄録集，161，2021.
- 18) 井上卓俊，山本 徹：解剖実習用遺体にみられた星状神経節ブロックを困難にさせうる一例—右頸動脈蛇行症の症例—，第49回日本歯科麻酔学会総会・学術集会，2021年10月9日-11月7日，Web開催，抄録集，165，2021.
- 19) 田中 裕，岸本直隆，弦巻 立，倉田行伸，金丸博子，佐藤由美子，山本 徹，今井有蔵，小山祐平，沢田詠見，枝村美和，瀬尾憲司：確定診断に苦慮した小児の三叉神経痛の1例，2021年10月9日-11月7日，第49回日本歯科麻酔学会総会・学術大会，Web開催，抄録集167，2021.
- 20) 大塚有紀子，岸本直隆，田中 裕，弦巻 立，倉田行伸，金丸博子，佐藤由美子，山本 徹，今井有蔵，小山祐平，沢田詠見，枝村美和，瀬尾憲司：麻酔器内の電源供給システムにより、気化器が作動停止した一例，第49回日本歯科麻酔学会総会・学術集会，2021年10月9日-11月7日，オンライン開催，抄録集，168，2021.
- 21) 岸本直隆、田中 裕、弦巻 立、倉田行伸、金丸博子、佐藤由美子、山本 徹、大塚有紀子、今井有蔵、小山祐平、沢田詠見、枝村美和、瀬尾憲司：遠隔シミュレーションを応用した歯科医院での偶発症対応セミナー．第49回日本歯科麻酔学会総会・学術集会，オンライン開催，2021年10月9日-11月7日，抄録集175，2021
- 22) 田中 裕，村松芳幸，村松公美子，真島一郎，藤村健夫，清水夏恵，清野 洋，吉嶺文俊，片桐敦子，櫻井浩治，瀬尾憲司：口腔顔面痛に合併する身体症状の調査，第25回日本心療内科学会学術大会，，2021年10月23-24日，オンライン開催，日本心療内科学会雑誌，23別冊（抄録集），89，2021.
- 23) 田中 裕，瀬尾憲司，村松芳幸：口腔顔面痛患者の健康関連 QOL 調査，第51回日本慢性疼痛学会総会・学術大会，2022年2月25-26日，オンライン開催，第51回日本慢性疼痛学会抄録集，125，2022.

#### 【研究会発表】

- 1) 氏田倫章：帰室直前に突然換気困難をきたした Goldenhar 症候群患児の1症例，第87回新潟口腔外科麻酔科集談会，2021年10月21日，Web開催，2021，新潟市.
- 2) 今井有蔵，岸本直隆，小山祐平，氏田倫章，沢田詠見，瀬尾憲司：脂肪組織由来幹細胞からのCellExtractに含まれる何の成分が末梢神経再生を誘導するか，第92回新潟麻酔懇話会，第71回新潟ショックと蘇生・集中治療研究会，2021年12月4日，Web開催，2021，新潟市.
- 3) 小山祐平，岸本直隆，今井有蔵，氏田倫章，沢田詠見，瀬尾憲司：脂肪組織由来幹細胞の抽出物は損傷末梢神経を再接合させる，第92回新潟麻酔懇話会，第71回新潟ショックと蘇生・集中治療研究会，2021年12月4日，Web開催，2021，新潟市.
- 4) 田中 裕：治療に難渋している三叉神経障害性疼痛の1症例，厚生労働省令和3年度慢性疼痛診療体制モデル事業 新潟県慢性疼痛診療体制構築モデル事業人材育成研修会，2021年12月5日，Web開催，2021，新潟市.
- 5) 今井有蔵：脂肪組織由来幹細胞から抽出した Cell Extract の in vitro における末梢神経再生効果の検討，新潟大学医歯学総合病院手術部 金曜の会，2022年2月18日，新潟市，2022.
- 6) 小山祐平：脂肪組織由来幹細胞の抽出物を用いた末梢神経再生，新潟大学医歯学総合病院手術部 金曜の会，2022年3月4日，新潟市，2022.

#### 【社会貢献、教育活動、など】

- 1) 瀬尾憲司：北海道医療大学歯学部講義（学外講義）「歯科麻酔学」，2021年5月25日.
- 2) 瀬尾憲司：鹿児島大学歯学部 学外講義，2021年6月4日
- 3) 瀬尾憲司：鹿児島大学歯学部 大学院学外講義，2021年6月7日
- 4) 瀬尾憲司，岸本直隆，田中 裕，弦巻 立，倉田行伸，金丸博子，山本 徹：新潟大学歯学部FD 歯科医師によるワクチン接種実技講習会，2021年6月28日，新潟.

- 5) 瀬尾憲司, 岸本直隆, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 金丸博子, 山本 徹: 新潟大学歯学部 FD 歯科医師によるワクチン接種実技講習会(補講), 2021年7月8日, 新潟.
- 6) 瀬尾憲司, 岸本直隆, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 金丸博子, 佐藤由美子, 山本 徹, 今井有蔵, 小山祐平, 沢田詠見: 新潟県主催 大規模ワクチン接種業務(朱鷺メッセ), 2021年6月12日~8月7日, 新潟市, 2021.
- 7) 瀬尾憲司, 岸本直隆, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 金丸博子, 山本 徹: 新潟大学 ワクチン接種業務(医歯学総合病院職員・医歯学系学生対象), 2021年12月~2022年3月.
- 8) 瀬尾憲司: 新潟大学クラウドファンディング, 歯科治療での医療事故を防ぐ。救急対応時の教育映像の普及にご協力を(目標金額: 10,500,000円), 2022年2月17日~4月15日.
- 9) 瀬尾憲司, 岸本直隆, 田中 裕: 令和3年度見附市歯科医師会救急講習館, 2022年3月6日(ハイブリッド開催), 見附市.
- 10) 田中 裕: 新潟リハビリテーション大学大学院講義(学外講義), 「リスク管理学」, 2021年5月~6月.
- 11) 田中 裕, 木村慎二, 内山 徹, 松井 宏: 厚生労働省令和3年度慢性疼痛診療体制モデル事業 新潟県慢性疼痛診療体制構築モデル事業人材育成研修会主催, 2021年12月5日, Web開催, 2021, 新潟市.
- 12) 弦巻 立: 佐渡看護専門学校講義(学外講義), 「麻醉学」「薬理学」2021年5-12月.
- 13) 弦巻 立: 国際メディカル専門学校講義(学外講義), 「薬理学」「臨床薬理学」2021年4月~11月.
- 14) 倉田行伸: 新潟大学医歯学総合病院における新型コロナウイルス感染予防に対する取り組み. 日本歯科麻醉学会 Newsletter, 100:4-6, 2021.
- 15) 山本徹: Reviewer in Clinical Medicine Insights: Case Reports (Editor-in-Chief: Joris Berwaerts)
- 16) 山本徹: Reviewer in The Open Public Health journal (Editor-in-Chief: Matthias Beck)
- 17) 山本徹: Editorial board: International Journal of Medicin Dental Sciences
- 18) 山本徹: 三叉神経節ニューロンにおける エンドセリン受容体を介した応答, 新潟大学医歯学総合病院手術部 金曜の会, 2021年7月16日, 新潟市, 2021.
- 19) 氏田倫章: 獨協医科大学医学部口腔外科学講座・麻醉部 研修, 2021年4月1日~2021年3月31日.
- 2) 田中 裕: 日本慢性疼痛学会 専門歯科医 取得(歯-11号), 2022年1月1日
- 3) 倉田行伸: 日本歯科麻醉学会 歯科麻醉専門医更新(第357号), 2021年7月1日.
- 4) 金丸博子, 新潟大学大学院医歯学総合研究科 履修証明プログラム 災害医療ロジスティクス専門家コース修了(2019年10月-2021年9月)
- 5) 今井有蔵: 日本再生医療学会 認定医 取得(認定ID: M1-2022-00123), 2022年1月1日)
- 6) 今井有蔵: AHA BLS (2020) provider 取得, 2022年8月1日.
- 7) 小山祐平: 一般社団法人日本再生医療学会 再生医療認定医(認定ID: M1-2022-00128), 2022年1月1日.
- 8) 氏田倫章: AHA BLS (2015) provider 更新, 2021年6月22日
- 9) 氏田倫章: AHA ACLS (2015) provider 取得, 2021年7月17日~18日
- 10) 氏田倫章: 日本緩和医療学会 緩和ケア研修会修了, 2021年10月17日

## 高度口腔機能教育研究センター・歯学教育開発室

### 【著 書】

- 1) 前田健康: 歯科衛生士になるためのオリエンテーション2021(一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修), 5-6頁, 医歯薬出版, 東京, 2021年.
- 2) 前田健康: 序章 解剖学で学ぶこと・生理学で学ぶこと. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学(前田健康, 井上富雄, 山根 瞳, 山田小枝子, 畠中能子編), 1-8頁, 医歯薬出版, 東京, 2022年.
- 3) 井上佳世子: I編1章 2. 上皮と支持組織. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学(前田健康, 井上富雄, 山根瞳, 山田小枝子, 畠中能子編), 21-30頁, 医歯薬出版, 東京, 2022年.
- 4) 前田健康: II編5章 5. 外皮. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学(前田健康, 井上富雄, 山根 瞳, 山田小枝子, 畠中能子編), 161-167頁, 医歯薬出版, 東京, 2022年.
- 5) 山田友里恵, 前田健康: II編5章 6. 特殊感覚器の構造と機能. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学(前田健康, 井上富雄, 山根 瞳, 山田小枝子, 畠中能子編), 167-178頁, 医歯薬出版, 東京, 2022年.
- 6) 前田健康: II編6章 1. 神経系の概要. 歯科衛

### 【学会賞受賞, 資格取得, その他】

- 1) 田中 裕: 日本歯科麻醉学会 認定医 更新(第652号), 2021年8月25日

- 生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 (前田健康, 井上富雄, 山根 瞳, 山田小枝子, 畠中能子編), 167-178 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.
- 7) 前田健康: II 編 6 章 2. 神経系の基本構造. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 (前田健康, 井上富雄, 山根 瞳, 山田小枝子, 畠中能子編), 180-183f 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.
  - 8) 前田健康: II 編 6 章 6. 末梢神経系. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 (前田健康, 井上富雄, 山根 瞳, 山田小枝子, 畠中能子編), 196-204 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.
  - 9) 前田健康: II 編 9 章 1. 内分泌器官とホルモン. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 (前田健康, 井上富雄, 山根 瞳, 山田小枝子, 畠中能子編), 246-247 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.
  - 10) 前田健康: II 編 9 章 2. 内分泌器官の構造と機能. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 (前田健康, 井上富雄, 山根 瞳, 山田小枝子, 畠中能子編), 247-255 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.
  - 11) 前田健康: I 編 1 章 4. 顎関節. 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (前田健康, 増田裕次, 山根 瞳, 遠藤圭子, 水上美樹編), 35-37 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.
  - 12) 前田健康, 山田友里恵: I 編 1 章 6. 神経. 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (前田健康, 増田裕次, 山根 瞳, 遠藤圭子, 水上美樹編), 49-61 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.
  - 13) 前田健康: I 編 1 章 8. 咽頭と喉頭の構造. 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (前田健康, 増田裕次, 山根 瞳, 遠藤圭子, 水上美樹編), 63-70 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.
  - 14) 前田健康: I 編 2 章 1. 歯の解剖学総論. 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (前田健康, 増田裕次, 山根 瞳, 遠藤圭子, 水上美樹編), 72-82 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.
  - 15) 前田健康: IV 編 2. 口腔の組織を理解する実習. 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (前田健康, 増田裕次, 山根 瞳, 遠藤圭子, 水上美樹編), 278-282 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.
  - 16) 井上佳世子: I 編 1 章 解剖学. 歯科衛生士書き込み式学習ノート①専門基礎科目編 第3版 人体の構造と機能/歯・口腔の構造と機能/疾病の成り立ち及び回復過程の促進, 医歯薬出版, 東京, 2022 年印刷中.
  - 17) 前田健康: 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 (前田健康, 井上富雄, 山根 瞳, 山田小枝子, 畠中能子編), 医歯薬出版, 東京, 2022 年.
  - 18) 前田健康: 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (前田健康, 増田裕次, 山根 瞳, 遠藤圭子, 水上美樹編), 医歯薬出版, 東京, 2022 年.
- 【論文】**
- 1) Kudo T, Kawasaki M, Kawasaki K, Meguro F, Nihara J, Honda I, Kitamura M, Fujita A, Osawa K, Ichikawa K, Nagai T, Ishida Y, Sharpe PT, Maeda T, Saito I, Ohazama A: Ift88 regulates enamel formation via involving Shh signaling. *Oral Dis.*, 2022 Feb 21. doi: 10.1111/odi.14162. Online ahead of print.
  - 2) Nogami Y, Saitoh I, Inada E, Murakami D, Iwase Y, Kubota N, Nakamura Y, Nakakura-Ohshima K, Suzuki A, Yamasaki Y, Hayasaki H, Kaihara Y: Lip-closing strength in children is enhanced by lip and facial muscle training. *Clin. Exp. Dent. Res.*, 8(1): 209-216, 2022.
  - 3) Kato H, Ling Y, Hoshikawa E, Suzuki A, Haga K, Naito E, Uenoyama A, Okuda S, Izumi K: Detection of Potential Markers for Lip Vermilion Epithelium in Japanese Macaques Based on the Results of Gene Expression Profile. *Anatomia*, 1(1): 3-13, 2022.
  - 4) Kawaharada M, Yamazaki M, Maruyama S, AbÉ T, Chan NN, Kitano T, Kobayashi T, Maeda T, Tanuma JI: Novel cytological model for the identification of early oral cancer diagnostic markers: The carcinoma sequence model. *Oncol. Lett.*, 23(3): 76, 2022. doi: 10.3892/ol.2022.13196.
  - 5) Sasagawa K, Domon H, Sakagami R, Hirayama S, Maekawa T, Isono T, Hiyoshi T, Tamura H, Takizawa F, Fukushima Y, Tabeta K, Terao Y: Matcha green tea exhibits bactericidal activity against *Streptococcus pneumoniae* and inhibits functional pneumolysin. *Antibiotics (Basel)*, 10(12): 1550, 2021.
  - 6) Wu T, Zhu J, Strickland A, Ko KW, Sasaki Y, Dingwall CB, Yamada Y, Figley MD, Mao X, Neiner A, Bloom AJ, DiAntonio A, Milbrandt J: Neurotoxins subvert the allosteric activation mechanism of SARMI to induce



- neuronal loss. *Cell Rep* 37(3): 109872, 2021.
- 7) Yamada Y, Nihara J, Trakanant S, Kudo T, Seo K, Iida I, Izumi K, Kurose M, Shimomura Y, Terunuma M, Maeda T, Ohazama A: Perivascular Hedgehog responsive cells play a critical role in peripheral nerve regeneration via controlling angiogenesis. *Neurosci. Res.*, 173: 62-70, 2021.
  - 8) Yamaguchi H, Kitami M, Uchima Koecklin KH, He L, Wang J, Lagor WR, Perrien DS, Komatsu Y: Temporospatial regulation of intraflagellar transport is required for the endochondral ossification in mice. *Dev Biol.*, 482: 91-100, 2021.
  - 9) Yoshida N, Edanami N, Ohkura N, Maekawa T, Takahashi N, Tsuzuno T, Maeda T, Tabeta K, Izumi K, Noiri Y, Yoshida K: Laminin isoforms in human dental pulp: lymphatic vessels express laminin-332, and Schwann cell-associated laminin-211 modulates CD163 expression of M2-like macrophages. *Immunohorizons*, 5(12): 1008-1020, 2021.
  - 10) Kantaputra PN, Dejkhamron P, Intachai W, Ngamphiw C, Ketudat Cairns JR, Kawasaki K, Ohazama A, Olsen B, Tongsima S, Angkurawaranon S: A novel *P3H1* mutation is associated with osteogenesis imperfecta type VIII and dental anomalies. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol.*, 132(6): e198-e207, 2021.
  - 11) Haga K, Yamazaki M, Maruyama S, Kawaharada M, Suzuki A, Hoshikawa E, Chan NN, Funayama A, Mikami T, Kobayashi T, Izumi K, Tanuma JI: Crosstalk between oral squamous cell carcinoma cells and cancer-associated fibroblasts via the TGF- $\beta$ /SOX9 axis in cancer progression. *Transl. Oncol.*, 14(12): 1012362021, 2021.
  - 12) Xuan Ngo Y, Haga K, Suzuki A, Kato H, Yanagisawa H, Izumi K, Sada A: Isolation and culture of primary oral keratinocytes from the adult mouse palate. *J. Vis. Exp.*, Sep 24;(175), 2021.
  - 13) Domon H, Isono T, Hiyoshi T, Tamura H, Sasagawa K, Maekawa T, Hirayama S, Yanagihara K, Terao Y: Clarithromycin inhibits pneumolysin production via downregulation of *ply* gene transcription despite autolysis activation. *Microbiol. Spectr.*, 9(2): e00318-21, 2021.
  - 14) Naksagoon T, Takenaka S, Nagata R, Sotozono M, Ohsumi T, Ida T, Edanami N, Maeda T, Noiri Y: A repeated state of acidification enhances the anticariogenic biofilm activity of glass ionomer cement containing fluoro-zinc-silicate fillers. *Antibiotics (Basel)*, 10(8): 977, 2021.
  - 15) Nihara J, Kawasaki M, Kawasaki K, Yamada A, Meguro F, Kudo T, Trakanant S, Nagai T, Saito I, Maeda T, Ohazama A: Expression of R-spondins/Lgrs in development of movable craniofacial organs. *Gene Expr. Patterns*, 41:119195, 2021.
  - 16) Mineo S, Takahashi N, Yamada-Hara M, Tsuzuno T, Aoki-Nonaka Y, Tabeta K: Rice bran-derived protein fractions enhance sulforaphane-induced anti-oxidative activity in gingival epithelial cells. *Arch. Oral Biol.*, 129: 105215, 2021.
  - 17) Hoshikawa E, Sato T, Haga K, Suzuki A, Kobayashi R, Tabeta K, Izumi K: Cells/colony motion of oral keratinocytes determined by non-invasive and quantitative measurement using optical flow predicts epithelial regenerative capacity *Sci. Rep.*, 11(1):10403, 2021.
  - 18) Yamazaki M, Tsurumaki T, Yamada Y, Maeda T, Seo K: Rapid elevation of BDNF production in the bilateral trigeminal ganglia by unilateral transection of the mental nerve in mice. *Neuroreport*, 32(8): 659-665, 2021.
  - 19) Tsuzuno T, Takahashi N, Yamada-Hara M, Yokoji-Takeuchi M, Sulijaya B, Aoki-Nonaka Y, Matsugishi A, Katakura K, Tabeta K, Yamazaki K: Ingestion of *Porphyromonas gingivalis* exacerbates colitis via intestinal epithelial barrier disruption in mice. *J. Periodontal Res.*, 56(2): 275-288, 2021.
  - 20) Sato K, Yamazaki K, Kato T, Nakanishi Y, Tsuzuno T, Yokoji-Takeuchi M, Yamada-Hara M, Miura N, Okuda S, Ohno H, Yamazaki K: Obesity-related gut microbiota aggravates alveolar bone destruction in experimental periodontitis through elevation of uric acid. *mBio*, 12(3): e0077121, 2021.
  - 21) Tamura H, Maekawa T, Domon H, Hiyoshi T, Hirayama S, Isono T, Sasagawa K, Yonezawa D, Takahashi N, Oda M, Maeda T, Tabeta K, Terao Y: Effects of erythromycin on osteoclasts and bone resorption via DEL-1 induction in mice. *Antibiotics(Basel)*, 10(3): 312, 2021.
  - 22) Domon H, Maekawa T, Isono T, Furuta K, Kaito C, Terao Y: Proteolytic cleavage of HLA class II by human neutrophil elastase in pneumococcal pneumonia. *Sci. Rep.*, 11(1):2432, 2021.
  - 23) Hajishengallis G, Hasturk H, Lambris JD; Contributing authors: Maekawa T et al.: C3-targeted therapy in periodontal disease: moving closer to the clinic. *Trends. Immunol.*, 42(10):856-864, 2021.
  - 24) 前川知樹 : 内因性抗炎症分子 DEL-1 誘導による歯周病治療法の基盤研究. *日歯周誌*, 63(3): 97-104, 2021.
  - 25) 日吉 巧 : *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* は



ロイコトリエンにより好中球を傷害し、エラスターゼを漏出させることで、歯周組織破壊を誘導する。学位研究紹介, 新潟歯学会雑誌, 51(1): 55, 2021.

- 26) 北見恩美: 咬合高径の低下に対し治療用義歯を用いて咬合再構成を行った症例. 日補綴歯会誌, 13(2): 150-153, 2021.

#### 【商業誌】

- 1) 山田友里恵: 時代をつかむトピックス Overseas 海外便利セントルイス発 歯科受診をためらわせる、米国の民間医療保険システム. Quintessence, 40 巻 7 号, 1740 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2021 年.
- 2) 前川知樹: DEL-1 による加齢疾患治療法への展開. 別冊 BiO Clinica: 慢性炎症と疾患(内藤裕二 編), 10 巻 2 号, 159-163 頁, 北隆館, 東京, 2021 年.
- 3) 前川知樹: 研究者の最新動向 DEL-1 分子調節による骨代謝制御と抗加齢への展開. Precision Medicine, 4 巻 5 号, 495-499 頁, 北隆館, 東京, 2021 年.

#### 【研究費獲得】

- 1) 前田健康 (研究代表者): DNA 修復機構に着目した顎顔面領域における先天異常発生メカニズムの解明. 令和 3 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(B)), 19H03849, 2021.
- 2) 前川知樹 (研究代表者): 内因性抗炎症 Del-1 分子の誘導による炎症性骨破壊の新規治療戦略. 令和 3 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(B)), 19H03828, 2021.
- 3) 川崎勝盛 (研究代表者): 上顎正中過剰歯の発生メカニズムの解明. 令和 3 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(C)), 21K10182, 2021.
- 4) 飯田和泉 (渡辺和泉) (研究代表者): 前頭前野一扁桃体間の不安神経回路の解明. 令和 3 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (若手), 20K18454, 2021.
- 5) 原 実生 (研究代表者): ANGPTL4 による歯肉上皮系バリアシステム制御と創傷治癒に対する効果. 令和 3 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (若手), 20K18503, 2021.
- 6) 石田陽子 (研究代表者): 下顎骨形成メカニズムの解明. 令和 3 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(C)), 21K10088, 2021.
- 7) 北見恩美 (研究代表者): 加齢による変形性顎関節症を引き起こす細胞内輸送を制御するシグナル伝達経路の解明. 令和 3 年度 (新規) 日本学術振興

会科学研究費助成事業 (若手), 21K17035, 2021.

- 8) 鈴木絢子 (研究代表者): 光干渉式断層撮影を利用した培養口腔粘膜の非侵襲的、定量的品質評価方法の確立. 令和 3 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (若手), 20K18556, 2021.
- 9) 日吉 巧 (研究代表者): エラスターゼを標的とした歯周炎重症化機序の探索とその分子メカニズムの解明. 令和 3 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (スタート支援), 21K21058, 2021.
- 10) 田村 光 (研究代表者): エリスロマイシン改変体の抗炎症 Del-1 分子誘導による炎症性骨吸収制御法の検索. 令和 3 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (特別研究員奨励費), 20J15490, 2021.
- 11) 前田健康 (研究分担者): 皮膚の付属器官発生における老化活性の機能解明. 令和 3 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (挑戦的(萌芽)), (研究代表者: 大峽 淳), 21K19591, 2021.
- 12) 前田健康 (研究分担者): 代生歯堤の形成・維持メカニズムの解明. 令和 3 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(B)「一般」), (研究代表者: 大峽 淳), 21H03122, 2021.
- 13) 前田健康 (研究分担者): 脱分化脂肪細胞由来の細胞抽出物による末梢神経損傷の新たな治療法開発. 令和 3 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(B)「一般」), (研究代表者: 瀬尾憲司), 19H03850, 2021.
- 14) 前田健康, 川崎勝盛 (研究分担者): 顎顔面の発生過程における一次繊毛の機能解明: シグナル経路のクロストークの観点から. 令和 3 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(C)), (研究代表者: 川崎真依子), 20K10092, 2021.
- 15) 前川知樹 (研究分担者): 薬剤耐性肺炎球菌の in vivo MS 解析とキューブ型 DNA 抗菌薬の開発研究. 令和 3 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(B)「一般」), (研究代表者: 寺尾 豊), 20H03858, 2021.
- 16) 前川知樹 (研究分担者): MRSA を特異標的とする CRISPR-Cas 型抗菌薬の開発研究. 令和 3 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (挑戦的(萌芽)), (研究代表者: 寺尾 豊), 20K21671, 2021.
- 17) 前川知樹 (研究分担者): 肺炎重症化因子のプロテオーム解析を基盤とする創薬研究への展開. 3 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤(C)), (研究代表者: 土門久哲), 20H03858, 2021.

- 18) 飯田和泉(渡辺和泉)(研究分担者): 歯周病原細菌感染症としての精神疾患発症機構の解明. 令和3年度(新規)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(B)「一般」), (研究代表者: 照沼美穂), 21H03109, 2021.
- 19) 飯田和泉(渡辺和泉)(研究分担者): アルコール摂取がもたらす認知機能障害の分子基盤. 令和3年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化B)), (研究代表者: 照沼美穂), 18KK0258, 2021.
- 20) 鈴木絢子(研究分担者): 足場材の硬さの違いを利用した上皮角化・非角化様式解明と培養口腔粘膜作成法への応用. 令和3年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(B)「一般」), (研究代表者: 泉 健次), 20H03870, 2021.
- 21) 前川知樹: The correlation of ectopic calcification signatures in the ageing eye and cardiovascular system. 令和3年度(継続)医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(Interstellar Initiative), 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED), 20jm0610030h0001, 2021.
- 22) 前川知樹: 恒常性維持タンパク質 DEL-1 の自律的誘導方による抗炎症不活化機構の解明. 2021年度(継続)公益財団法人 武田科学振興財団 医学系研究助成(基礎).
- 23) 前川知樹: DEL-1 分子による抗炎症と再生賦活化機構の解明. 令和3年度(継続), 公益財団法人 興和生命科学振興財団研究助成.
- 24) 前川知樹: DEL-1 分子による免疫調節および骨再生賦活化メカニズム解明. 令和3年度(継続)公益財団法人 テルモ生命科学振興財団 研究開発助成.
- 25) 前川知樹: DEL-1 が繋ぐ口腔の細胞間ネットワーク機構解明. 令和3年度(継続)公益財団法人 上原記念生命科学財団 研究奨励金.
- 26) 前川知樹: DEL-1 の誘導による結合組織修復促進と骨再生法の基盤研究. 令和3年度(継続)公益財団法人 中富健康科学振興財団研究助成.
- 27) 飯田和泉: カイニン酸型グルタミン酸受容体 GluK1 を介した不安神経回路の同定. 令和3年度(新規)新潟大学 U-go グラント.
- 28) 日吉 巧: オゾンナノ水を用いた医療と食の安全研究. 令和3年度(新規)新潟大学 U-go グラント.
- 29) 鈴木絢子: マイクロパターン化魚うろこコラーゲン膜のミニブタ口蓋欠損部への移植後創傷治癒に関する有効性の検証. 令和3年度(新規)公益財団法人ユニオンツール育英奨学会 研究助成金.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) 前川知樹: 内因性抗炎症分子 DEL-1 誘導による歯周病治療法の基盤研究. 第64回春季日本歯周病学会学術大会, 盛岡(Web開催), 2021. 5. 21-6. 22, 日歯周誌, 63 春季特別: 66, 2021.
- 2) 前川知樹: DEL-1 を介したエリスロマイシンの抗炎症メカニズム解明. 歯科基礎医学会学会奨励賞受賞講演, 第63回歯科基礎医学会学術大会, 横須賀(Web開催), 2021. 10. 9-11, J. Oral Biosci. Suppl.: 36, 2021.

#### 【学会発表】

- 1) Naksagoon T, Takenaka S, Nagata R, Sotozono M, Ohsumi T, Maeda T, Noiri Y: Effects of water aging on anti-biofilm properties of a glass ionomer cement containing fluoro-zinc-silicate fillers. 令和3年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2021. 7. 10, 新潟歯学会雑誌, 51(2): 43, 2021.
- 2) 笹川花梨, 土門久哲, 平山 悟, 前川知樹, 磯野俊仁, 日吉 巧, 田村 光, 寺尾 豊: 肺炎球菌に対する抹茶成分の作用解析. 第63回歯科基礎医学会学術大会, 横須賀(Web開催), 2021. 10. 9-11, J. Oral Biosci. Suppl.: 191, 2021.
- 3) 日吉 巧: 好中球エラスターゼの歯肉上皮バリア傷害作用による歯周炎重症化メカニズム解析. Sunstar Young Investigator Award 口演, 第64回秋季歯周病学会学術大会, 名古屋, 2021. 10. 15-16 (11. 1-30 Web 配信), 日歯周誌, 64 秋季特別: 104, 2021.
- 4) シリセーリイパップ クリタパット, 田村 光, 前川知樹, 多部田康一: 老齢マウスにおける DEL-1 を介した骨代謝機構の解析. 第64回秋季歯周病学会学術大会, 名古屋, 2021. 10. 15-16 (11. 1-30 Web 配信), 日歯周誌, 64 秋季特別: 143, 2021.
- 5) 日吉 巧, 土門久哲, 前川知樹, 田村 光, 笹川花梨, 多部田康一: エラスターゼの歯肉上皮バリア傷害作用を介した歯周組織破壊機序の解析. 第155回日本歯科保存学会 2021年度秋季学術大会, 新潟(Web開催), 2021. 10. 28-11. 10, プログラムおよび講演抄録集 155回: 118, 2021.
- 6) 田村 光, 前川知樹, 土門久哲, 日吉 巧, 多部田康一: 老齢マウスにおける DEL-1 を介した骨代謝機構の制御. 第155回日本歯科保存学会 2021年度秋季学術大会, 新潟(Web開催), 2021. 10. 28-11. 10, プログラムおよび講演抄録集 155回: 119, 2021.
- 7) Suebsamarn O, Suzuki A, Naito E, Kobayashi R,

Hayasaki H, Izumi K: Application of optical coherence tomography for non-invasive evaluation of tissue-engineered oral mucosa equivalent. 令和3年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2021. 11. 6, 新潟歯学会雑誌, 51(2) : 48-49, 2021.

- 8) 内藤絵里子, 羽賀健太, 小林亮太, Orakarn Suebsamarn, 鈴木絢子, 齋藤夕子, 山崎 学, 田沼順一, 井川和代, 富原 圭, 泉 健次: 正常口腔粘膜細胞と口腔癌細胞を用いた3次元 in vitro モデル作製法とその応用. 第57回日本口腔組織培養学会学術大会, 三重 (オンライン開催), 2021. 11. 06, 抄録集 : 14, 2021.
- 9) 小林亮太, 干川絵美, 佐藤大祐, Orakarn Suebsamarn, 内藤絵里子, 鈴木絢子, 富原 圭, 泉 健次: 細胞品質評価ツールとして口腔粘膜角化細胞に対する非侵襲的運動能測定の有用性に関する検討. 第57回日本口腔組織培養学会学術大会, 三重 (オンライン開催), 2021. 11. 06, 抄録集 : 28, 2021.
- 10) 鈴木 絢子, Orakarn Suebsamarn, 上村 祥文, 木田 雅子, 岸本 一真, 兒玉 泰洋, 小松 隆史, 大澤 康暁, 水野 綾介, 内藤 絵里子, 小林亮太, 水野潤, 泉健次: 培養口腔粘膜の品質管理ツールとしての光干渉式断層撮影法の有用性の検討. 第21回日本再生医療学会総会, Web 開催, 2022. 3. 17-19. (3. 17-4. 15 Web 配信), 2022.

#### 【受賞】

- 1) Maekawa T: The Correlation of ectopic calcification signatures in the ageing eye and cardiovascular system. 2021 Catalyst Award, Healthy Longevity Grand Challenge, National Academy of Medicine, 2021. 9. 22.
- 2) 日吉 巧: 好中球エラスターゼによる歯周炎重症化メカニズム解析と新規治療法への応用. 2020年度新潟歯学会学術賞 (歯学会奨励賞), 2021. 4. 17.
- 3) 前川知樹: DEL-1を介したエリスロマイシンの抗炎症メカニズム解明. 歯科基礎医学会学会奨励賞, 第63回歯科基礎医学会学術大会, 横須賀(Web開催), 2021. 10. 9-11, J. Oral Biosci. Suppl. : 36, 2021.

### 口腔生命福祉学科

#### 【著書】

- 1) 小野和宏: 第8章 教室と現場をつなぐ PBL. ディープ・アクティブラーニング中国語版(松下佳代, 京都大学高等教育研究開発推進センター編著), 184-207頁, POSTS & TELECOM PRESS, 北京, 2021.

- 2) 吉羽邦彦: 歯科診療で行うこと-主な診療の流れ- 5. 歯科保存. 歯科衛生士のための歯科臨床概論 第2版(松井恭平 他編), 58-67頁, 医歯薬出版, 東京, 2022.
- 3) 葭原明弘, 宮崎秀夫: コミュニケーション行動科学 第2版 13章. 217-223頁, 医歯薬出版, 東京, 217-223, 2022.
- 4) 葭原明弘: 10章 学校保健 デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学. 142-154頁, 医歯薬出版, 東京, 2022.
- 5) 中村健: 全国公的扶助研究会季刊公的扶助研究編集委員会編集: オンラインセミナー版初級学校で4名の新規入会!. 季刊公的扶助研究 第261号(中村健 他), 13-16頁, 萌文社, 東京, 2021.
- 6) 中村健: 全国公的扶助研究会季刊公的扶助研究編集委員会編集: 速報! 扶養照会アンケート調査報告. 季刊公的扶助研究 第261号(中村健 他), 23-24頁, 萌文社, 東京, 2021.
- 7) 中村健: 全国公的扶助研究会季刊公的扶助研究編集委員会編集: あなたの意見で制度が変わる! 実施要領改正のすすめ②. 季刊公的扶助研究 第261号(中村健 他), 28-29頁, 萌文社, 東京, 2021.
- 8) 中村健: 公益社団法人部落問題研究所: 生活保護申請と扶養照会の問題点. 人権と部落問題 2021年9月号No.951(中村健 他), 28-35頁, 公益社団法人部落問題研究所, 京都, 2021.
- 9) 中村健: 全国公的扶助研究会季刊公的扶助研究編集委員会編集: 初の試み、オンライン開催の全国セミナー. 季刊公的扶助研究 第264号(中村健 他), 43頁, 萌文社, 東京, 2022.
- 10) 中村健: 新潟市西蒲区社会福祉協議会: 「自己責任」で他者を見るということ. とある生活保護ケースワーカーの話. iroiro ホントはみんな、生きづらい(中村健 他), 17-19頁, 新潟市西蒲区社会福祉協議会, 新潟, 2022.

#### 【論文】

- 1) Sasajima M, Yoshihara A, Odajima A: Effects of oral function training and oral health status on physical performance in potentially dependent older adults. Int J Environ Res Public Health 18:11348, 2021.
- 2) NCD Risk Factor Collaboration (NCD-RisC): Worldwide trends in hypertension prevalence and progress in treatment and control from 1990 to 2019: a pooled analysis of 1201 population-representative studies with 104 million participants. Lancet 24;S0140-6736(21)01330-1, 2021.
- 3) NCD Risk Factor Collaboration (NCD-RisC):

Heterogeneous contributions of change in population distribution of body mass index to change in obesity and underweight. *eLife* 10: e60060, 2021.

- 4) Yoshihara A, Suwama K, Miyamoto A, Watanabe R, Ogawa H: Diet and root surface caries in a cohort of older Japanese. *Community Dent Oral Epidemiol* 49:301-308, 2021.
- 5) Yoshihara A, Kaneko N, Miyamoto A, Nohno K: Interaction between and impact of *IL-6* genotype and  $\alpha$ -tocopherol levels on periodontal condition in aging individuals. *J Periodontal Res* 56(1):139-146, 2021.
- 6) Iwasaki M, Sato M, Yoshihara A, Saito T, Kitamura K, Ansai T, Nakamura K: A 5-year longitudinal association between dietary fermented soybean (natto) intake and tooth loss through bone mineral density in postmenopausal women: the Yokogoshi cohort study. *Gerodontology* 38(3): 267-275, 2021.
- 7) Iwasaki M, Yoshihara A: Dentition status and 10-year higher-level functional capacity trajectories in older adults. *Geriatr Gerontol Int* 21(1):48-53, 2021.
- 8) Kiswanjaya B, Yoshihara A, Miyazaki H: Low Body Mass Index as a Risk Factor for the Onset of Porosity of the Mandibular Bone in the Elderly. *Pesquisa Brasileira em Odontopediatria e Clínica Integrada* 21: e5900, 2021.
- 9) Yoshida N, Edanami N, Ohkura N, Maekawa T, Takahashi N, Tsuzuno T, Maeda T, Tabeta K, Izumi K, Noiri Y, Yoshida K: Laminin isoforms in human dental pulp: Lymphatic vessels express Laminin-332, and Schwann cell-associated Laminin-211 modulates CD163 expression of M2-like macrophages. *Immunohorizons* 5(12): 1008-1020, 2021.
- 10) Ibn Belal RS, Edanami N, Yoshida K, Yoshida N, Ohkura N, Takenaka S, Noiri Y: Comparison of calcium and hydroxyl ion release ability and in vivo apatite-forming ability of three bioceramic-containing root canal sealers. *Clin Oral Investig* 26(2): 1443-1451, 2022.
- 11) Edanami N, Ibn Belal RS, Yoshida K, Yoshida N, Ohkura N, Takenaka S, Noiri Y: Effect of a resin-modified calcium silicate cement on inflammatory cell infiltration and reparative dentin formation after pulpotomy in rat molars. *Aust Endod J*. 2021. doi: 10.1111/aej.12568.
- 12) Edanami N, Ibn Belal RS, Takenaka S, Yoshida K, Yoshida N, Ohkura N, Takahara S, Noiri Y: Apatite-forming ability of flowable vs. putty formulations of newly developed bioactive glass-containing endodontic cement. *Appl Sci*. 11(19): 8969, 2021.
- 13) Arai Y, Inanobe-Takatsuka M, Takashima M, Ogawa S, Kawamura A, Nohno K, Uoshima K: Reducing bacterial counts around the abutment following professional mechanical plaque removal at the implant bridge: A randomized crossover comparison of removing or not removing the superstructure. *J Prosthodont Res* 65(1): 91-96.2021.
- 14) Shinohara C, Ito K, Takamatsu K, Ogawa M, Kajii Y, Nohno K, Sugano A, Funayama S, Katakura A, Nomura T, Inoue M: Factors associated with xerostomia in perimenopausal women. *J Obstet Gynaecol Res* 47(10):3661-3668, 2021.
- 15) Yasuda M, Ito K, Nohno K, Takamatsu K, Ogawa M, Funayama S, Inoue M: Association between Multiple Oral Complaints and Menopausal Symptoms: An Observational Study. *J Womens Health Dev* 4: 160-173, 2021.
- 16) Yasuda M, Ito K, Nohno K, Funayama S, Takamatsu K, Ogawa M, Inoue M: Factors Associated with Oral Dryness in Women: An Analysis by Age. *J Womens Health Care Manage* (3)1:132. 2022.
- 17) Mizoguchi N, Nohno K, Yoshihara A, Ito K, Funayama S, Ogawa H: Association of hyper-low-density lipoprotein and hypo-high-density lipoprotein cholesterolemia with low saliva flow rates in Japanese community-dwelling elders. *International Archives of Otorhinolaryngology* in press
- 18) Yoshihara A, Nakashima K, Suwama K, Odajima A, Yamaga T, Ogawa H: Interaction between serum vitamin C levels and smoking on the periodontal condition in older adults. *J Periodontal Res*, in press.
- 19) 宮本茜, 田村浩平, 杉本智子, 葭原明弘: 新潟県の障害児者施設利用者における口腔保健の実態および歯科専門職配置との関連. *口腔衛生会誌* 71: 126-135, 2021.
- 20) 秋山理加, 濱寄朋子, 岩崎正則, 角田聡子, 片岡正太, 茂山博代, 濃野 要, 葭原明弘, 小川祐司, 安細敏弘, 宮崎秀夫: 地域在宅超高齢者の食事パターンと栄養素摂取量, 栄養状態および嚥下状態との関連. *口腔衛生会誌* 71: 136-146, 2021.
- 21) 小田島祐美子, 葭原明弘, 渡邊智子, 小川祐司: 高齢者の肉の脂身の嗜好の高さに影響を及ぼす要因と身体状況, 血液検査状況, 食品群別・栄養素等別摂取量の関連. *新潟歯学会誌* 51(1): 15-24, 2021.
- 22) 小田島あゆ子, 葭原明弘, 石上和男: 地域在住高齢者を対象とした口腔機能訓練が与える頸部可動域の改善効果. *口腔衛生会誌* 72 11-17, 2022.

- 23) 濃野 要, 葭原明弘, 小川祐司: 身体機能低下および認知機能低下の予防に寄与する口腔関連因子の解明. 日歯医学会誌 40: 61-66, 2021.
- 24) 秋山理加, 濱寄朋子, 岩崎正則, 角田聡子, 片岡正太, 茂山博代, 濃野 要, 葭原明弘, 小川祐司, 安細敏弘, 宮崎秀夫: 地域在宅超高齢者の食事パターンと栄養素摂取量, 栄養状態および嚥下状態との関連. 口腔衛生会誌 71: 136-146, 2021.

#### 【研究費獲得】

- 1) 小坂健, 葭原明弘 (分担) 他: 成人期における口腔の健康と全身の健康の関係性の解明のための研究, 令和3年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業), 21FA1013, 2021.
- 2) 米澤大輔, 葭原明弘, 堀一浩: 高齢者における低栄養防止の新戦略—義歯指導に併せたテーラーメイド栄養指導法構築—. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 20K10290, 2021.
- 3) 葭原明弘, 成田一衛, 宮崎秀夫, 杉田典子: 歯周組織および口蓋扁桃の病態からみた慢性腎臓病に対する多角的発症メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 18H03013, 2021.
- 4) 米澤大輔: 令和3年度新潟大学学長教育助成. 新潟大学 令和3年度新潟大学学長教育助成制度. 2021
- 5) 成田一衛, 葭原明弘 (分担) 他: 腎性老化現象における粘膜免疫の役割: 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 19H03674H, 2021.
- 6) 吉羽邦彦, 吉羽永子, 枝並直樹, 細矢明宏, 入江一元: 歯髄の創傷治癒・再生過程における Gli1 陽性幹細胞の動態と分化誘導機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) 21K09914, 2021.
- 7) 吉羽永子, 吉羽邦彦, 大倉直人, 枝並直樹: ヒト歯髄の創傷治癒過程における M2 マクロファージとシュワン細胞の相互作用の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 19K10146, 2021.
- 8) 細矢明宏, 建部廣明, 吉羽邦彦, 入江一元: 蛍光標識した歯根膜幹細胞による骨芽細胞分化誘導法の確立. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) 19K10171, 2021.
- 9) 諏訪加奈: アルコール摂取が歯周病に与える影響および他栄養素を含む包括的環境要因の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 17K17367, 2021.
- 10) 相田潤, 濃野要: 歯科口腔保健の推進に資するう蝕予防のための手法に関する研究. 厚生労働科学研究

費補助金, 21IA2020B, 2021.

- 11) 小川祐司, 濃野要: 糖尿病患者の脳梗塞リスクに対する抗菌的歯周治療の有用性に関するランダム化比較試験. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 20K10291, 2021
- 12) 船山さおり, 濃野要: 自発性異常味覚の苦味の正体にせまる. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 20K10264, 2021.
- 13) 金子昇, 濃野要: 口腔細菌叢のメタゲノム解析によるドライマウスの病態解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 19K10421, 2021
- 14) 松下佳代, 小野和宏, 斎藤有吾, 深堀聰子, 丹原惇, 石井英真: 分野固有性と汎用性の関係に着目した知識・能力 (スキル) の形成と評価. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 18H00975, 2018-2022. (コロナ特例による繰越)
- 15) 小澤薫, 中村健, 小池由佳: 低所得世帯の子どもに対する子育て支援環境の整備に関する実証的研究. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 21K01976, 2021.
- 16) 小田島あゆ子: 高齢者における頭頸部の機能維持による平衡機能低下の抑制効果. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 19K19327, 2019-2022.
- 17) 隅田好美, 小田島あゆ子 (分担) 他: 「社会参加」を促進する地域づくりの課題と主観的・客観的意義: 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 19H01588, 2019-2022.
- 18) Stegaroiu Roxana, 荒井良明, 黒川孝一, 田中茂雄: 骨梁三次元有限要素モデルの応力からインプラント過重負担と辺縁骨吸収との関連を探索, 基盤研究 (C), 課題番号 20K10031, 2021.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) 葭原明弘: 小児・学校歯科保健から産業歯科保健へ—新潟県での事例も含めて—第94回日本産業衛生学会, 松本, まつもと市民芸術館, 2021年5月18-21日, 2021.

#### 【学会発表】

- 1) Ibn Belal RS, Edanami N, Yoshiba K, Yoshiba N, Ohkura N, Takenaka S, Noiri Y: Apatite forming ability of different endodontic bioceramics in vivo and under in vivo mimicking condition. 令和3年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2021年7月10日, 新潟歯学会雑誌 51(2): 113-114 頁, 2021.
- 2) Rei Ominato, Kazuhiro Ono, Kaname Nohno, Ryutaro Yuki, Andrea Rei Estacio Salazar, Yasumitsu Kodama,

- Akihiko Iida, Ritsuo Takagi: The relationship between the retracted oral articulation and the posterior edge of the residual cleft in two-stage palatoplasty. 25th Congress of the European Association for Cranio Maxillo Facial Surgery, virtual congress, 2021年7月14-16日.
- 3) Suwama K, Yoshihara A, Kaneko N, Hoshino T, Iwasaki M, Ito Y, Tanaka J, Narita I: Relationship between alcohol consumption and number of present teeth in community-dwelling Japanese, The 2021 IADR/AADR/CADR General Session in Boston, Mass, USA. 2021年7月21-24日.
  - 4) Shibata S, Furuta A, Ikeda Y, Stegaroiu R, Ogawa Y, Ishiguro-Matsumoto A, Ohuchi A: Executive Function-related Oral Health Behavior of Disabled at Commuting Welfare Facilities. The 2021 IADR/AADR/CADR General Session in Boston, Mass, USA. 2021年7月21-24日.
  - 5) Ichikawa Y, Kaneko N, Nohno K, Ogawa H: Root caries risk assessment: Measuring salivary IgA specific to PAc(361-386). 35th Annual Scientific Meeting of the International Association for Dental Research (IADR) SEA Division, Hong Kong (China), Virtual Meeting, 2021年12月8-9日.
  - 6) Thwin KM, Lin WT, Kaneko N, Nohno K, Ogawa H: Anti-caries and anti-microbial effects of school-based fluoride programs in Myanmar. The 35th Annual Scientific Meeting of the International Association for Dental Research (IADR) SEA Division, Hong Kong, China, Virtual Meeting, 2021年12月8-9日.
  - 7) 大湊麗, 小野和宏, 児玉泰光, 飯田明彦, 永田昌毅, 高木律男: 二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討—8歳までの言語成績—. 第45回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 宝塚市, 2021年5月20-21日, 日本口蓋裂学会雑誌 46(2): 104頁, 2021.
  - 8) 児玉泰光, 小林亮太, 山田茜, Andrea Rei Estacio Salazar, 結城龍太郎, 永井孝宏, 大湊麗, 池田順行, 市川佳弥, 丹原惇, 新美奏恵, 若槻華子, 宮田昌幸, 小野和宏, 齋藤功, 小林正治, 高木律男: 新潟大学医歯学総合病院における新診療体制後の口唇口蓋裂患者動向調査. 第45回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 宝塚市, 2021年5月20-21日, 日本口蓋裂学会雑誌 46(2): 133頁, 2021.
  - 9) 中村健: 生活保護・生活福祉資金の現状. にいがた公的扶助研究会総会・定例会, オンライン, 2021年5月22日.
  - 10) 皆川久美子, 葭原明弘, 諏訪間加奈, 小川祐司: 65再異常のメタボリックシンドローム有病者における現在歯数と心の健康状態の関連(魚沼コホート調査より), 第70回, 日本口腔衛生学会・総会, web開催, 1. 2021年5月27日~6月10日, Web
  - 11) 濃野要, 金子昇, 伊藤加代子, 船山さおり, 葭原明弘, 小川祐司: 地域在住高齢者における繁樹唾液量の減少に関する因子の探求: 1年縦断調査, 第70回, 日本口腔衛生学会・総会, Web開催, 2021年5月27日~6月10日,
  - 12) 鈴鹿祐子, 大川由一, 葭原明弘: 歯科衛生士養成校学生の臨床実習におけるストレス反応の実態と関連要因について. 令和3年度新潟歯学会総会, 新潟市, 2021年7月10日.
  - 13) 星野剛志, 金子昇, 葭原明弘, 諏訪間加奈, 小川祐司: 高齢者における血漿中 Porphyromonas gingivalis 抗体価と心房細動との関連, 令和3年度新潟歯学会総会. 新潟市, 2021年7月10日.
  - 14) 中村健: 福祉事務所における扶養照会. 第12回生活保護問題議員研修会講座B, オンライン, 2021年8月10日
  - 15) 古田彩佳, 柴田佐都子, 池田吉史, ステガロユ ロクサーナ, 小川友里奈, 松本明日香, 大内章嗣: 障害者福祉施設の通所者を対象とした口腔保健状況と実行機能の実態調査. 日本歯科衛生学会雑誌 16(1): 74頁, 2021年. 日本歯科衛生学会第16回学術大会, 岩手県 (Web開催), 2021年9月18-31日.
  - 16) 沖津佳子, 高野綾子, 柴田佐都子, ステガロユ ロクサーナ, 大内章嗣: 歯科衛生士による口腔衛生管理に要する時間と臨床経験年数との検討. 日本歯科衛生学会雑誌, 16(1): 77頁, 2021年. 日本歯科衛生学会第16回学術大会, 岩手県 (Web開催), 2021年9月18-31日.
  - 17) 倉又七海, 枝並直樹, 野杵由一郎, 吉羽邦彦: フッ化ジアンミン銀の歯根象牙質脱灰抑制効果の検討. 日本歯科保存学会 2021年度秋季学術大会 (第155回), 2021年10月28日~11月10日 (Web開催), 日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集 155回: 135頁, 2021.
  - 18) 松本明日香, 柴田佐都子, 小川友里奈, 池田吉史, ステガロユ ロクサーナ, 大内章嗣: 障害福祉施設通所知的障害者の口腔保健支援に向けた実行機能と関連する歯磨き行動質問紙の有用性の検討, 令和3年度新潟歯学会第2回例会. 新潟市, 2021年11月6日, 新潟医療人育成センター, 2020.
  - 19) 市川 優, 金子 昇, 濃野 要, 小川祐司: 高齢者における唾液抗 Streptococcus mutans 特異抗体を用いた根面う蝕発生リスクの検討, 令和3年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2021年11月6日, 新潟歯学会誌, 51(2): 122-123, 2021.

- 20) 中村健: 制度利用をためらわせる扶養照会. 第 53 回 公的扶助研究全国セミナー分科会 1, オンライン, 2021 年 11 月 6 日
- 21) 松本明日香, ステガロユ ロクサーナ, 諏訪間加奈, 柴田佐都子, 葭原明弘, 大内章嗣: 新潟大学歯学部 口腔生命福祉学科卒業生の就業状況と仕事および 学科教育満足度に関する調査, 第 40 回日本歯科医学教育学会学術大会, 2021 年 11 月 20 日-12 月 3 日 (Web 開催), プログラム・抄録集: 91 頁, 2021.
- 22) 平原茉結, 小田島あゆ子, 葭原明弘: 高齢者における 歯数および栄養摂取量とサルコペニアとの関連, 甲信越北陸口腔保健研究会, 第 32 回総会・学術大会, Web 開催, 2021 年 11 月 20 日.
- 23) 秋葉奈美, 秋葉陽介, 小野和宏, 長澤麻沙子, 魚島 勝美: 卒前の総合模型実習と深慮参加型臨床実習が 臨床研修開始時の歯科臨床能力に及ぼす効果. 第 40 回日本歯科医学教育学会学術大会, オンライン 開催, 2021 年 11 月 20 日-12 月 3 日.
- 24) 中村健: コロナ禍に対応する政策の動向. にいがた 公的扶助研究会定例学習会, 新潟, 2021 年 12 月 19 日.
- 25) 田所大典, 相田潤, 草間太郎, 井下英二, 竹内研時, 濃野要, 松山祐輔, 三宅達郎, 小坂健: コロナ禍に おける歯磨き及び集団フッ化物洗口等の実施状況 報告 第 80 回日本公衆衛生学会総会, ハイブリッド 方式開催, 2021 年 12 月 21-23 日, 第 80 回日本公衆 衛生学会総会演題集, 437, 2021.
- 26) 田中 梓, 皆川久美子, 濃野 要, 小川祐司: 2 型 糖尿病患者における歯周病炎症面積と脳梗塞発症 リスクとの関連. 第 80 回日本公衆衛生学会総会, ハイブリッド方式開催, 2021 年 12 月 21-23 日, 第 80 回日本公衆衛生学会総会演題集, 438, 2021.
- 27) 小田島あゆ子, 隅田好美, 船山昭典 3, 新美奏恵, 三上俊彦, 小林正治: 口腔がん術後高齢者における 身体機能、口腔機能および社会参加の実態. 第 66 回 公益社団法人日本口腔外科学会, オンライン開催, 2021 年 11 月 12-14 日
- Web 開催, 2021 年 10 月 2 日.
- 3) 中村健: 研修会ファシリテーター, ソーシャルワー カーデイにいがた 2021, 公益社団法人新潟県社会福 祉士会主催, オンライン, 2021
- 4) 中村健: 研修会講師, ケアマネを取り巻く地域福祉 課題の現状, 新潟市居宅介護支援事業者連絡協議会 主催, 新潟 (ハイブリッド方式), 2021
- 5) 中村健: 研修会講師, 生活保護について学ぶための 研修会, 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会主 催, 新潟 (ハイブリット方式), 2021
- 6) 中村健: 研修会講師, 新潟で一番よくわかるケース ワーカー講座, 新潟県主催, オンライン, 2021
- 7) 中村健: 研修会講師, 新潟で一番よくわかる査察指 導の話, 新潟県主催, オンライン, 2021
- 8) 中村健: 研修会講師, 新潟で一番よくわかる生活保 護の話, 新潟県パーソナルサポートセンター主催, 新潟, 2021
- 9) 中村健: 研修会講師, 新潟で一番よくわかる生活保 護の話, 新潟市地域包括支援センターふなえ主催, 新潟, 2021
- 10) 中村健: 研修会講師, ケースワーカーを支える組織 運営, 新潟市主催, 新潟, 2021
- 11) 中村健: 研修会講師, よくわかるケースワーク講座, 千葉県社会福祉協議会主催, オンライン, 2021
- 12) 中村健: 研修会講師, 新潟で一番よくわかる生活保 護の話, 株式会社あしたの森主催, オンライン, 2021
- 13) 中村健: 研修会ファシリテーター, 令和 3 年度生活 保護就労支援員全国研修会, 厚生労働省主催, オン ライン, 2021
- 14) 中村健: 研修会講師, よくわかる査察指導の話, 千 葉県社会福祉協議会主催, オンライン, 2021
- 15) 中村健: 研修会報告者及びファシリテーター, 公的 扶助の視点から, 若者応援おせっかいサポーター主 催, オンライン, 2022
- 16) 中村健: 研修会講師, 新潟で一番よくわかる生活保 護の話, 新潟市地域包括支援センター山潟主催, 新 潟, 2022

#### 【受賞】

葭原明弘: 特定非営利活動法人は一もにプロジェクト: 令和 3 年度公衆衛生事業功労者表彰 日本公衆衛生協会, 2022 年 2 月

#### 【その他】

- 1) 米澤大輔: 主体的学修を推進する新潟大学の取り 組みー令和 3 年度学長教育助成制度成果報告会 ー. 令和 3 年度新潟大学全学 FD・SD, 2022.3.9.
- 2) 濃野 要: 夢ナビライブ 2021 Web in Autumn 講演.

#### 歯科臨床教育学／歯科総合診療科

#### 【論文】

- 1) Okamoto K, Hasegawa M, Piriyaprasath K, Kakihara Y, Saeki M, Yamamura K: Preclinical models of deep craniofacial nociception and temporomandibular disorder pain. Jpn Dent Sci Rev 57: 231-241, 2021.
- 2) Akihiro Yoshihara, Kana Suwama, Akane Miyamoto, Reiko Watanabe, Hiroshi Ogawa: Diet and root surface



caries in a cohort of older Japanese. Community Dent Oral Epidemiol 49(3): 301-308, 2021.

- 3) 佐藤拓実, 野村みずき, 都野さやか, 中村太, 伊藤晴江, 長谷川真奈, 藤井規孝: 研修歯科医の下顎総義歯内面適合診査における強圧部分の判断に関する臨床技能教育方法の検討. 日本歯科医学教育学会雑誌 37 巻 3 号, 19-27 頁, 2021.
- 4) 長谷川真奈, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 中村太, 佐藤拓実, 藤井規孝: 歯科衛生士による研修歯科医の診療パフォーマンス評価の試み. 日本歯科医学教育学会雑誌 37 巻 1 号, 3-10 頁, 2021.
- 5) 齋藤豪, 佐藤拓実, 中村太, 都野さやか, 野村みずき, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 長谷川真奈, 藤井規孝: 新潟大学医歯学総合病院における研修歯科医採用試験のオンライン実施の試み. 日本総合歯科学会雑誌 13 巻, 28-35 頁, 2021.
- 6) 宮本 茜, 田村 浩平, 杉本 智子, 葭原 明弘: 新潟県の障害児者施設利用者における口腔保健の実態および歯科専門職配置との関連. 口腔衛生学会雑誌 71 巻 3 号, 126-135 頁, 2021.

#### 【研究費獲得】

- 1) 長谷川真奈: 運動療法が顎顔面部のストレス誘発痛を改善する脳神経メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 21K17133, 2021.
- 2) 佐藤拓実: 歯科治療における invisible technical tips の科学的分析. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 21K13639, 2021.
- 3) 中村太: モーションキャプチャ・システムを用いた歯科診療動作の定量的解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 20K18802, 2020.
- 4) 藤井規孝: 経験による学修過程の可視化と共有一プロフェッショナルへの近道. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K03053, 2019.
- 5) 伊藤晴江, 藤井規孝: 歯科治療に有効なポジショニング習得のための効果的動画ツールの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K10441, 2019.

#### 【学会発表】

- 1) 菅原千景, 今村孝, 佐藤拓実: 歯科用タービンを用いた切削手技の 3 次元動作計測における初心者・熟練者間比較. 日本機械学会第 32 回バイオフロンティア講演会, Web 開催, 2022 年 1 月 12-13 日.
- 2) 野村みずき, 佐藤拓実, 中村太, 都野さやか, 伊藤晴江, 長谷川真奈, 藤井規孝: 下顎全部床義歯の圧接時の技能教育方法の検討. 第 40 回日本歯科医学教育学会学術大会, Web 開催, 2021 年 11 月 20

日-12 月 3 日.

- 3) 佐藤拓実, 中村太, 都野さやか, 野村みずき, 伊藤晴江, 長谷川真奈, 藤井規孝: 新潟大学医歯学総合病院歯科臨床研修 A プログラムでの実習についての検討. 第 40 回日本歯科医学教育学会学術大会, Web 開催, 2021 年 11 月 20 日-12 月 3 日.
- 4) 都野さやか, 中村太, 佐藤拓実, 野村みずき, 伊藤晴江, 長谷川真奈, 藤井規孝: フィンガーレストの有無が歯科治療の力の大きさに与える影響の検討. 第 40 回日本歯科医学教育学会学術大会, Web 開催, 2021 年 11 月 20 日-12 月 3 日.
- 5) 中村太, 佐藤拓実, 都野さやか, 野村みずき, 伊藤晴江, 長谷川真奈, 藤井規孝: 患者に対するポジションが歯科治療時の力の大きさに与える影響の検討. 第 40 回日本歯科医学教育学会学術大会, Web 開催, 2021 年 11 月 20 日-12 月 3 日.
- 6) 都野さやか, 佐藤拓実, 中村太, 伊藤晴江, 長谷川真奈, 藤井規孝: 光学式モーションキャプチャ・システムを用いた印象採得動作の定量的解析. 令和 3 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2021 年 11 月 6 日, 新潟歯学会雑誌第 51(2): 52 頁, 2021.
- 7) 野村みずき, 佐藤拓実, 中村太, 都野さやか, 伊藤晴江, 長谷川真奈, 藤井規孝: 下顎全部床義歯の適合診査時の力の加え方についての教育に関する検討. 第 14 回日本総合歯科学会学術大会, Web 開催, 2021 年 10 月 29-11 月 6 日, プログラム・抄録集: 57 頁, 2021.
- 8) 佐藤拓実, 中村太, 都野さやか, 野村みずき, 伊藤晴江, 長谷川真奈, 宮本茜, 田島稜子, 藤井規孝: 下顎全部床義歯圧接と下顎第 1 大臼歯全部金属冠装着時の力のコントロールについての検討. 第 14 回日本総合歯科学会学術大会, Web 開催, 2021 年 10 月 29-11 月 6 日, プログラム・抄録集: 56 頁, 2021.
- 9) 宮本茜, 佐藤拓実, 中村太, 都野さやか, 田島稜子, 野村みずき, 伊藤晴江, 長谷川真奈, 藤井規孝: 新潟大学病院歯科における予診システム改善の取り組み. 第 14 回日本総合歯科学会学術大会, Web 開催, 2021 年 10 月 29-11 月 6 日, プログラム・抄録集: 59 頁, 2021.
- 10) 祁君容, 佐藤拓実, 伊藤晴江, 長谷川真奈, 中村太, 藤井規孝: 亀裂による歯内・歯周病変を有する患歯を積極的に保存することによって患者の生活の質を維持した症例. 第 14 回日本総合歯科学会学術大会, Web 開催, 2021 年 10 月 29-11 月 6 日, プログラム・抄録集: 39 頁, 2021.
- 11) 安井惟人, 伊藤晴江, 長谷川真奈, 中村太, 佐藤拓実, 藤井規孝: 臼歯部欠損に対し食片圧入に考



慮しながら欠損補綴を行った症例. 第 14 回日本総合歯科学会学術大会, Web 開催, 2021 年 10 月 29-11 月 6 日, プログラム・抄録集: 40 頁, 2021.

- 12) 田中佑輔, 長谷川真奈, 伊藤晴江, 中村太, 佐藤拓実, 藤井規孝: 前歯部補綴物の脱離を繰り返した患者に対する治療方針立案の経験. 第 14 回日本総合歯科学会学術大会, Web 開催, 2021 年 10 月 29-11 月 6 日, プログラム・抄録集: 41 頁, 2021.
- 13) 平塚美宥, 中村太, 伊藤晴江, 長谷川真奈, 佐藤拓実, 藤井規孝: 少数歯欠損に対して患者の主訴や支台歯の状態を考慮し可撤性部分床義歯を選択した症例. 第 14 回日本総合歯科学会学術大会, Web 開催, 2021 年 10 月 29-11 月 6 日, プログラム・抄録集: 44 頁, 2021.
- 14) 長谷川真奈, 藤井規孝, 山村健介: トレッドミル走は, 社会的敗北ストレスによって増大した上部頸髄におけるミクログリア活性を低下させる. 第 63 回歯科基礎医学会学術大会, Web 開催, 2021 年 10 月 9-11 日, プログラム・抄録集: 25 頁, 2021.

## 顎口腔インプラント治療部

### 【著書】

- 2) 魚島勝美, 長澤麻沙子, 秋葉陽介: 人工骨の研究と開発と臨床応用. 季刊 歯科医療 35(4):18-22, 2021.
- 3) 鶴巻浩, 隅田賢正: デンタルダイヤモンド 2021 年 8 月号, 臨床アドバンス ワンランク上を目指す, Dd 診断力ですと, 硬性の開口障害, 25 頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2021

### 【論文】

- 1) Atsushi Kawamura, Yosuke Akiba, Masako Nagasawa, Makiko Takashima, Yoshiaki Arai, and Katsumi Uoshima. Bone heating and implant removal using a high-frequency electrosurgical device. An in vivo experimental study. Clin Oral Implants Res 32(8):989-997, 2021. doi: 10.1111/clr.13793.
- 2) Arai Y, Inanobe-Takaoka M, Takashima M, Ogawa S, Kawamura A, Nohno K, Uoshima K. Reducing bacterial counts around the abutment following professional mechanical plaque removal at the implant bridge: A crossover comparison of removing or not removing the superstructure. J Prosthodont Res 65(1):91-96, 2021. doi.org/10.2186/jpr.JPOR\_2019\_431.
- 3) Onoda N, Mikami T, Saito N, Kobayashi T. Evaluation of oral health-related quality of life in patients with

temporomandibular disorders. Cranio. 2021 Feb 8:1-8. doi: 10.1080/08869634.2021.1883378. Epub ahead of print. PMID: 33554774.

- 4) 山崎裕太, 安島久雄, 荒井良明, 河村篤志, 高嶋真樹子, 松崎奈々香, 高木律男. 変形性顎関節症による前歯部開咬に対しオクルーザルオーバーレイスプリントを用いて咬合機能を回復した1例. 日本顎関節学会雑誌;33(1):20-25, 2021.
- 5) 高嶋真樹子. 咬耗と咬合高径の低下を伴う審美障害に対して咬合再構成を行った症例. 日本補綴歯科学会誌13(2):245-248, 2021
- 6) 池田順行, 上野山敦士, 高嶋真樹子, 荒井良明, 新國 農, 西山秀昌, 高木律男. 関節隆起部の骨蜂巢内に炎症性変化が波及した変形性顎関節症の1例. 新潟歯学会誌 51 (2) : 25-29, 2021.
- 7) 須田大亮, 原 太一, 齋藤大輔, 三上俊彦, 船山昭典, 片桐 渉, 小林正治: 下顎骨関節突起骨折に対するHigh perimandibular approachを用いた観血的整復固定術. 新潟歯学会誌 51 (1) : 39-43頁, 2021.
- 8) 齋藤太郎, 池田順行, 上野山敦士, 北村 厚, 新國農, 西山秀昌, 林 孝文, 高木律男: 顎関節円板または円板後部組織の硬組織形成と疼痛に関する臨床的検討. 新潟歯学会雑誌, 51 (1) : 25-30, 2021.
- 9) 隅田賢正, 児玉泰光, 鶴巻 浩: 軽度精神発達遅滞を有する筋突起過形成症の治療経験. 口科誌, 70(1): 43-48, 2021.

### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) Uoshima K: Prosthodontic Significance of Dental Implant Treatments. The 26th WCOI Japan Annual Scientific Conference and the 1st Japan-India Collaboration conference, Virtual, March 27, 2022.
- 2) Uoshima K: Is a dental implant better than a natural tooth or a removal partial denture?. 11th conference on dental science and education, Virtual, Hanoi, Viet Nam, November 26, 2021, Abstract & Program book Page 7, 2021.
- 3) 荒井良明. 顎関節の形態変化や筋障害に起因する咬合異常における新たな下顎位の設定. 日本補綴歯科学会第 130 回記念学術大会, シンポジウム 「ディスファンクションと パラファンクションの顎運動と下顎位」 Web 開催, 2021 年 6 月 18 日~20 日, 日本補綴歯科学会誌 13 巻第 130 回記念学術大会プログラム・抄録集 Page76.
- 4) 荒井良明. 顎関節や筋障害患者におけるフルマウスリコンストラクション. 日本歯科補綴学会第 6 回補

綴歯科臨床研鑽会プロソ' 21 シンポジウム「顎関節とフルマウスリコンストラクション・インプラントによる無歯顎補綴治療」Web 開催 2021 年 11 月 14 日. 第 6 回補綴歯科臨床研鑽会「プロソ'21」プログラム・抄録集 Page17.

#### 【学会発表】

- 1) AKTER TAHRIM, 高嶋真樹子、荒井良明、河村篤志、山崎裕太、松崎奈々香、高田翔、魚島勝美: The Cross-sectional area of the masseter muscle and late implant failure: A Case-Control study. 第51回日本口腔インプラント学会学術大会. オンデマンドWeb開催, 2021年12月17日~26日. 日本口腔インプラント学会誌34巻Suppl. Page201, 2021.
- 2) 山本悠, 長澤麻沙子, 浜谷桂佑, ZHANG TONGTONG, 魚島勝美: アバットメントスクリー縮付けトルクおよび動的荷重がインプラント周囲骨に及ぼす影響. 第 51 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会, オンデマンド WEB 開催, 2021 年 12 月 17 日-26 日, 同学術大会プログラム・抄録集:176 頁, 2021.
- 3) 秋葉陽介, 江口香里, 高岡由梨那, 秋葉奈美, 長澤麻沙子, 水野潤, 魚島勝美: 規格化ナノ構造チタンにおける骨髄由来細胞の増殖と動態. 第 51 回日本口腔インプラント学会学術大会 優秀研究発表, Web 開催, 2021 年 12 月 18 日, 2021.
- 4) 池田順行、齋藤太郎、上野山敦士、高嶋真樹子、河村篤志、山崎裕太、松崎奈々香、荒井良明、西山秀昌、高木律男: 顎関節円板に骨化を認めた変形性顎関節症の1例. 第34回日本顎関節学会総会・学術大会, Web配信, 2021年10月23日~11月23日. 日本顎関節学会雑誌32巻Suppl. Page85, 2021
- 5) 遠藤 諭, 新美奏恵, 長谷部大地, 加藤祐介, 小林正治: 外科的矯正治療にともなう顎関節症状と下顎頭形態の変化. 第 34 回一般社団法人日本顎関節学会学術大会, WEB 開催, 2021 年 10 月 23 日-11 月 23 日, 日本顎関節学会雑誌 33(1): 97 頁, 2021.
- 6) 高嶋真樹子, 河村篤志, 山崎裕太, 松崎奈々香, 高田翔, 上野山敦士, 池田順行, 荒井良明: 顎関節症共通研修で研修歯科医は何を得られたか: 研修終了後アンケート調査. 第34回日本顎関節学会総会・学術大会, Web配信, 2021年10月23日~11月23日. 日本顎関節学会雑誌32巻Suppl. Page103, 2021
- 7) 河村篤志: 前歯部固定性補綴装置によりアンテリアガイダンスを獲得し審美・機能回復を行った一

例. 令和3年度日本補綴歯科学会関越支部総会・学術大会, 2021年11月7日. 新潟市, 抄録集17頁, 2021

#### 【研究費獲得】

- 1) 荒井良明: グラスファイバー強化型レジンブロック削り出しダウエルコアを用いた支台築造法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 2018-2021 年度, 課題番号 18K09698.
- 2) 高嶋真樹子 日中ブラキシズム是正指導としての行動変容法の効果を客観的に定量評価する. 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 若手研究, 2018-2021 年度, 課題番号 18K17114
- 3) 河村篤志 血管の偏在による局所的低酸素が歯根膜の線維形成に及ぼす影響の解明, 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 若手研究, 2020-2021 年度, 課題番号 20K18594.
- 4) Stegaroiu Roxana, 荒井良明 (分担), 黒川孝一, 田中茂雄: 骨梁三次元有限要素モデルの応力からインプラント過重負担と辺縁骨吸収との関連を探索, 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 2020-2024 年度課題番号 20K10031,
- 5) 荒井良明: 顎口腔インプラント治療に関する研究助成. サンメディカル (株) 寄付金 2021 年 5 月.

#### 医療連携口腔管理治療部

#### 【論文】

- 1) Hara T, Saito D, Sakuma H, Kato Y, Niimi K, Nihara J, Saito I, Kobayashi T: Comparison of three-dimensional facial morphologies acquired with digital stereophotogrammetry imaging system and computed tomography. J Oral Maxillofac Surg Med Pathol. 34 (2): 120-125, 2022.
- 2) Kato Y, Saito N, Niimi K, Saito D, Sakuma H, Hasebe D, Katagiri W, Kobayashi T: A comparison and evaluation of the use of ultrasonic cutting devices with conventional powered instruments in orthognathic surgery. Adv Dent Res (2) <https://doi.org/10.1016/j.adoms.2021.100081>. 2021.4
- 3) Kawaharada M, Maruyama S, Abé T, Yamazaki M, Kurokawa A, Katagiri W, Takagi R, Hayashi T, Kobayashi T, Tanuma J: Other iatrogenic immunodeficiency-associated lymphoproliferative disorders in the oral cavity: a clinicopathologic study of 4 cases and literature creview. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol, S2212-4403(21)00464-8, 2021. doi:

10.1016/j.oooo.2021.05.015.

- 4) Saito T, Nishikawa A, Hara-Saito Y, Andrea RE, Kurokawa A, Iida A, Yamaga M, Kano H, Kato Y, Takata Y, Nishiyama H, Kitamura N, Tanaka T, Takagi R: Risk factors of medication-related osteonecrosis of the jaw in preventive tooth extraction before bone resorption inhibitor administration: A multicenter nested case-control study. *Oral sci int.* 2021. doi: <https://doi.org/10.1002/osi2.1122>
- 5) Kobayashi T, Hayashi T, Takamura M, Soga M, Nikkuni Y, Katsura K. A phantom study regarding the formation mechanism of mucosal epithelial echo on intraoral ultrasonography. *Oral Sci Int.* 2022.
- 6) 浅見 栄里, 佐久間 英伸, 長谷部 大地, 須田 大亮, 新美 奏恵, 小林 正治: 薬剤関連顎骨壊死を有する前立腺癌患者に発症した後天性血友病 A の 1 例. *口外誌* 67 (10): 590-595, 2021.
- 7) 曾我麻里恵, 勝良剛詞, 小林太一, 高村真貴, 黒川亮, 新美奏恵, 田中恵子, 石山茉佑佳, 林 孝文. 頭頸部放射線治療後のう蝕発生リスク因子に関する検討. *歯科放射線* 61 (2): 41-46, 2021.
- 8) 1) 木口哲郎, 黒川 亮, 上野山敦士, 西川 敦, 勝見祐二, 池田順行, 児玉泰光, 高木律男: 嚥下障害が残遺した喉頭癌放射線治療歴を有する頸部蜂窩織炎の 1 例. *日有病歯誌*, 30 (1): 25-30, 2021.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) 勝良剛詞, 吉田謙介, 田中雄介, 曾我麻里恵, 黒川亮. がん薬物療法における口腔粘膜炎の口腔支持療法現状と薬剤師への期待. シンポジウム 4 癌化学療法患者の口腔粘膜炎による疼痛緩和を目指して - 多職種で取り組む口腔支持療法 -. 第 14 回日本緩和医療学会年會, 2021 年 5 月 12 日~14 日, Web 開催.

#### 【学会発表】

- 1) Nishiyama H, Kobayashi T, Ike M, Takamura M, Nikkuni Y, Soga M, Hayashi-Sakai S, Hayashi T. Sanity checks for deep learning to estimate the location of dental X-ray images. *The 23rd International Congress of DentoMaxilloFacial Radiology*, April 28-May 1, 2021, Kimdaejung Convention Center, Gwangju, South Korea.(Web)
- 2) Katsura K, Soga Y, Zenda S, Nishi H, Soga M, Usubuchi M, Mitsunaga S, Tomizuka K, Konishi T, Yatsuoka W, Ueno T, Aragaki T, Hayashi T. Cost estimation study of measures against metallic dental restorations for head and neck radiotherapy in Japan. *The 2021 MASCC/ISOO*

*Annual Meeting on Supportive Care in Cancer*. June 24-26, 2021. (Web)

- 3) 石山茉佑佳, 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我麻里恵, 勝良剛詞, 佐久間英伸, 佐藤由美子, 田中恵子, 後藤早苗, 吉田謙介, 林 孝文, 小林正治, 高木律男. 血液腫瘍性疾患患者に対する周術期等口腔機能管理ならびにハイドロゲル創傷被覆・保護材の使用状況とその効果. 第 18 回日本口腔ケア学会総会・学術大会, 2021 年 4 月 17-18 日, 東京都 Web 同時開催, *日口腔ケア会誌*: 15 (3): 153 頁, 2021.
- 4) 佐久間 英伸, 新美 奏恵, 黒川 亮, 曾我 麻里恵, 田中 恵子, 石山 茉佑佳, 小林 正治, 高木 律男: 当院における呼吸器・感染症内科との医科歯科連携の現状と薬剤関連顎骨壊死発症に関する調査. 第 18 回日本口腔ケア学会総会・学術大会&第 1 回国際口腔ケア学会合同会議 2021 年 4 月 17-18 日, 東京都 Web 同時開催, *日口腔ケア会誌*: 15 (3): 141 頁, 2021.
- 5) 新美 奏恵, 齋藤 大輔, 須田 大亮, 原 太一, 齋藤直朗, 長谷部 大地, 佐久間 英伸, 片桐 渉, 齋藤功, 小林 正治: 日本語版顎変形症疾患特異的 QOL 調査票の validity study および健康関連 QOL との関連性の検討. 第 75 回口腔科学会学術集会 2021 年 5 月 12-14 日, 大阪市 Web 同時開催, 同学術集会抄録集: 190 頁, 2021.
- 6) 佐久間 英伸, 新美 奏恵, 黒川 亮, 曾我 麻里恵, 小林 正治, 高木 律男: 当院における皮膚科との医科歯科医療連携の現状報告. 第 75 回口腔科学会学術集会 2021 年 5 月 12-14 日, 大阪市 Web 同時開催, 同学術集会抄録集: 176 頁, 2021.
- 7) 河原田壮史, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 黒川亮, 片桐 渉, 林 孝文, 高木律男, 小林正治, 田沼順一: 口腔領域に発症した OI-LPD の臨床病理学的解析. 第 75 回日本口腔科学会学術集会, 大阪市 Web 同時開催, 2021 年 5 月 12-14 日. 同学術集会抄録集: 44 頁, 2021.
- 8) 山田 葵, 永井孝宏, 北村 厚, 新垣元基, 黒川 亮, 児玉泰光, 高木律男: 急速に進展した超高齢者頸部壊死性筋膜炎の 1 例. 第 59 回日本口腔科学会北日本地方部会, WEB 開催, 2021 年 5 月 15-22 日. 同学術大会抄録集: 44 頁, 2021.
- 9) 児玉 泰光, 小林 亮太, 山田 茜, Salazar Andrea Rei Estacio, 結城 龍太郎, 永井 孝宏, 大湊 麗, 池田 順行, 市川 佳弥, 丹原 惇, 新美 奏恵, 若槻華子, 宮田 昌幸, 小野 和宏, 齋藤 功, 小林 正治, 高木 律男: 新潟大学歯学総合病院における新診療体制後の口唇口蓋裂患者動向調査. 第 45 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 2021 年 5 月 20-21

- 日, Web 開催, 日口蓋誌 46 (2) : 133 頁, 2021.
- 1 0) 市川 佳弥, 丹原 惇, 寺田 愛希, 宮田 昌幸, 若槻 華子, 児玉 泰光, 新美 奏恵, 小林 正治, 高木 律男, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院での術前顎矯正治療における nasal stent の工夫. 第 45 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 2021 年 5 月 20-21 日, Web 開催, 日口蓋誌 46 (2) : 122 頁, 2021.
- 1 1) 曾我麻里恵, 勝良剛詞, 新美奏恵, 黒川 亮, 小林太一, 高村真貴, 田中恵子, 石山茉佑佳, 高木律男, 林 孝文. 頭頸部放射線治療後のう蝕発生の特徴. NPO 法人日本歯科放射線学会第 61 回学術大会, 2021 年 5 月 21 日-23 日, Web 開催, 歯科放射線 61 増刊号 : 46 頁.
- 1 2) 西山秀昌, 高村真貴, 曾我麻里恵, 小林太一, 新國 農, 池真樹子, 勝良剛詞, 林 孝文. 深層学習システムの画像認識過程を人間が理解可能な抽象化過程に近づけることは可能か?. NPO 法人日本歯科放射線学会第 61 回学術大会, 2021 年 5 月 21 日~23 日, Web 開催. 歯科放射線 61 増刊号 : 71 頁, 2021.
- 1 3) 黒川 亮, 児玉泰光, 池田順行, 勝見祐二, 上野山敦士, 新垣元基, 永井孝宏, 齋藤夕子, 吉田謙介, 田中恵子, 高木律男: 当科における薬剤関連顎骨壊死発症患者への介入状況. 第 30 回日本有病者歯科医療学会学術大会. 東京(ハイブリッド形式), 2021 年 7 月 3-4 日. 同学会プログラム: 33 頁, 2021.
- 1 4) 齋藤夕子, 黒川亮, 上野山敦士, 永井孝宏, 児玉泰光, 池田順行, 新垣元基, 伊藤元貴, 高木律男: 過去 10 年間における当科入院加療が必要となった炎症症例の臨床的統計. 第 30 回日本有病者歯科医療学会学術大会, 東京(ハイブリッド形式), 2021 年 7 月 3-4 日. 同学会プログラム, 2021.
- 1 5) 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我麻理恵, 佐藤由美子, 佐久間英伸, 高木律男, 小林正治: 新潟大学医歯学総合病院における医療連携口腔管理治療チーム/医療連携口腔管理治療部の患者動向. 令和 3 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟市, 2021 年 7 月 10 日, 新潟歯会誌, 51 (2) : 44 頁, 2021.
- 1 6) 高村真貴, 新國 農, 小林太一, 曾我麻里恵, 池真樹子, 勝良剛詞, 西山秀昌, 阿部達也, 山崎 学, 丸山 智, 田沼順一, 林 孝文. 超音波、CT、MRI、18F-FDG PET/CT における頸部リンパ節転移の検出精度の比較. NPO 法人日本歯科放射線学会第 232 回関東地方会・第 40 回北日本地方会・第 28 回合同地方会, 2021 年 8 月 21 日, Web 開催, 同学術集会后抄録 : 2 頁, 2021.
- 1 7) 黒川 亮, 新美奏恵, 曾我麻里恵, 佐久間英伸, 富原 圭, 小林正治: 口腔粘膜炎を呈した免疫関連有害事象の 2 例. 第 34 回日本口腔診断学会 第 31 回日本口腔内科学会, 2021 年 9 月 9-10 日, 東京 Web 同時開催, 日口腔内会誌, 2021.
- 1 8) 船山 昭典, 三上 俊彦, 新美 奏恵, 芳澤 享子, 齋藤 大輔, 野澤 舞, 小林 正治: 当科における過去 20 年間の口腔がん初診患者の臨床的検討. 第 31 回口腔内科学会, 第 34 回口腔診断学会合同学術大会, 2021 年 9 月 9-10 日, 東京 Web 同時開催, 日口腔内会誌, 2021.
- 1 9) 遠藤 諭, 新美 奏恵, 長谷部 大地, 加藤 祐介, 小林 正治: 外科的矯正治療にともなう顎関節症状と下顎頭形態の変化. 第 34 回日本顎関節学会学術集会, 2021 年 10 月 23 日-11 月 23 日, Web 開催, 日顎関節会誌 33 Suppl. 97 頁. 2021.
- 2 0) 西山秀昌, 高村真貴, 曾我麻里恵, 小林太一, 新國 農, 池真樹子, 勝良剛詞, Jorge Saez, 林 孝文. 物体検出 (SSD) を用いたデンタル撮影部位の同定におけるバックグラウンドの影響について. NPO 法人日本歯科放射線学会第 2 回秋季学術大会・教育研修会, 2021 年 10 月 30-31 日, Web 開催, 歯科放射線 61 増刊号 : 42 頁, 2021.
- 2 1) 勝良剛詞, 棚邊哲史, 中野 永, 坂井まどか, 宇都宮悟, 太田 篤, 海津元樹, 曾我麻里恵, 林 孝文. 頭頸部強度変調放射線治療における金属アーチファクトの輪郭抽出時間への影響. 日本放射線腫瘍学会第 34 回学術大会, 2021 年 11 月 12-14 日, Web 開催, 同学会抄録集 : 243 頁, 2021.
- 2 2) 田中恵子, 勝良剛詞, 曾我麻里恵, 石山茉佑佳, 手嶋謡子, 阿部春奈, 倉又七海, 新美奏恵, 後藤早苗, 林 孝文. 歯科管理を受けた頭頸部放射線治療患者の歯の健康状態の推移. 日本がん口腔支持療法学会第 7 回学術大会, 2021 年 12 月 4-5 日, Web 開催, 同学会抄録集 : 41 頁, 2021.
- 2 3) 田中雄介, 勝良剛詞, 吉田謙介, 曾我麻里恵, 田中恵子, 石山茉佑佳, 山崎恵介, 外山 聡. 薬剤師による頭頸部化学放射線治療患者の口腔ケアコンプライアンス向上の試みと効果. 日本がん口腔支持療法学会第 7 回学術大会, 2021 年 12 月 4-5 日, Web 開催, 同学会抄録集 : 45 頁, 2021.

#### 【研究会発表】

- 1) 西山秀昌, 小林太一, 高村真貴, 新國 農, 勝良剛詞, 池 真樹子, 曾我麻里恵, 林 孝文. 深層学習における口内法エックス線画像と濃淡シェーマ、および線画スケッチ画像のエントロピーとダイバージェンスについて. 第 3 回歯科人工知能(AI)研究会, 2021 年 7 月 25 日, Web 開催.
- 2) 西山秀昌, 高村真貴, 曾我麻里恵, 小林太一, 新國 農, 池真樹子, 勝良剛詞, Jorge Saez, 林 孝文.

物体検出 (SSD) でのデンタル撮影部位の同定における透過度、バックグラウンドおよび学習方法の影響について. 第4回歯科人工知能(AI)研究会, 2022年2月27日, Web開催.